

まんが

# 通産統計物語

～野田家の場合～



画:井上 新

監修:通商産業大臣官房調査統計部

## はじめに

1つの数字が多くを語る。

景気の動き、経済・産業構造の動向、

生産の水準、消費の動きなどなど、

私達を取り巻くさまざまな環境の変化について、

多くの言葉で語るより、

1つの数字で示した方が、

より正確で説得的な場合が多いようです。

国が政策を立案したり、実施するときには、

各種の必要な統計データを活用する、

企業が事業を行う場合、

いろいろな統計データを利用し、戦略を練る、

学校の授業において、

日本や外国の基礎的な統計数値を勉強する…。

非常に雄弁なデータほど

いろいろな場面に引っ張り出されます。

しかし、私達は、それらの数字について、

どのように作られているのか、

また、どういうふうに見るのが正しいのか、

さらには、そもそも統計があることを知っているのかなど、

改めて考えてみると、いくつかの疑問や反省が

生まれてくるのではないでしょうか。

統計というものは、

決してとっつきにくいものではありません。

本書を読んでいただければ、

楽しみながら通産統計のエッセンスを

理解していただけることと思います。

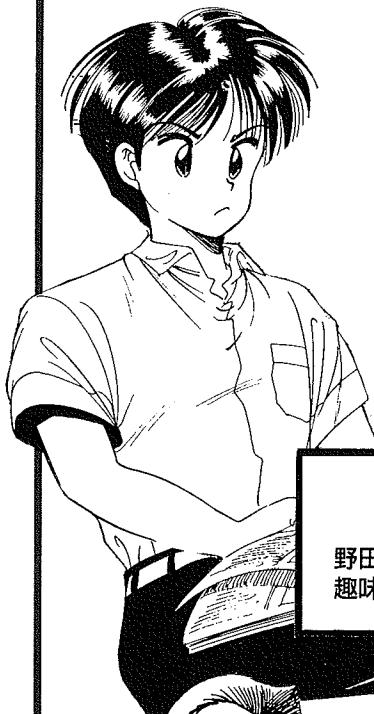
本書が、皆様の通産統計に対する

理解の一助になれば幸いに存じます。

# 人物紹介



# 主な登場



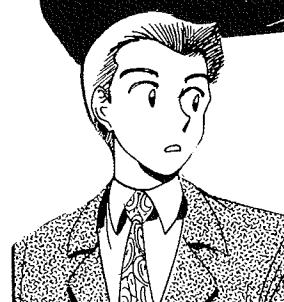
の だ まこと  
**野田 誠**

野田家の次男。中学2年生。学校では自動車同好会に所属している。



よし おか かず ひこ  
**吉岡一彦**

隆の同僚。同じラグビー部に所属している親友でもある。



さ さ き たつ や  
**佐々木達也**

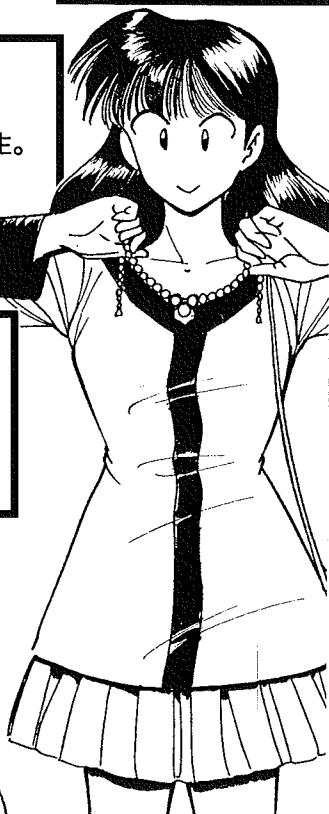
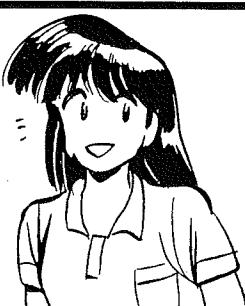
薰のボーイフレンド。商社に勤めるサラリーマン。

の だ かおる  
**野田 薫**

野田家の長女。女子大学の2回生。  
趣味はショッピングとゴルフ。

た しろ けい こ  
**田代桂子**

西川電器株式会社に勤めるOL。隆のマドンナ的存在。



<b>第 1 章</b>	<b>鉱工業生産指数</b>	
～統計から景気動向を読む～	.....	7
<b>第 2 章</b>	<b>工業統計調査</b>	
～誠の文化祭～	.....	33
<b>第 3 章 その 1</b>		
<b>商業統計調査</b>		
～薫のバースデープレゼント～	.....	65
<b>その 2</b>		
<b>サービス統計調査</b>		
～謎の覆面男～	.....	91
<b>第 4 章</b>		
<b>統計調査員</b>		
～幸子の就職～	.....	119
<b>第 5 章</b>		
<b>産業連関表</b>		
～隆の経営診断～	.....	147

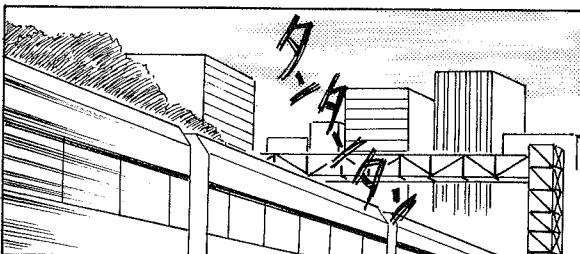
## 第1章

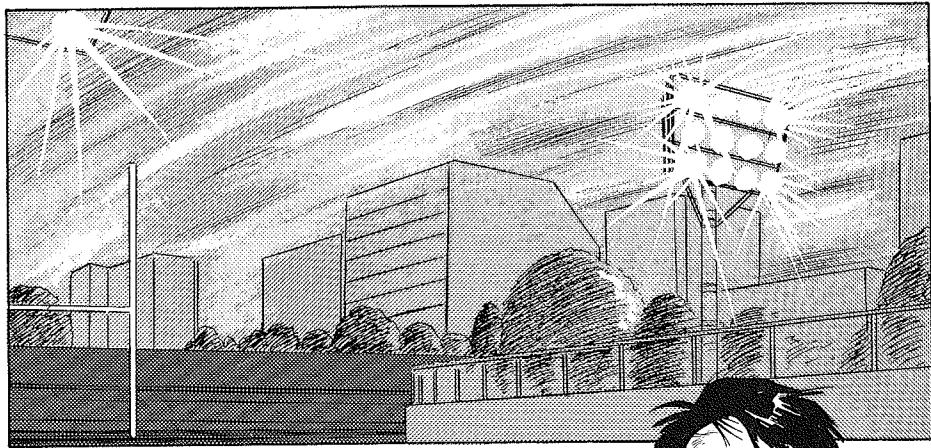
# 鉱工業生産指数

～統計から景気動向を読む～



# 景氣後退色強ま 企業マインド冷えこむ!







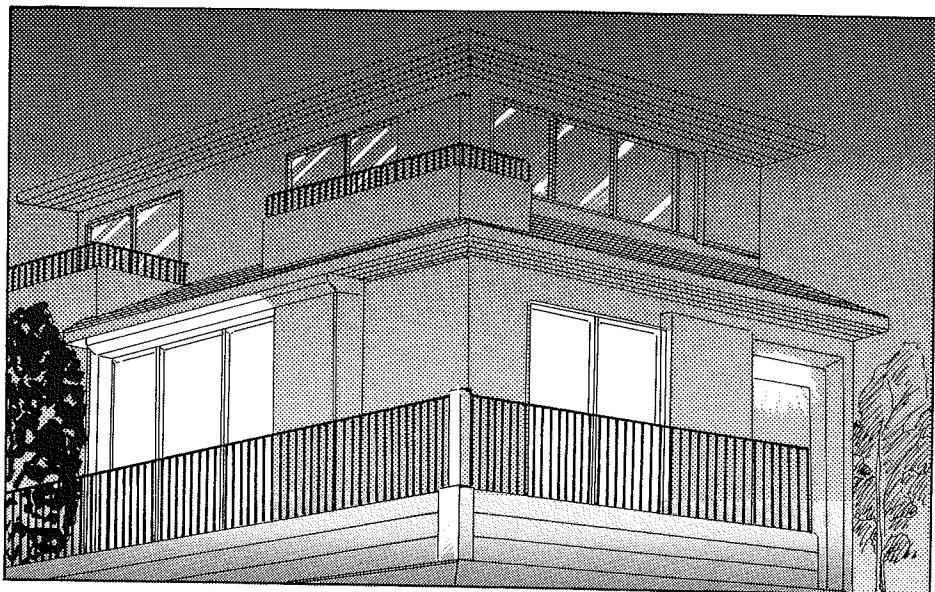


西川電器株式会社  
東京本社  
社員用スポーツ施設













その前には  
生産動態統計調査を  
知らないと  
いけないな

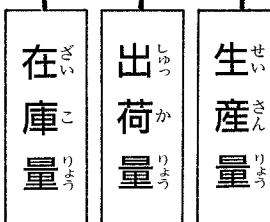
生産動態統計調査とは……  
鉱工業生産の動きを明らかにするために

工業品および鉱産物を  
生産加工する事業所または企業を対象に……

毎月実施していること  
調査のことなど

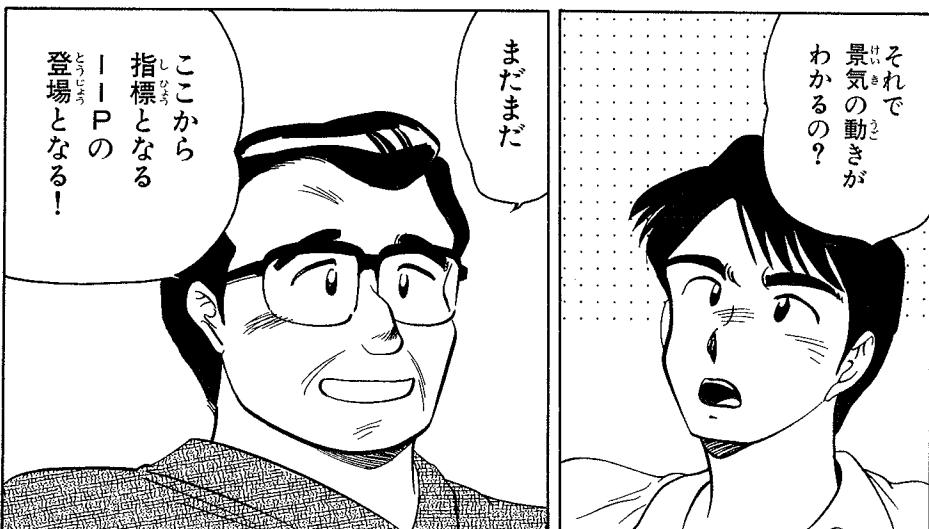
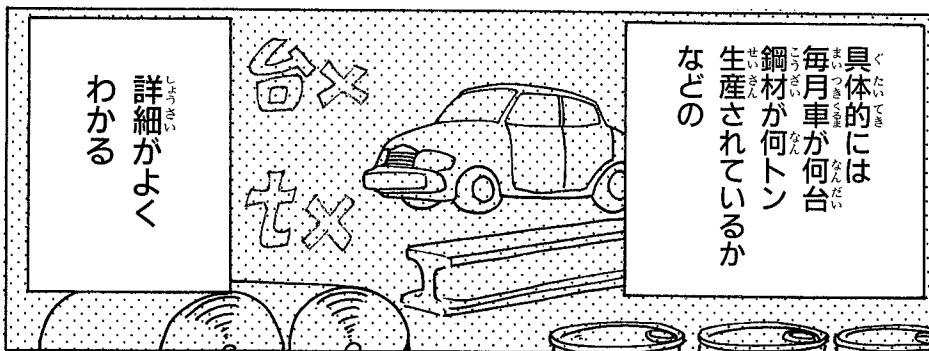
その生産量を調べているんだ

約3100品目



その内容は  
鉱工業製品のうち  
約三百品目について





鉱工業生産指數  
のことで――

# Index Numbers of Industrial Production

アイアイピー  
とは……



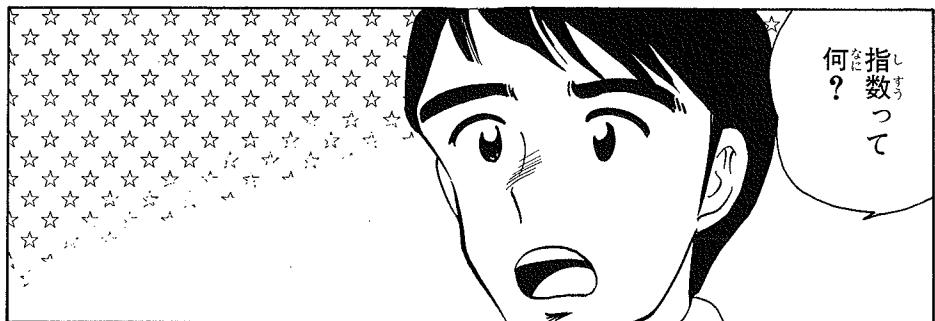
約3100品目

481品目<sup>他省庁からのデータを含め</sup>  
522品目

生産・出荷・在庫指數  
とも同じであり  
中から  
主要四八一品目を選び  
それに他省庁のものを  
四一品目加え――

それらを  
指數化し  
積み上げた  
ものを  
いふんだ

何<sup>なに</sup>指<sup>し</sup>數<sup>すう</sup>つて



指数とは

だい 台 トン こ個 まい 枚 ダース リットル

単位の違う五二二品目を  
同じベースにして  
ひとつの数字の中に  
まとめるために……

基準年  
(現在は昭和六十年)

100

とした比率を  
ウエイトで  
総合したもの  
を言う！

付加価値額  
ウエイトを  
用いる！！

付加価値額ウエイト

この場合の  
ウエイトとは



# せいさん がく 生産額

附加価値額とは

生産活動を  
通じて新しく  
生まれた金額で表した  
もの

原材料費

電力料金

機械設備の消耗分

などなど

その企業の  
もう儲けにあたるもの

つまりは生産額から  
原燃料費や機械設備の  
消耗分を

引いたもの

これ

なるほど

ここから  
おまえの給料とか  
設備投資のための資金  
とか株の配当が  
生まれるという  
ワケだ



経済全体の動きを見る上で最も非常に重要な指標である

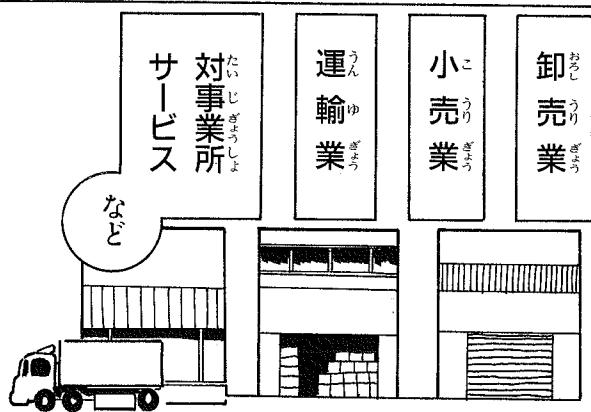
「GDPは生産活動の動きにとどまらず景気に対して敏感であるので

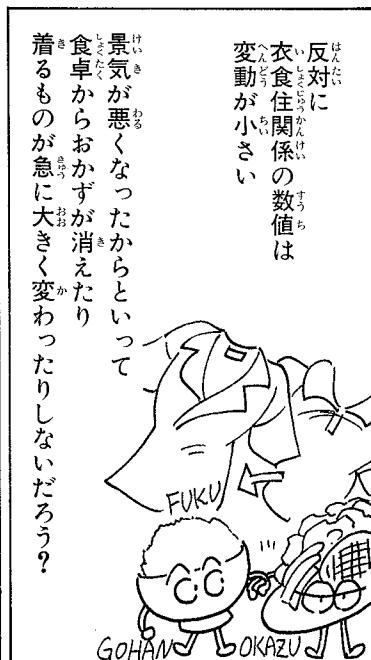
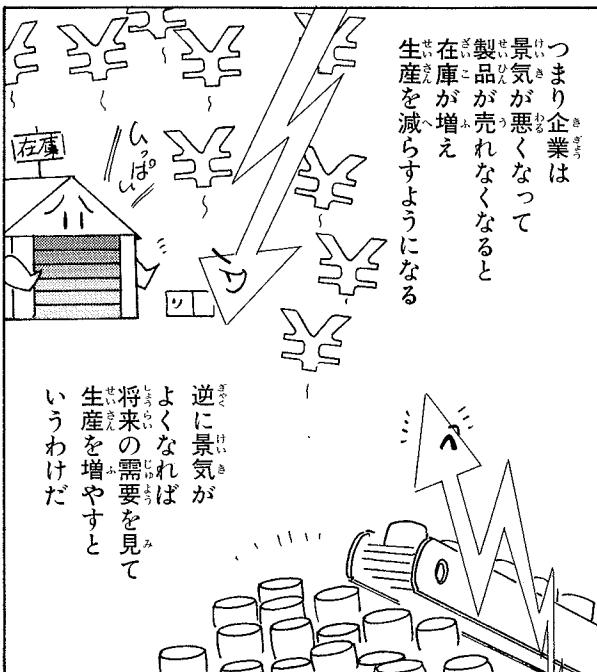
GNP の約40%

その理由のひとつには、このない国内の総生産(GNP)に、鉱工業生産が占める約四割があり――



GNP全体の動きに与える影響が非常に大きい

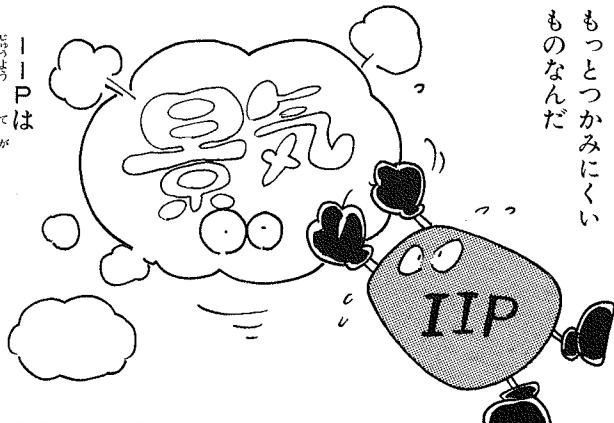






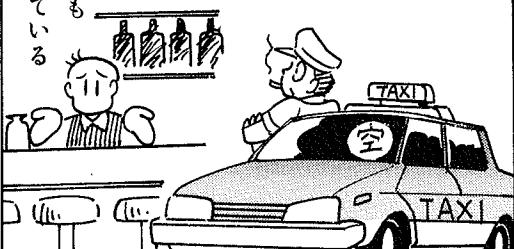
しかし景気というの  
もつとつかみにくい  
ものなんだ

IIPは  
重要な手掛かりになるが  
それだけで十分とは  
言えない  
ほかの統計調査の結果も  
もちろん重要だ  
また不景気になると……



そういうった  
数字には  
表れない変化も  
重要と言われている

飲み屋が  
ヒマになる  
とか……



特に女性の服の色が  
地味になるとか



重要で  
判断する  
のが

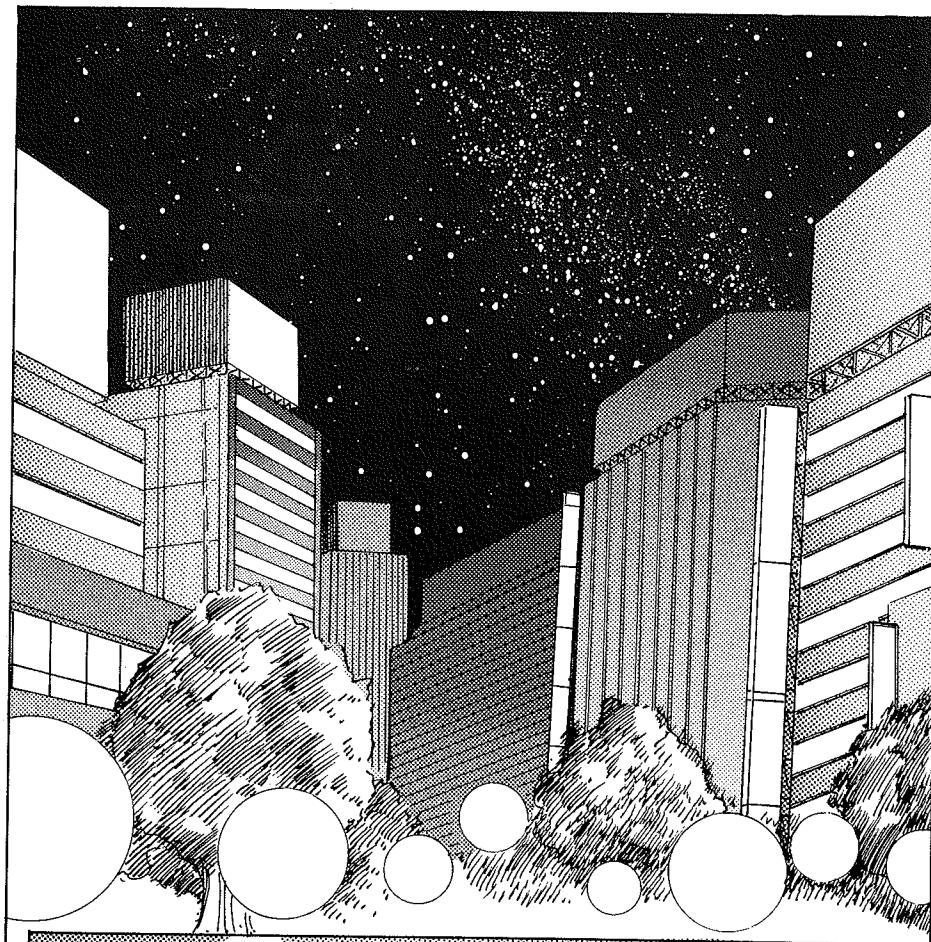
そうだね

どうだ?  
最近繁華街でも  
つかまえやすいとか  
意外と首都高が  
すいてるとか  
聞くだろう?









# 鉱工業指數

鉱工業指數は、我が国の鉱業と製造工業の生産、出荷、在庫に関連する諸活動を体系的にとらえたもので、景気動向の観察をはじめ様々な経済分析のための有効な手段として各方面に広く利用されています。

以下では、これらの指標の中で最も重要な生産指標（略称：IIP）を中心に説明していきます。

まず、鉱工業生産指標を説明する前に、指標とはどういうものであるか簡単にふれてみるとします。

## I. 指標について

指標とは、同じ種類の統計数値の大小関係を時間的または場所的に比較するために、2つの数量の一方を基準として他方の大きさを比率（百分比）の形で計算したものです。このとき比較の標準となる数量を基準量といい、比較の基準となる時点を基準時といいます。

個々の品目（同一のもの）を比較する（個別指標）ことはもちろん、本文に出てきたように自動車、鋼材といったいろいろな品目をウェイトで加重平均して総合化することにより、一つの数字に表わすこと（総合指標）もできます。

総合指標の仕組みについて簡単に説明しましょう。

総合指標の作成には、

- ①どのように基準を決めるのか
- ②その基準に従い、いろいろな単位の品目を同じレベルでどのように評価するか  
といった問題があります。

①については、通常1か月、1年等の長さを持つ期間を選び、その期間の数値を100として表わします。（現在の鉱工業生産指標などの指標は昭和60年を基準年としており、5年毎に基準年を更新しています。）

②については、各品目の金額構成比（ウェイト）を考慮して、単位の異なる数量の伸びを評価するといった加重平均の方法を用いています。

生産指標の場合は、生産額や付加価値額に従って、各品目のウェイトを計算します。（鉱工業生産指標は、付加価値額ウェイト、生産額ウェイトの2種類の生産指標を作成しており、通常は付加価値額ウェイト生産指標が用いられています。すなわち、昭和60年の1年間で代表する品目（522品目）で産み出した付加価値額を分母にして、その個別の品目の付加価値額を分子にして算出されたものがその品目のウェイトとなります。）

### \* 付加価値額とは

生産活動を通じて新しく産み出された価値を金額で表したもので、具体的には、生産額から生産に要した費用（原材料費、電力などの燃料費、機械設備の消耗分、税金分など）を差引いた金額となります。



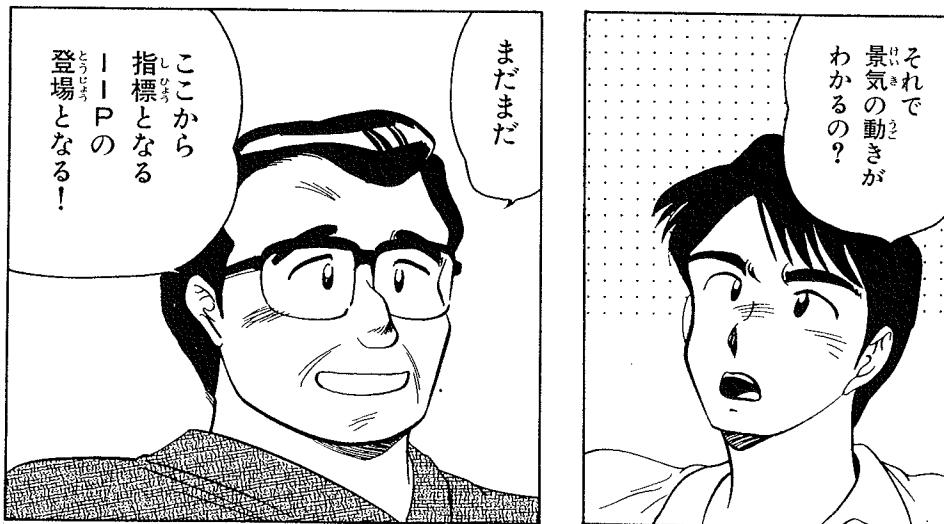
## II. 鉱工業生産指標について

さて、ここで I の指標についての基本的な勉強をもとに本文に出てきた鉱工業生産指標（I I P = Index numbers of Industrial Production）に話を進めましょう。

既に説明しましたが、鉱工業に関わる品目については、生産動態統計調査で約3,100品目を毎月調査しています。我が国の生産活動全体の動きや水準を表すために生産動態統計調査以外の他省庁等の調査も加え、そのうち主要な522品目を選び、それを総合化することによって鉱工業生産指標を作成、公表しています。

また、月々の動きをより正確に比較するために、気候による要因（エアコンなどは夏に向けて春先によく生産される、ビールや清涼飲料は夏の需要に向けて生産されるなど）や制度的な要因（6月や12月のボーナス、中元やお歳暮、企業の決算期など）でその月々の数値が変動することをあらかじめ調整した季節調整済指数も併せて作成、公表しています。

鉱工業生産指標は生産活動のみならず、経済全体の動きをみるうえでも非常に注目される指標となっています。



それは、

①国内の総生産に占めるウエイトが約4割あり、また、卸売業・小売業、運輸業、生産活動に結びついたサービス業などを考慮するとGNP全体の動きに対する影響力が非常に大きい。

②鉱工業生産は景気が悪くなっていると在庫が増えると生産を減らし、景気が良くなれば、将来の需要を見越して生産を増やすなど景気の動きに敏感であること。

③翌月の下旬には速報が公表されるなど発表が早いこと。などが理由です。

鉱工業についての指標は生産だけではありません。出荷や在庫などについても指標として発表しています。

①生産指標（付加価値額ウエイト）

⑤生産者製品在庫率指標

⑨原材料在庫指標

②生産指標（生産額ウエイト）

⑥稼働率指標

⑩原材料在庫率指標

③生産者出荷指標

⑦生産能力指標

⑪販売業者在庫指標

④生産者製品在庫指標

⑧原材料消費指標

⑫製造工業生産予測指標

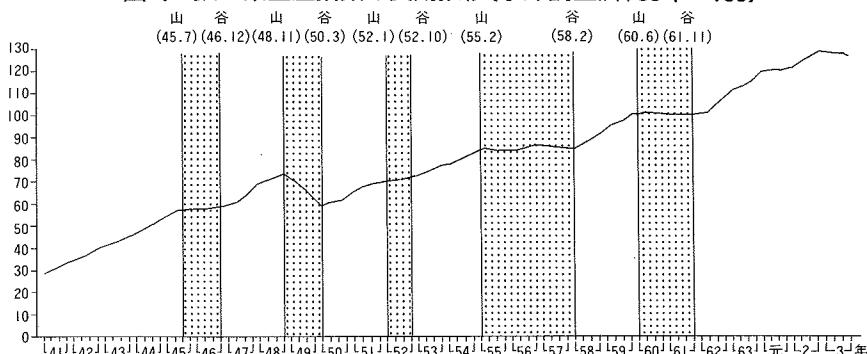
### III. 鉱工業指標でみる景気の動向

#### 1. 長期的にみた鉱工業生産水準の推移

鉱工業生産は、一進一退を繰り返しながらも順調に拡大してきています。(図1参照)まず、40年以降の「いざなぎ景気」を受けて、45年に至るまで力強く息の長い成長をしてきましたことがわかります。その後、二度の石油危機の影響を受け、49~50年に大きな水準の低下、また、55~57年頃には景気後退期にみられる生産の横ばいが続きました。60年にはプラザ合意後の急激な円高により、再度、横ばいの状況となりました。

鉱工業生産は、これらの数々の外的インパクトを受けながらも、その間においては順調に上昇し、48年の第1次石油危機直前に比べ、現在では、およそ1.8倍の水準に至っています。

図1 鉱工業生産指数の長期推移(季節調整済、60年=100)



#### 2. 最近の推移

近年の鉱工業生産をみると、円高不況後の昭和62年1~3月期に底を打ってから、平成2年末まで内需を中心とする順調な拡大を示した後、一進一退で推移しています。3年に入つてからの動きについてみると、軽・小型乗用車などの乗用車関連品目の減少、企業による設備投資の鈍化、住宅を中心とする建設投資の落ち込みなどで、前年比2.1%と昭和61年以来の低い伸びにとどまりました。(表1参照)

前年比 平成元年	6.1%
2年	4.6%

表1 鉱工業生産動向  
(前年(期)比、%)

	3年	3年			
		1~3	4~6	7~9	10~12
生産	2.1	0.0	▲0.5	0.1	▲1.2
最終需要財 生産	1.4	▲0.7	▲0.7	0.3	▲0.8
	2.9	0.7	▲0.4	▲0.1	▲1.7
出荷	1.7	▲0.1	▲0.4	0.2	▲1.1
在庫	13.1	3.5	2.6	1.9	4.2
在庫率	5.6	1.5	3.9	2.4	3.6



# 生産動態統計調査

鉱工業生産の月々の動きを明らかにするため、約3,100品目について、その生産量、出荷量、在庫量を調べています。必要に応じ、原材料使用量、従業者数、機械設備などについても調査しています。昭和23年より、毎月現在に至るまで調査を行っており、我が国の産業統計の中でも、最も基本となる調査です。

調査の方法としては、統計調査員が配布・回収するもの（第4章参照）と郵送によるものがあり、都道府県経由のほか、地方通産局経由、通産省本省直送と様々です。

調査の結果については、翌月の下旬に速報、翌々月の中旬に確報が公表されています。

品目例：(概数)

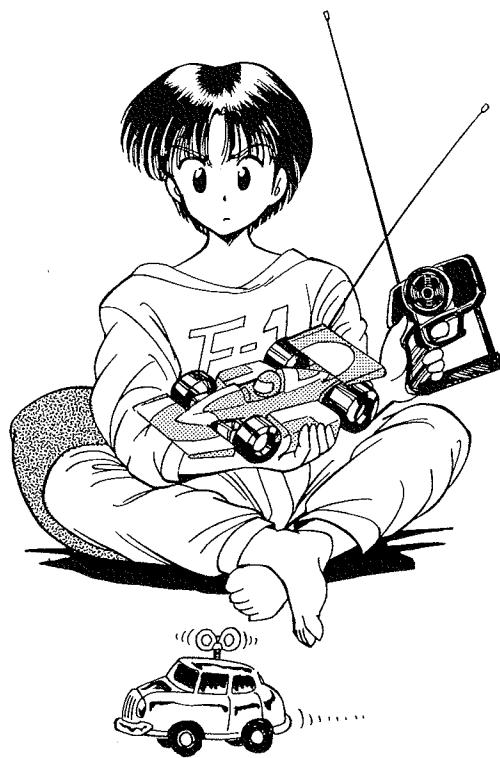
品目名	平成3年	平成2年	昭和60年	昭和50年	昭和40年
粗 鋼	1億 1000万トン	1億 1000万トン	1億 500万トン	1億 200万トン	4100万トン
自動車 (四輪車)	1320万台	1350万台	1230万台	690万台	190万台
エアコン	2000万台	1810万台	1200万台	330万台	—
半導体 集積回路	170億個	155億個	90億個	3億個	—

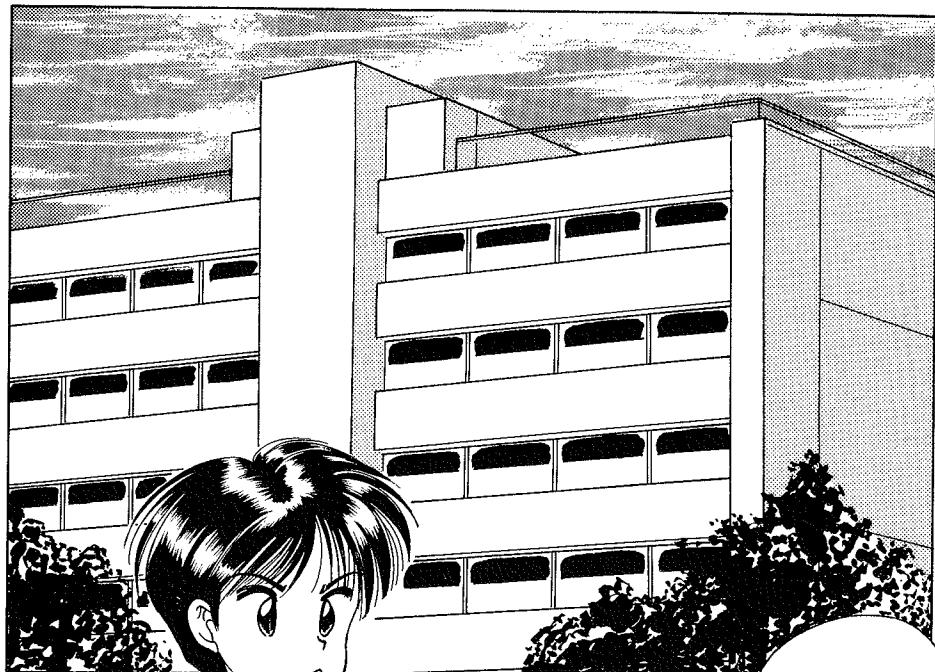


## 第2章

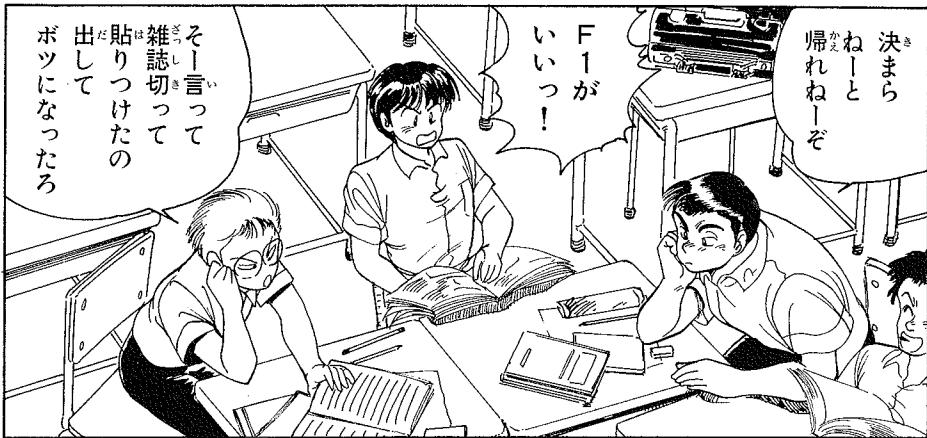
# 工業統計調査

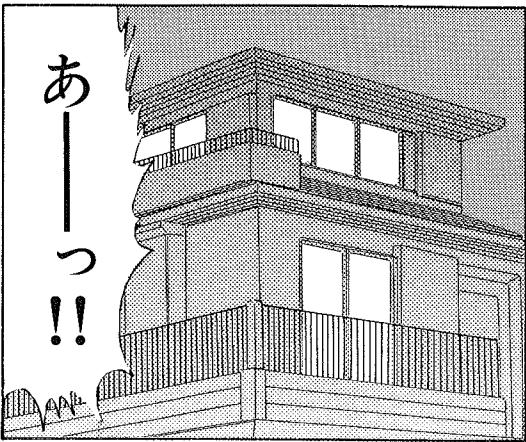
～誠の文化祭～





誠  
おまえも  
考  
えろよお

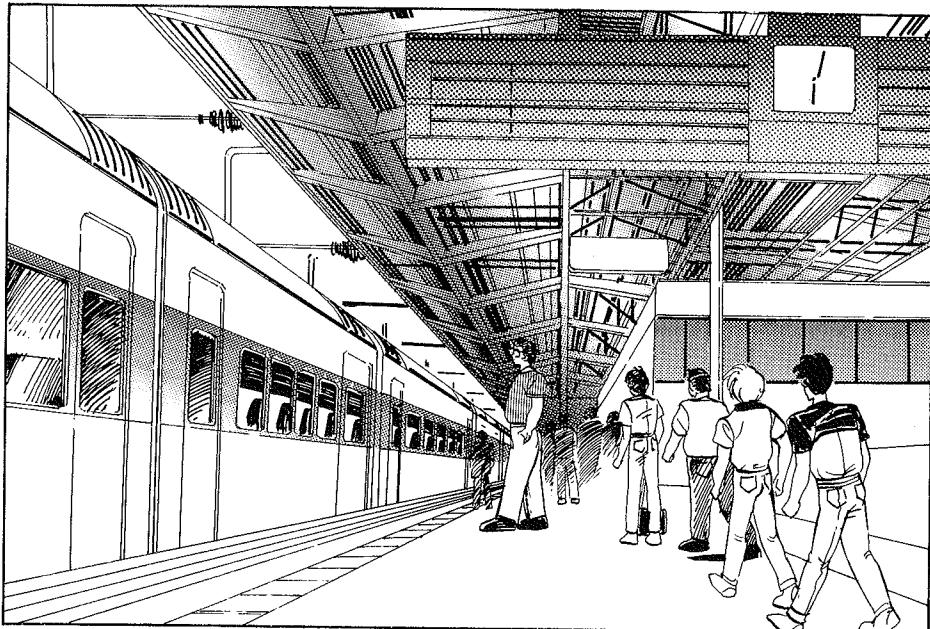


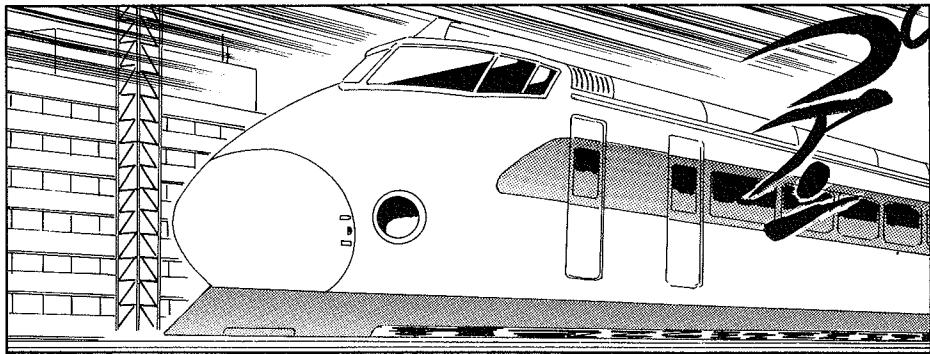








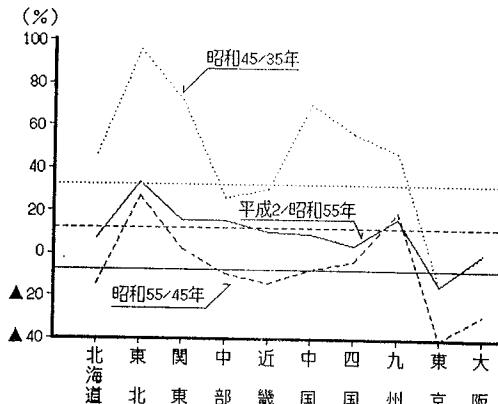






地域別事業所数の推移(10年間の事業所数の伸び率)

昭和三十五年からの地域別の事業所数(工場数)の伸び率を見ると、北海道、近畿(大阪府を除く)、中国、四国は昭和四十五年以降低い伸び率にとどまり、また東京都、大阪府は減少傾向にある

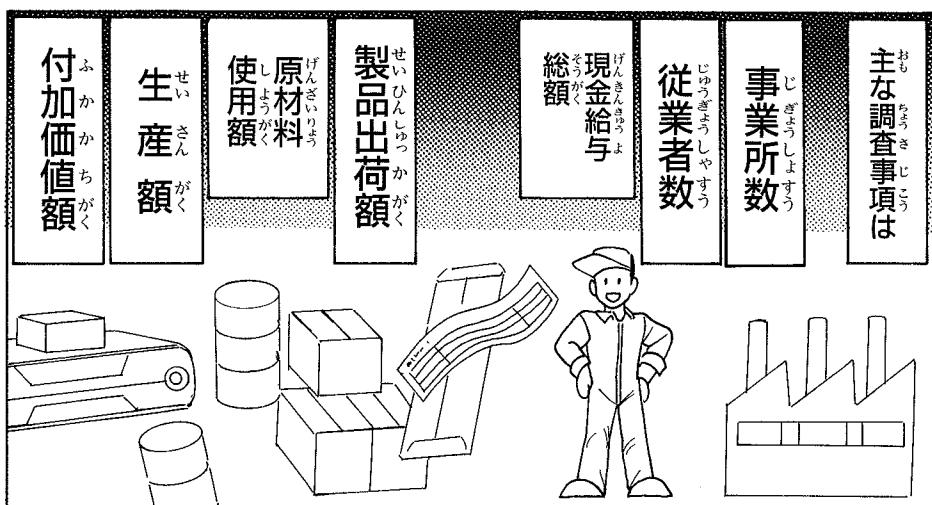
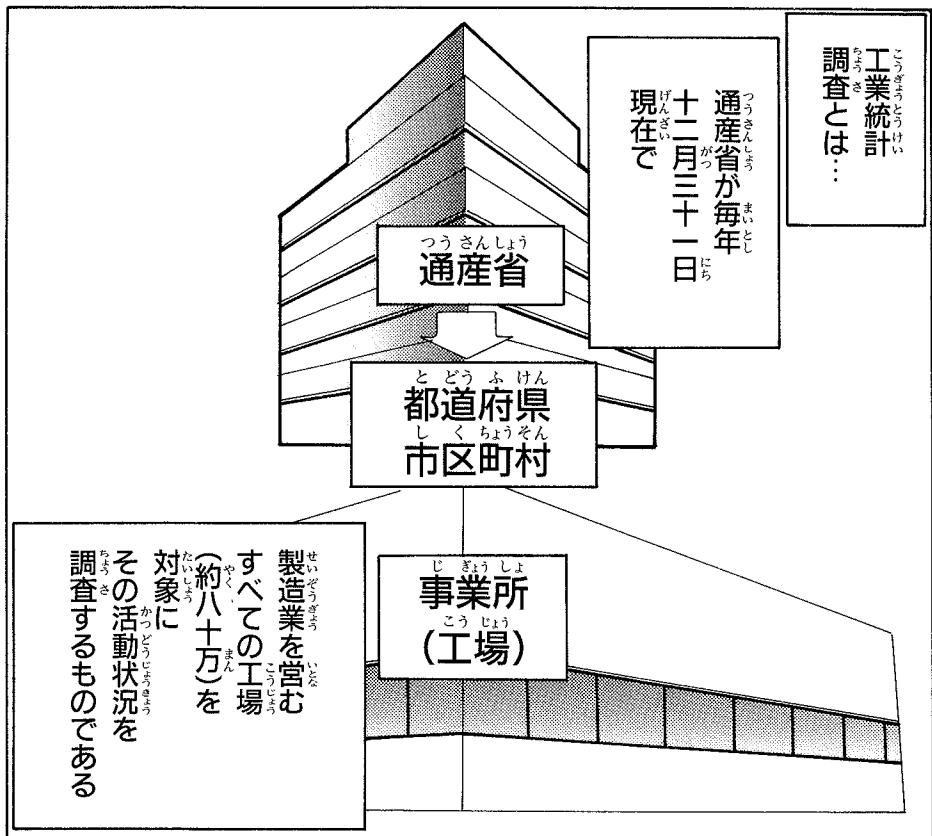


注：従業者数30人以上の事業所による。  
関東は東京を、近畿は大阪を除いている。  
九州には55年以降、沖縄を含めている。  
横線は各10年の全体の平均伸び率である。

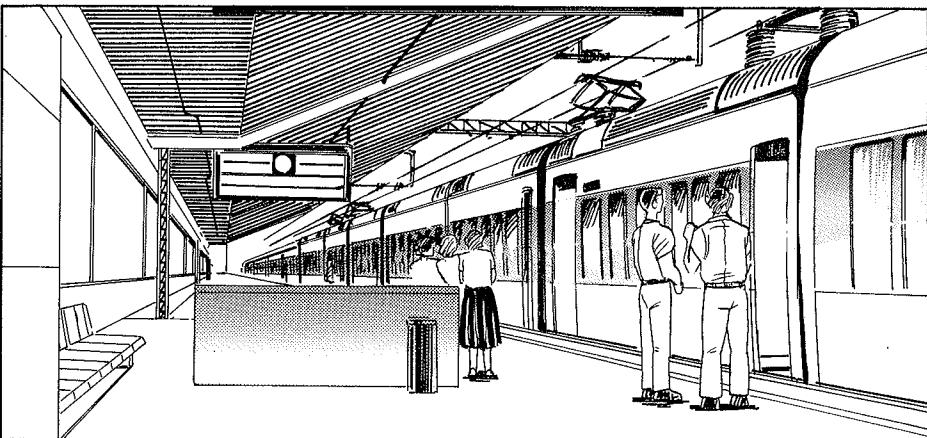
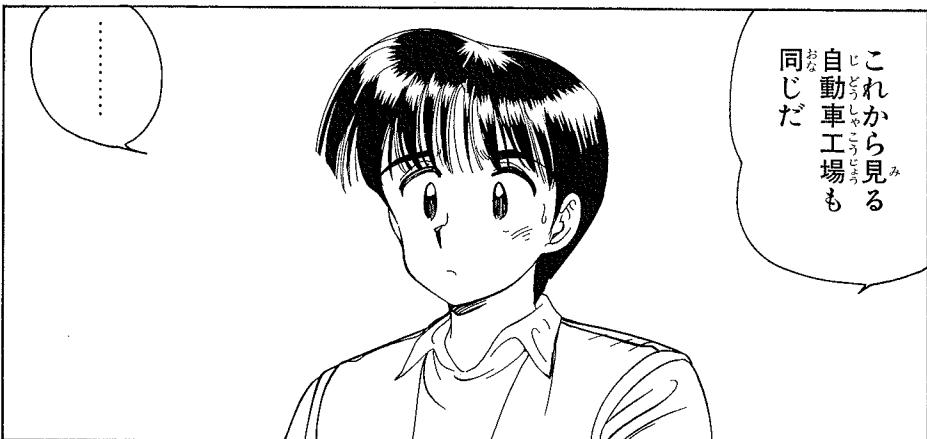
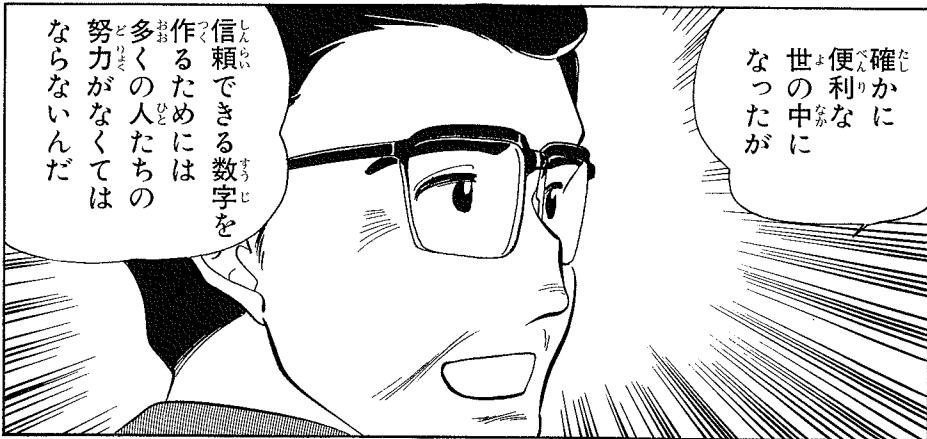
東北、一関東(東京都を除く)、九州の伸びは相対的に高くなつており、これらの地域を中心工場の地方分散化が進展していると言える



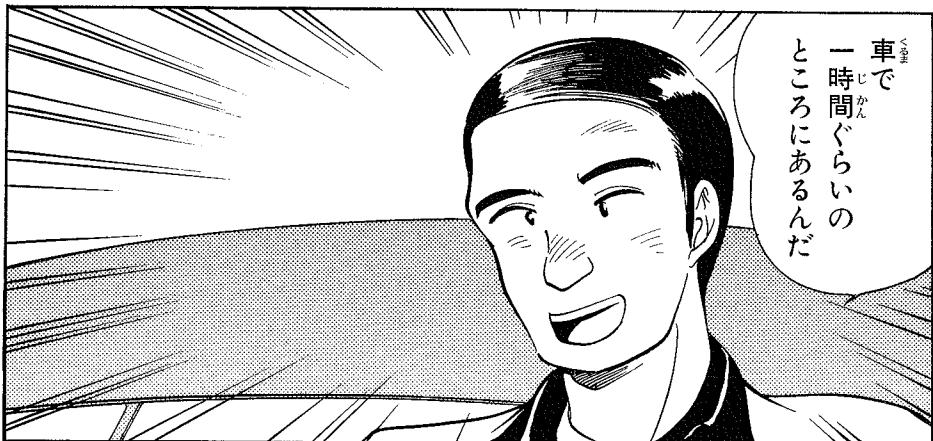
※昭和五十六年調査からは、特定年次（西暦年号末尾一、二、四、六、七、九年）について、一部の特定業種を除いて、従業者三人以下の事業所は調査していない。

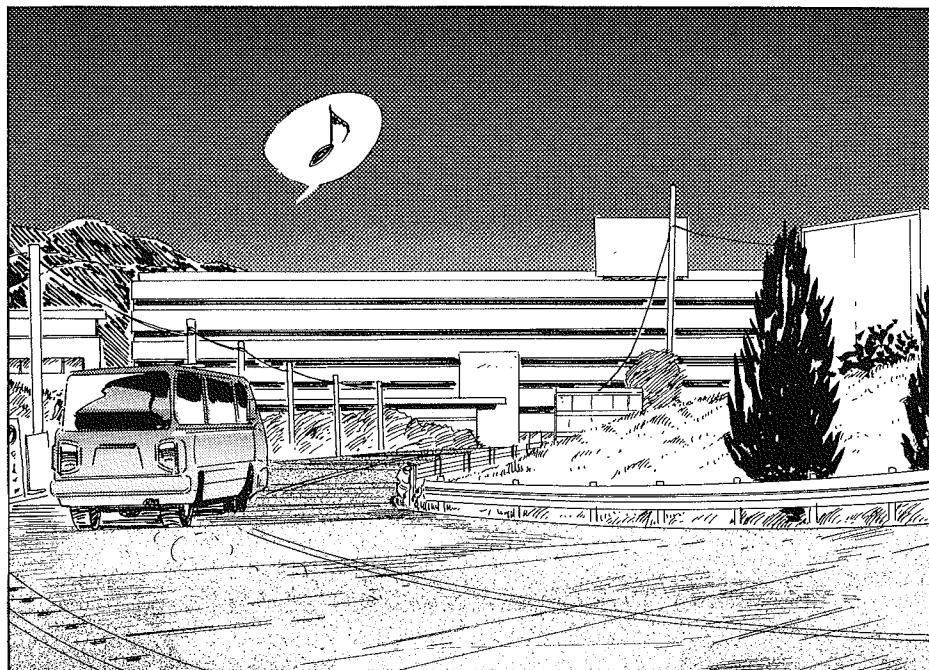


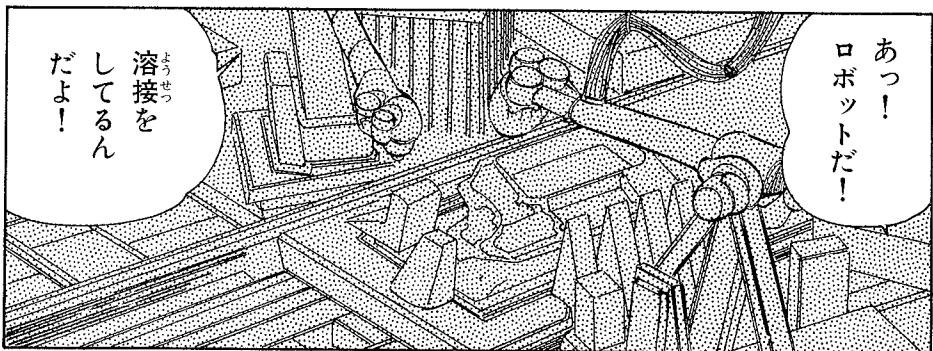
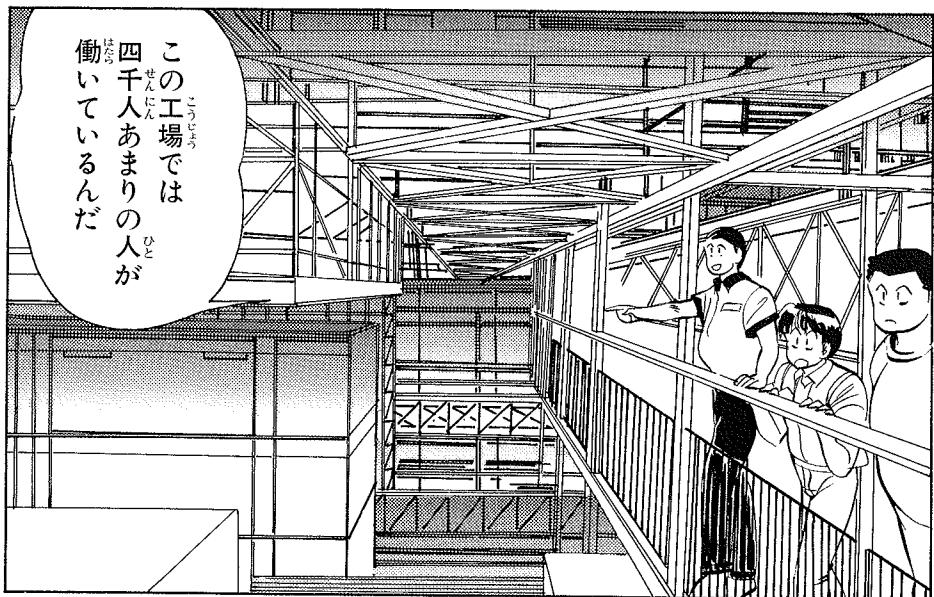
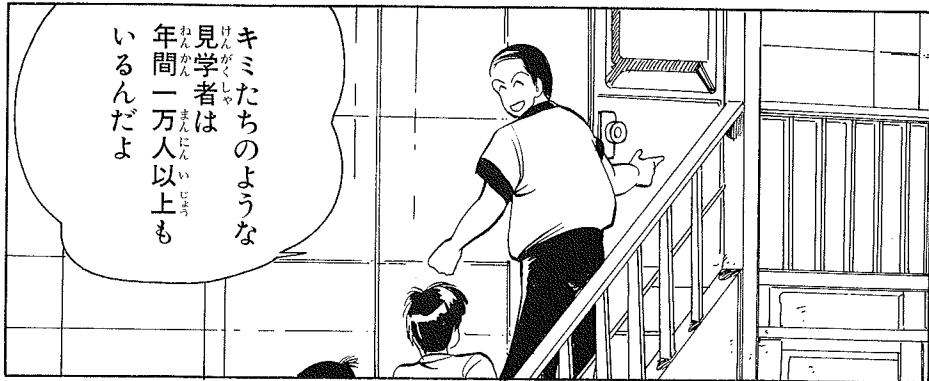


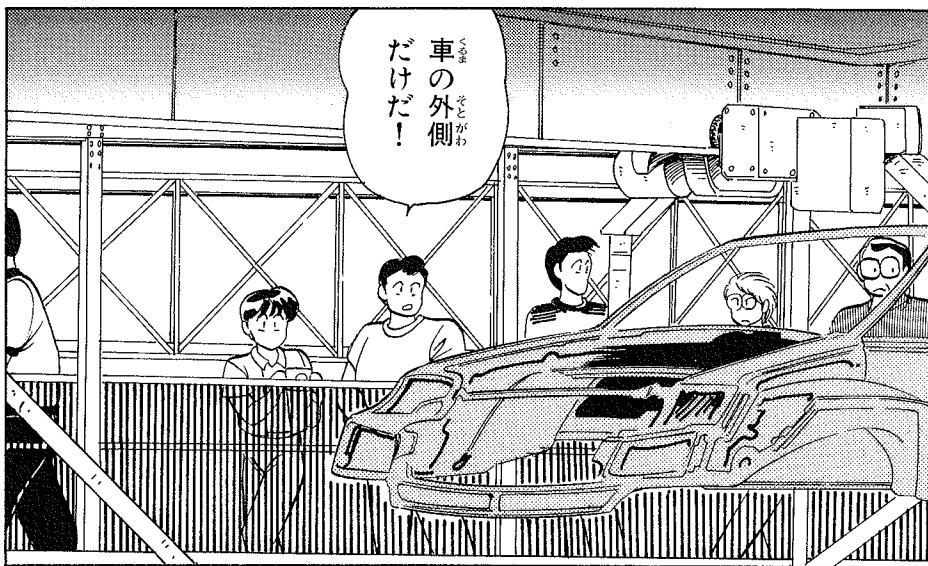


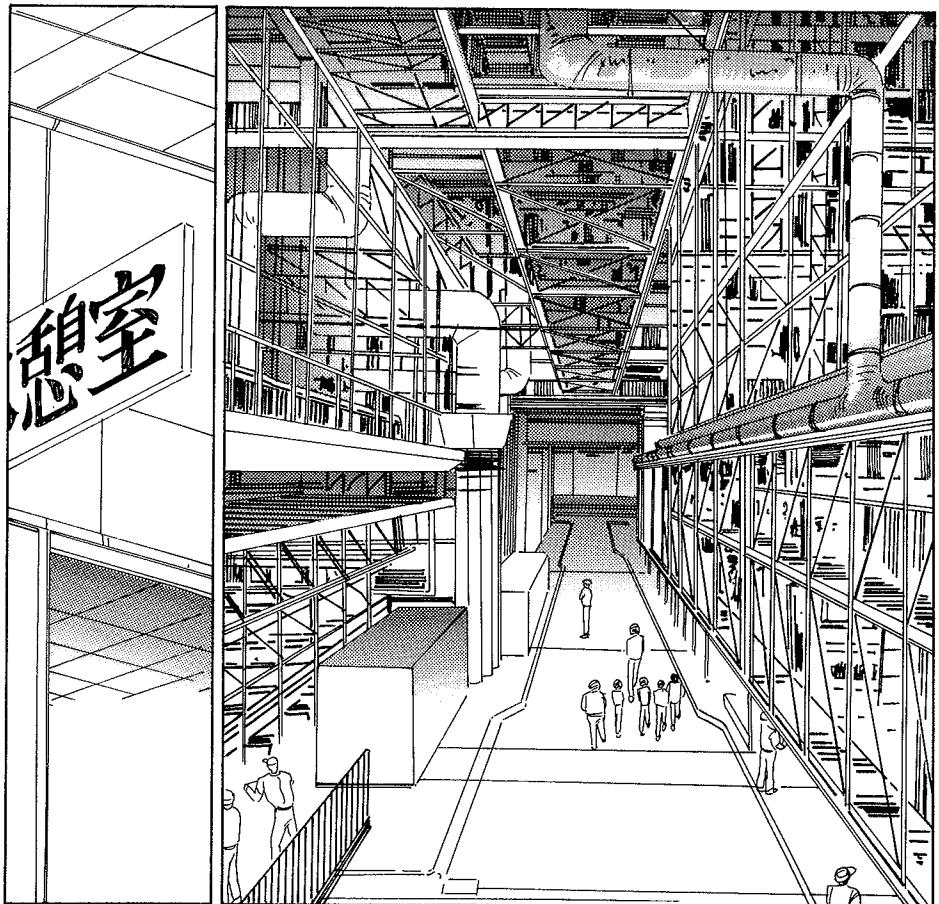
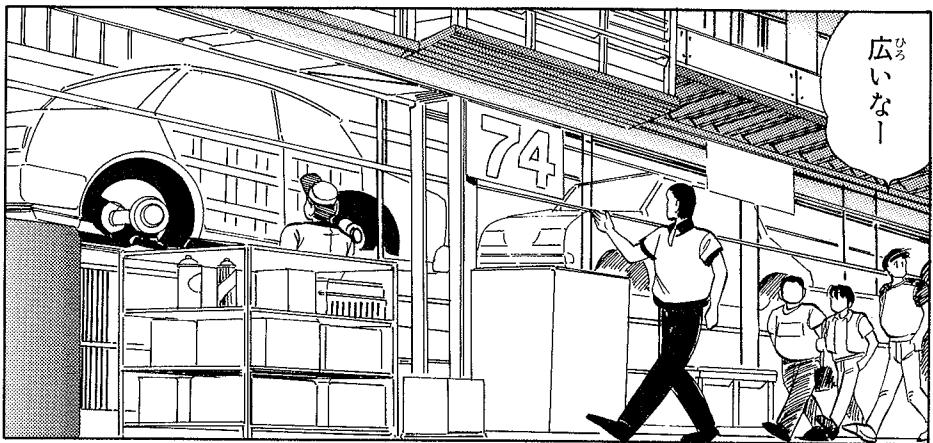


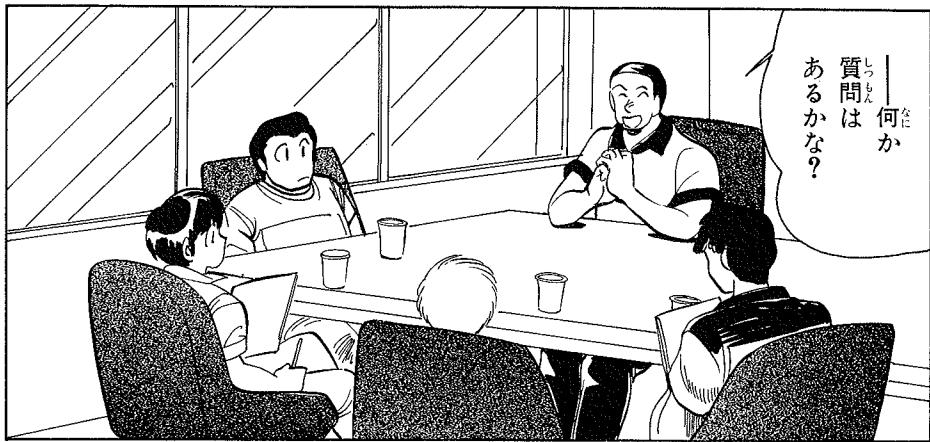


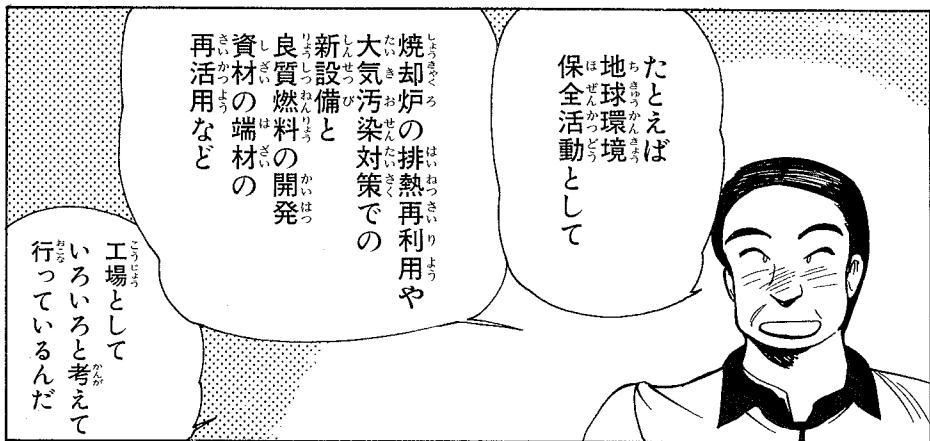












日本全体の  
いろいろな工場のうち  
自動車などを  
造っている工場は  
どのぐらいの割合を  
占めているんですか？

関連の  
部品工場なども  
含めて  
お願いします

そういうのは  
さつき言った  
統計調査で  
わかるんだよ

なあ

ちよ……  
ちょっと  
守備範囲が  
違うな……

このような  
自動車工場は  
約四十事業所  
というところだな！

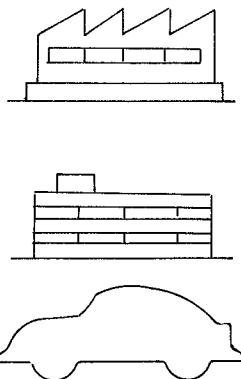
乗用車の  
年間生産は約  
九百七十五万台

最近の  
工業統計調査などの  
結果によると



また関連部品も含めた  
自動車などの製造工場が  
日本全体の  
製造業のうち  
どれぐらいを  
占めているかという  
ことなんだが……

さらに従業者数の割合について見ると  
全製造業の従業者数は  
約一千二百万人、そのうち  
関連部品も含めた  
自動車などを製造する事業所は  
約八十万人で、全体の六・八%と  
なっている



製造業を営む事業所数は  
全国で約七十三万事業所ある  
そのうち関連部品も含めた  
自動車などを製造する事業所は  
約一万六千事業所であり  
全製造業の一・一%を占めている

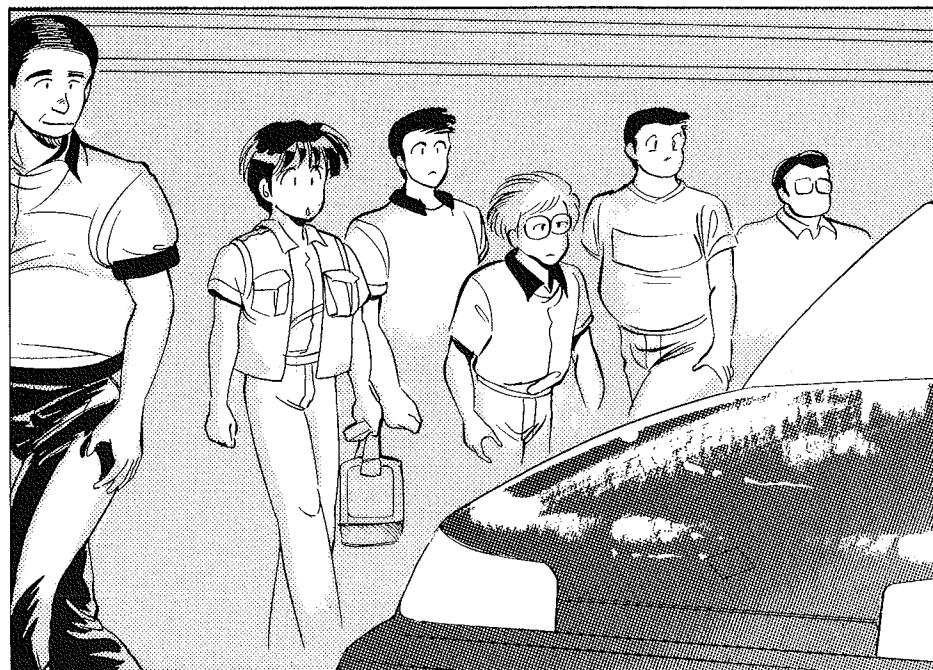


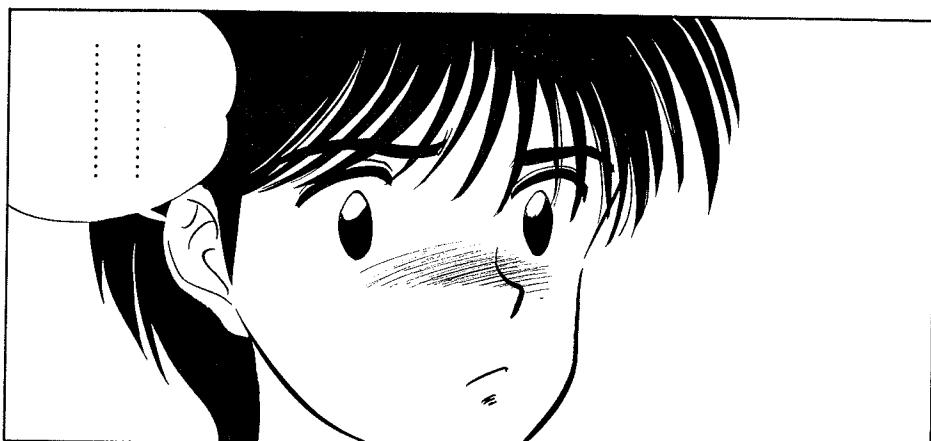
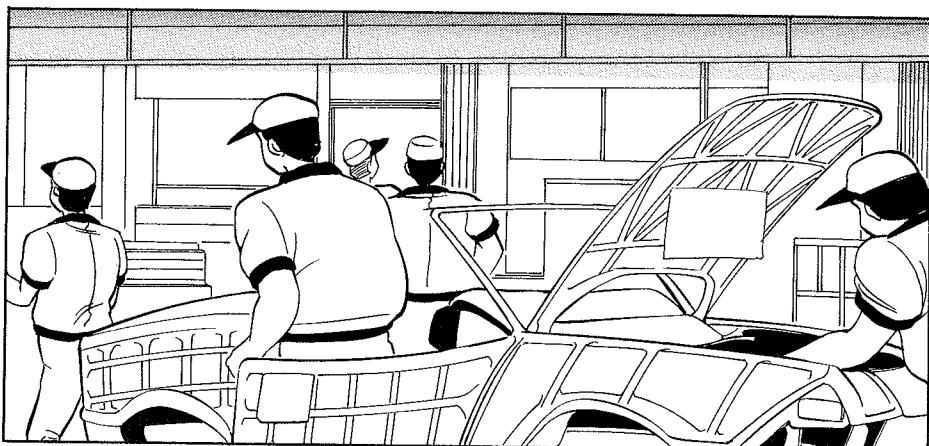
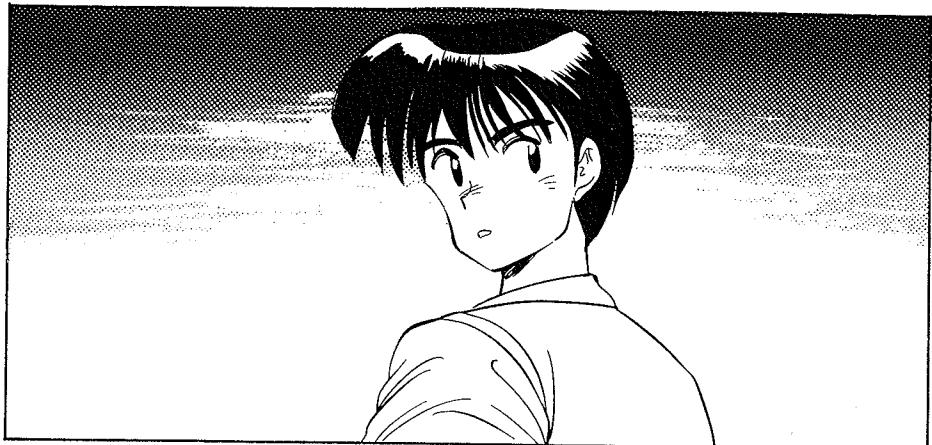
この工業統計調査の  
結果について  
具体的には何に  
使われているの？

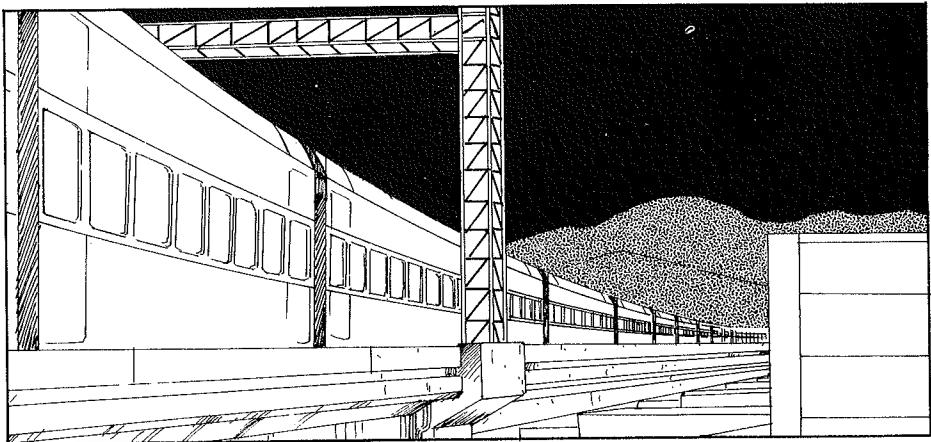
じやあ  
残りの工程を  
見ることに  
しようか

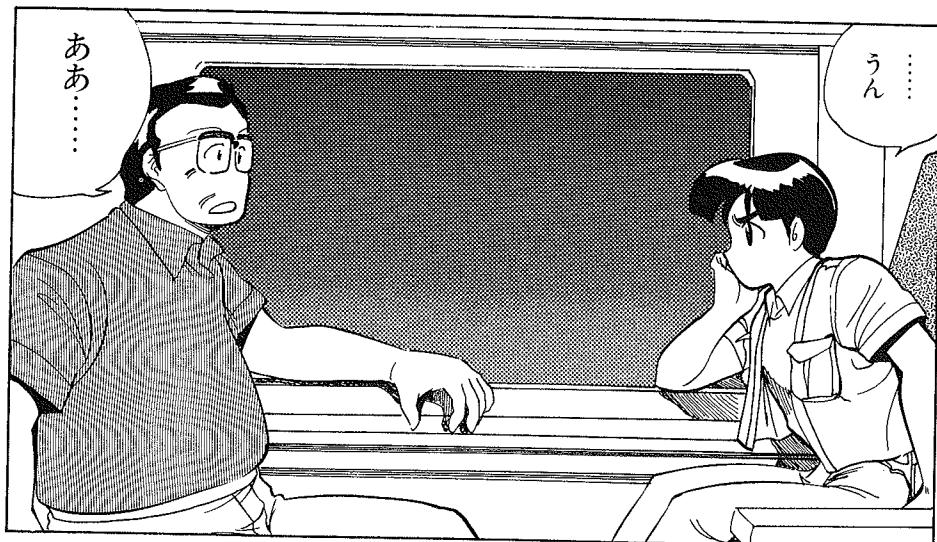
そのほか  
景気動向把握  
における  
設備投資や  
企業における  
策定などにも  
広く利用されてるんだ

工業統計調査は  
産業振興、中小企業対策  
立地公害対策など  
さまざまな政策の  
企画・立案のための  
データになることをはじめ











# 工業統計

(つづき)

明治42年から行われており、産業統計の中で最も歴史の古い調査です。

毎年12月31日を期日として、全国の製造業を営む事業所(その数約80万)の全てに対し、約3万5000人の統計調査員の方々(第4章参照)が、調査票を配り、それを回収するという方法で調査をしています。  
(但し、西暦年号の末尾が1、2、4、6、7、9、の年は、従業者3人以下で特定の業種に該当しない事業所は、調査の対象からはずしています。)

この統計調査では、次のようなことを調査しています。

①従業者数②現金給与総額③製造品出荷額④在庫額⑤原材料使用額⑥減価償却額(機械設備の消耗分)

これらの項目をいくつか組み合わせて計算すれば、例えば次のようなことがわかります。

●生産額～③製造品出荷額と④在庫額を足し合わせればよい。

●付加価値額～生産額から、⑤原材料使用額や⑥減価償却額など  
製造活動に要した費用を引けばよい。

以上のような事柄を 1) 全国 2) 各地域(各都道府県)

3) 業種別 4) 規模別などいろいろな方法で結果をまとめて  
います。

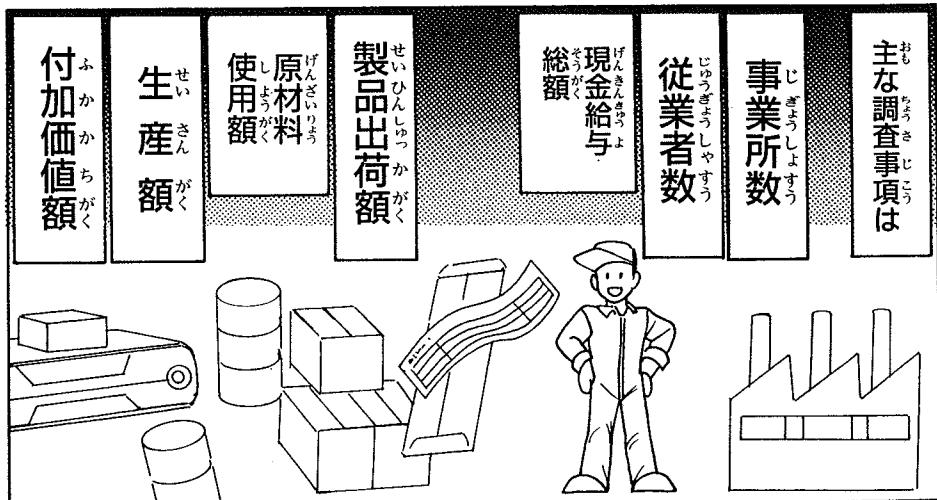
では、平成2年の工業統計結果を具体的に見てみましょう。



# 従業者規模別統計表(平成2年)

従業者規模 (人)	事業所数			付加価値額※		
	実数	前年比 (%)	構成比 (%)	実数 (百万円)	前年比 (%)	構成比 (%)
合計	43,5966	103.4	100.0	118,910,011	107.1	100.0
4~9	244,015	105.5	56.0	8,203,655	110.2	6.9
10~19	86,511	100.5	19.8	8,194,807	108.3	6.9
20~29	45,064	100.8	10.3	8,107,275	108.4	6.8
30~49	23,205	100.9	5.3	7,024,182	108.0	5.9
50~99	20,933	101.3	4.8	12,536,636	107.8	10.5
100~199	9,615	102.0	2.2	13,843,896	110.0	11.6
200~299	2,785	102.8	0.6	8,036,910	105.8	6.8
300~499	1,889	99.8	0.4	10,301,425	105.4	8.7
500~999	1,245	100.3	0.3	13,522,787	100.8	11.4
1000以上	704	106.3	0.2	29,138,438	107.9	24.5

※従業者9人以下は粗付加価値額



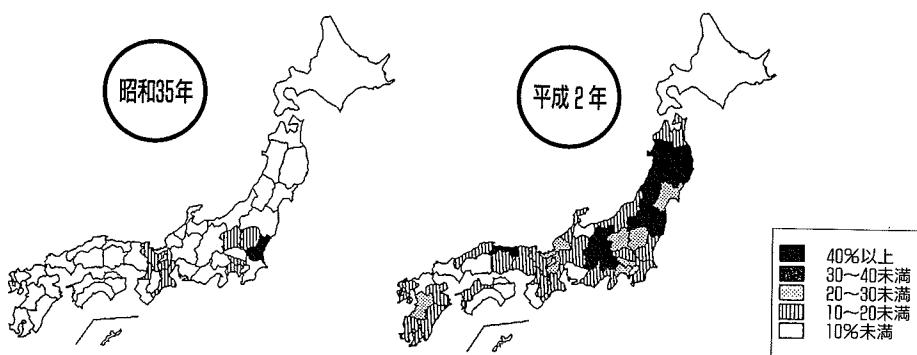
## 製成品出荷額等の都道府県別順位及び主要産業の状況(10位まで)

順位	都道府県名	実数 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	伸び率 順位	各県の主要産業1位~3位:( )内は同産業の前年比増減率			
						1位			2位
						位	位	位	位
2年 元年	全国	323,129	100.0	108.1	-	電気機械	16.9( 7.4)	輸送用機械	14.4( 11.3)
1 1	愛知	36,617	11.3	110.6	8	輸送用機械	40.5( 11.5)	一般機械	10.8( 18.7)
2 2	神奈川	28,015	8.7	108.6	20	電気機械	26.8( 4.9)	輸送用機械	21.8( 13.4)
3 3	大阪	24,551	7.6	105.1	42	一般機械	13.3( 5.3)	電気機械	13.3( 3.7)
4 4	東京	22,823	7.1	106.9	39	出版・印刷	24.3( 8.0)	電気機械	22.0( 6.6)
5 5	埼玉	17,003	5.3	108.0	26	電気機械	18.4( 9.8)	輸送用機械	16.4( 11.1)
6 6	静岡	16,265	5.0	107.0	37	輸送用機械	21.6( 8.1)	電気機械	15.2( 8.5)
7 7	兵庫	15,400	4.8	107.6	30	一般機械	15.0( 9.5)	電気機械	14.5( 6.5)
8 8	千葉	12,187	3.8	110.4	9	化学工業	16.4( 11.7)	鉄鋼業	16.0( 5.0)
9 9	茨城	10,761	3.3	108.0	24	電気機械	19.7( 2.0)	一般機械	17.7( 8.2)
10 10	広島	8,931	2.8	108.3	22	輸送用機械	30.6( 8.8)	一般機械	13.1( 14.2)

## 都道府県別製造品出荷額シェアの推移（織維工業）



## 都道府県別製造品出荷額シェアの推移（電気機械器具製造業）



第3章

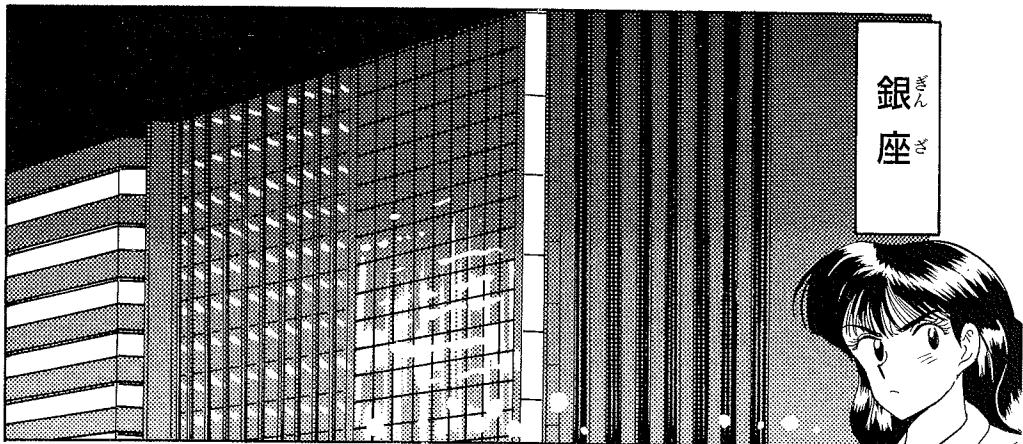
その1

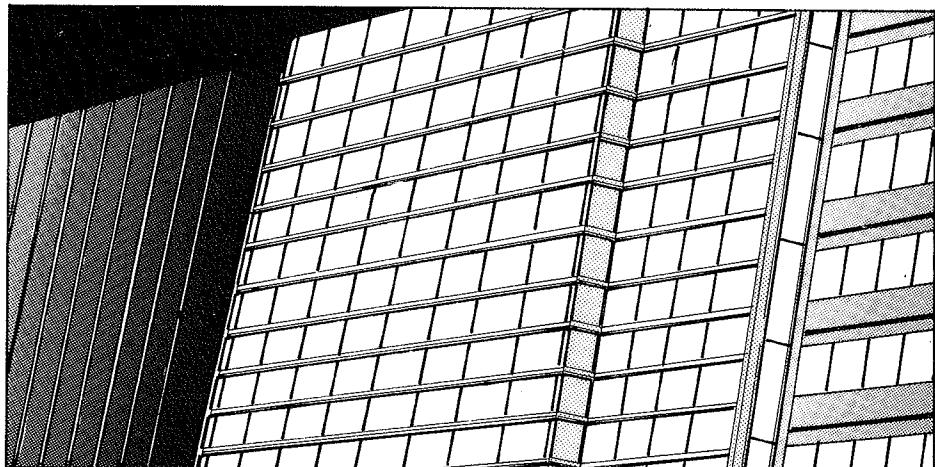
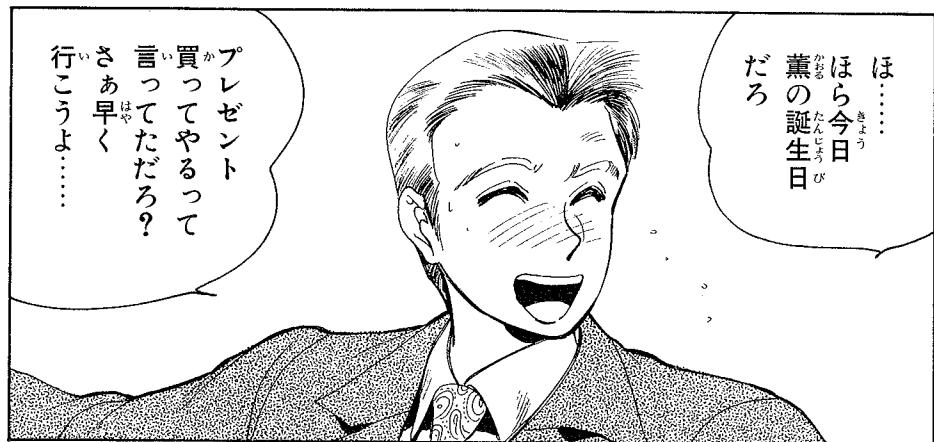
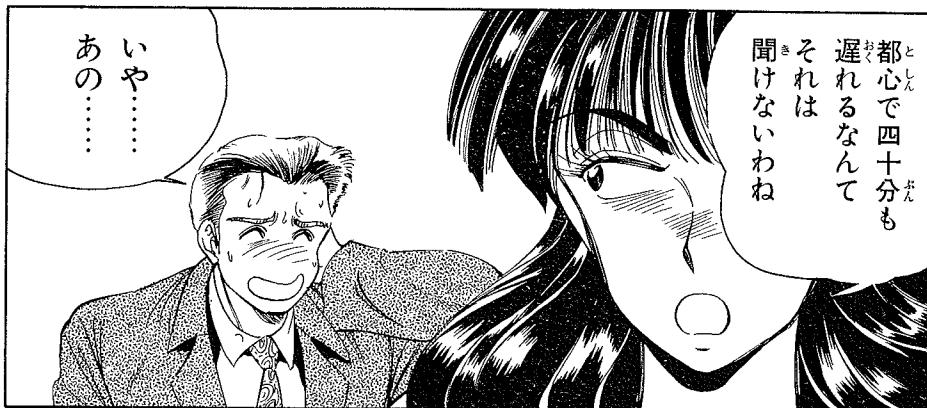
# 商業統計調査

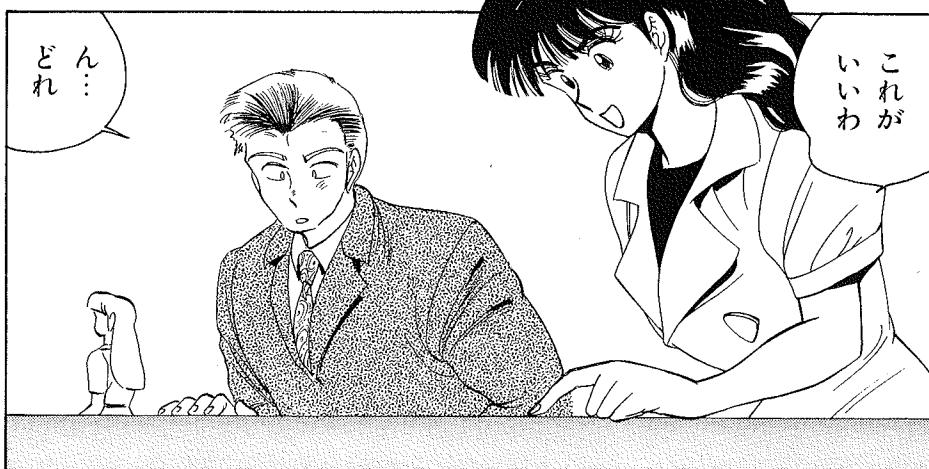
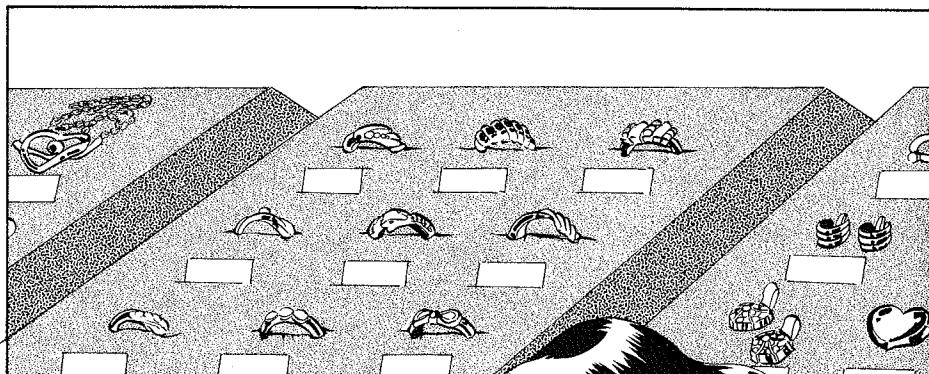
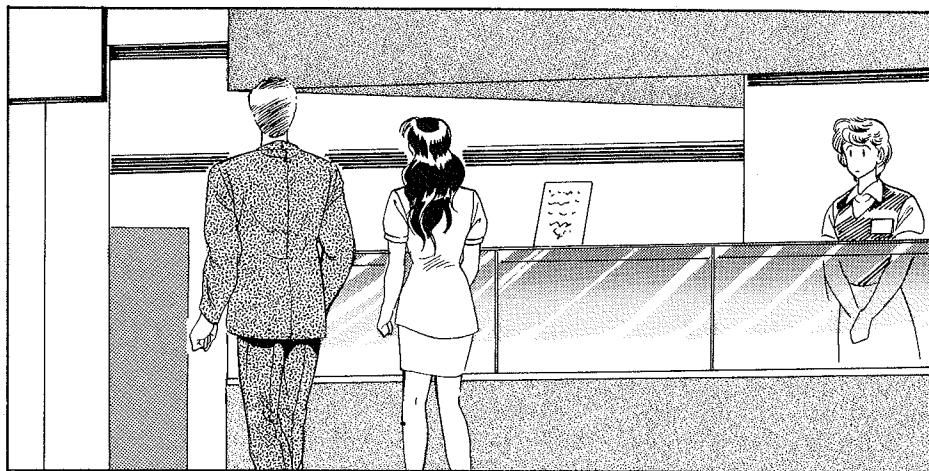
～薰のバースデープレゼント～

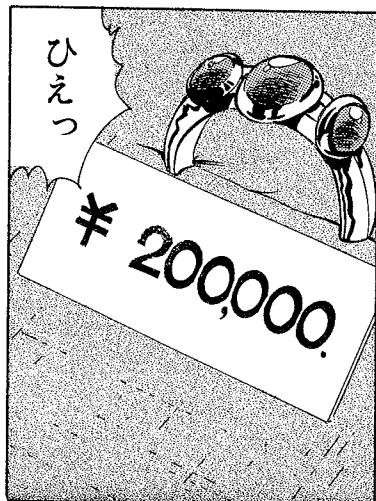


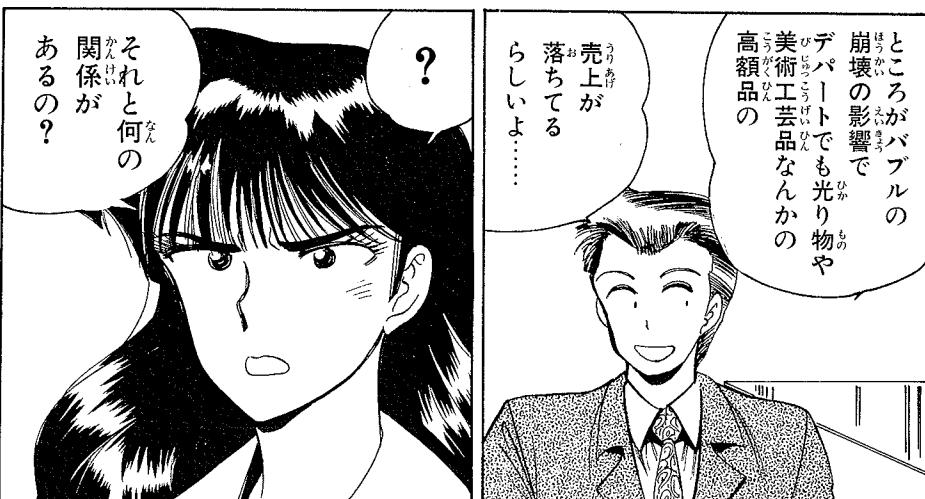
銀座

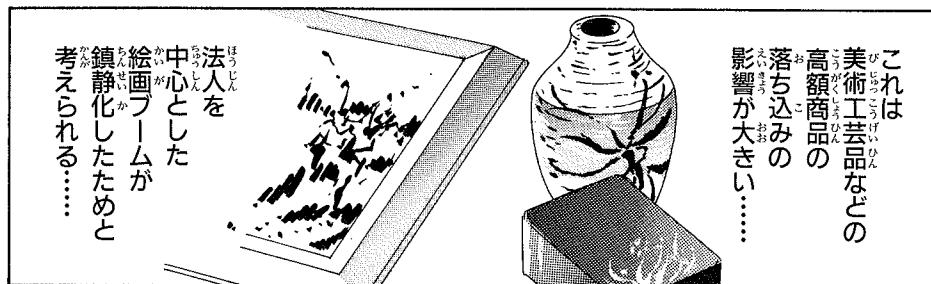
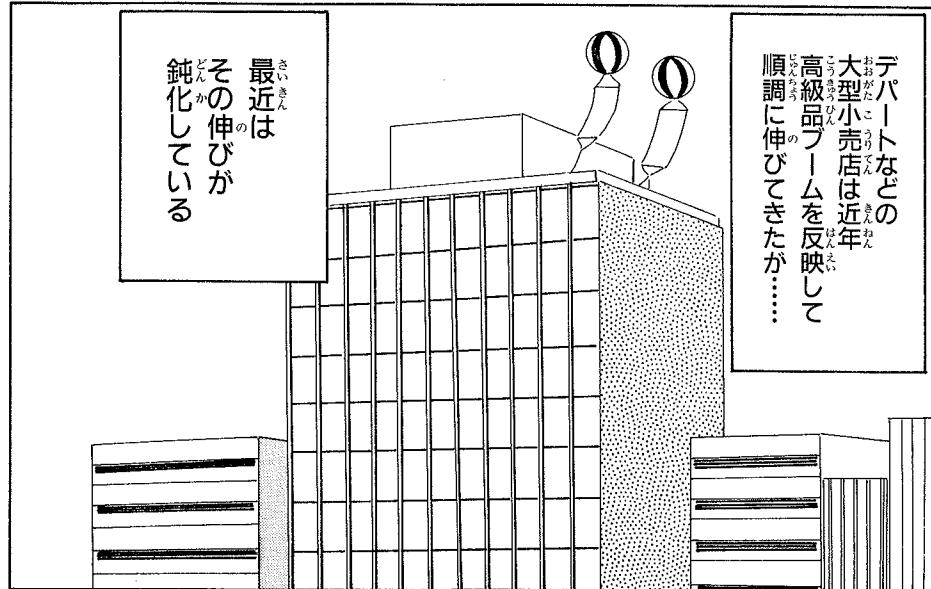


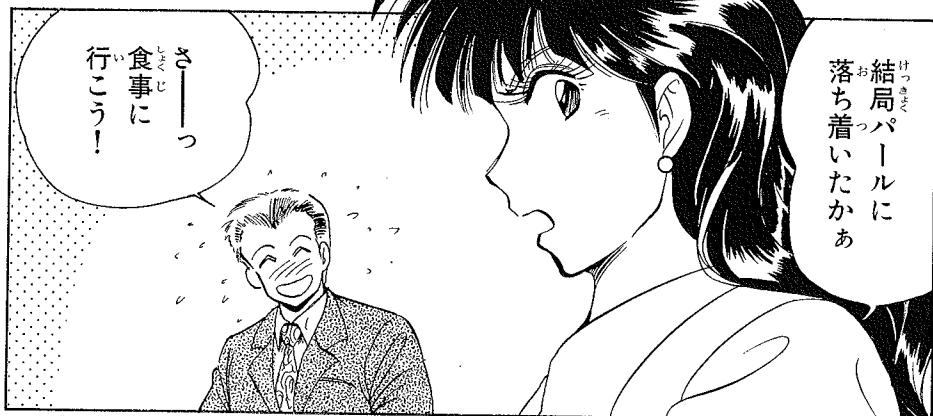


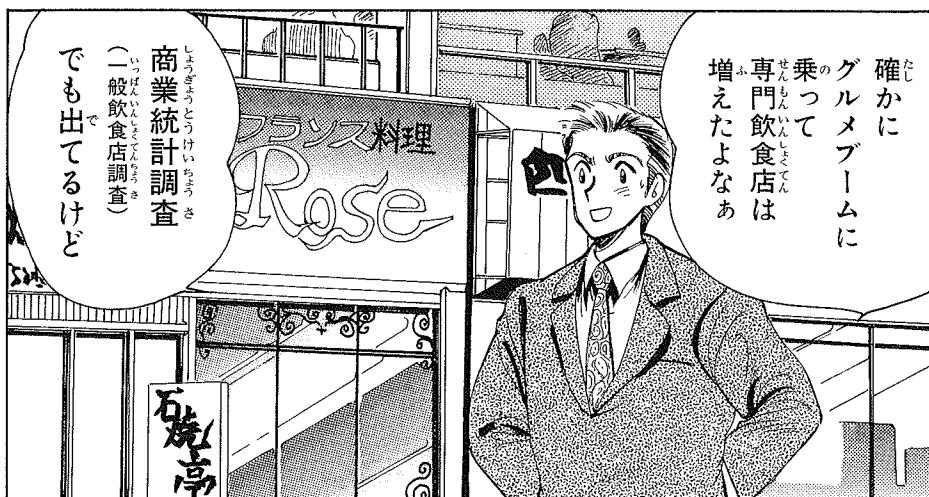


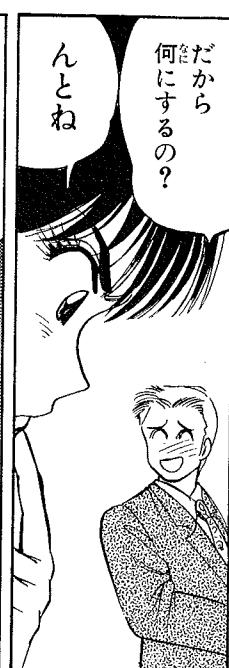


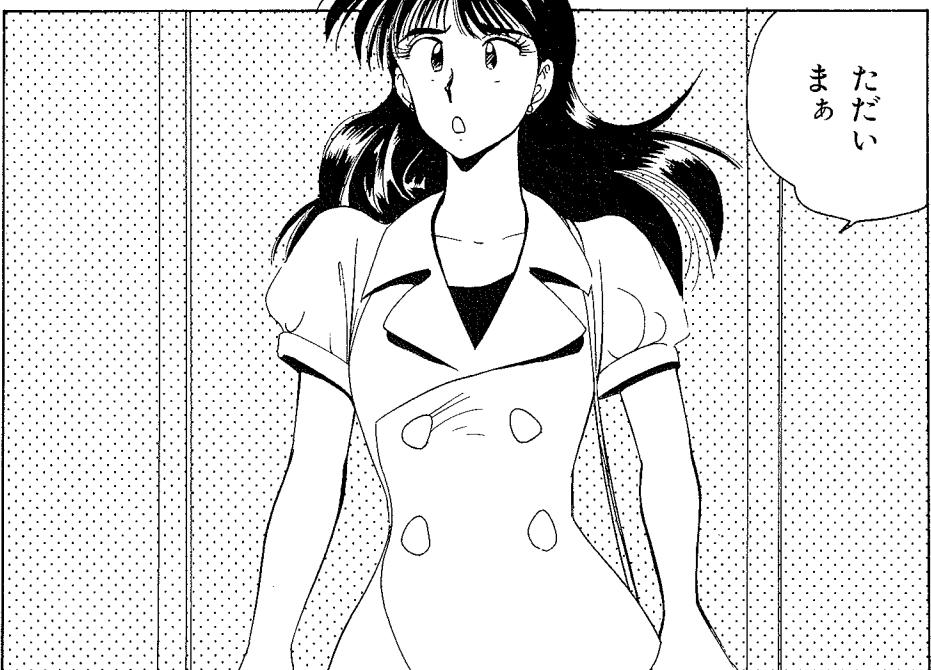
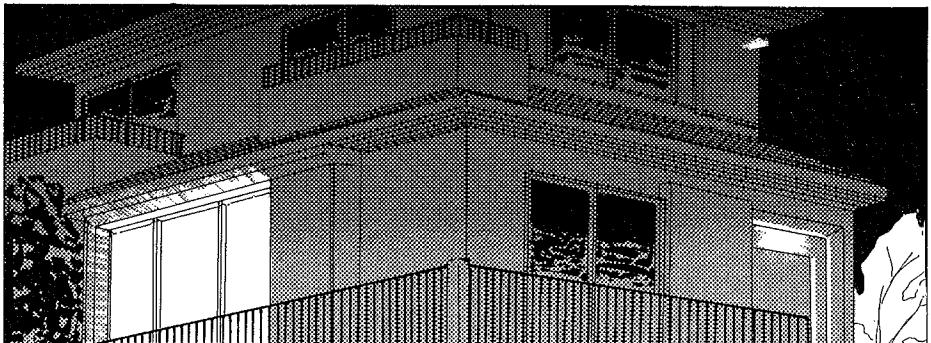


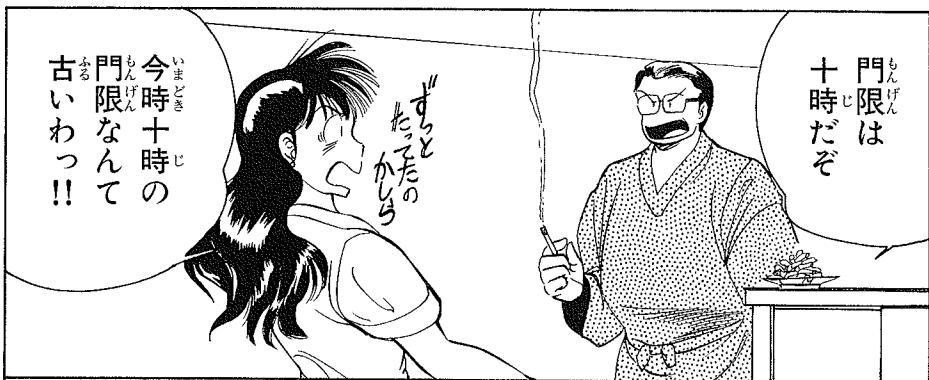


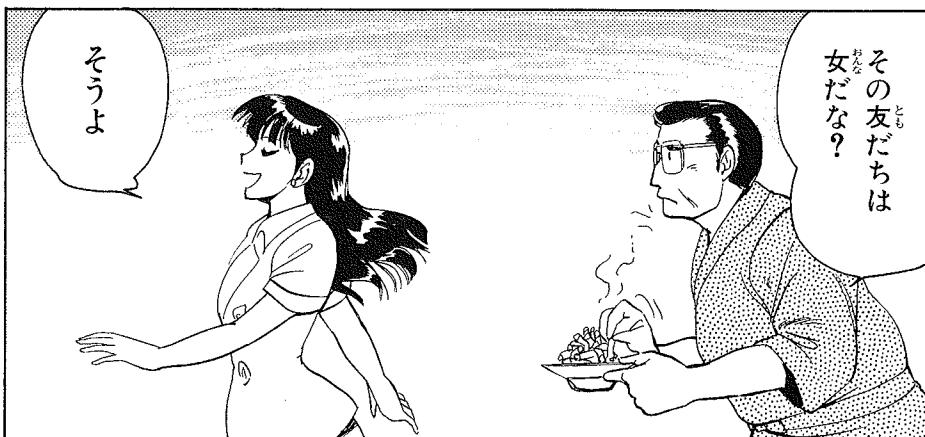


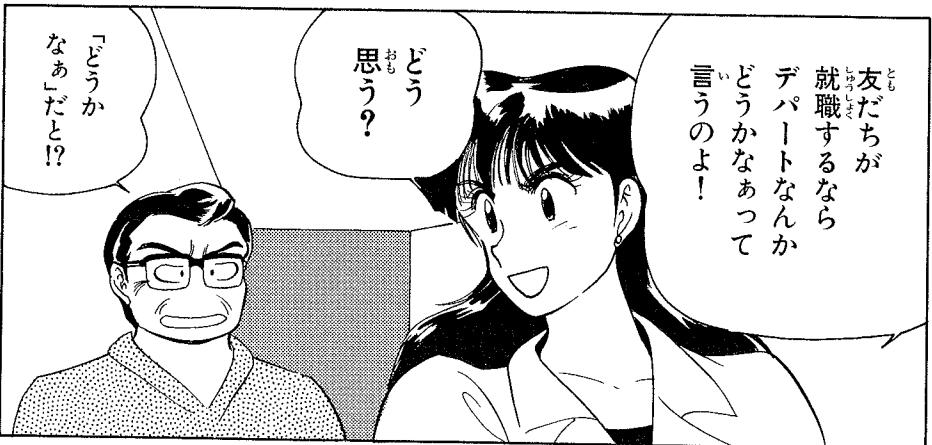


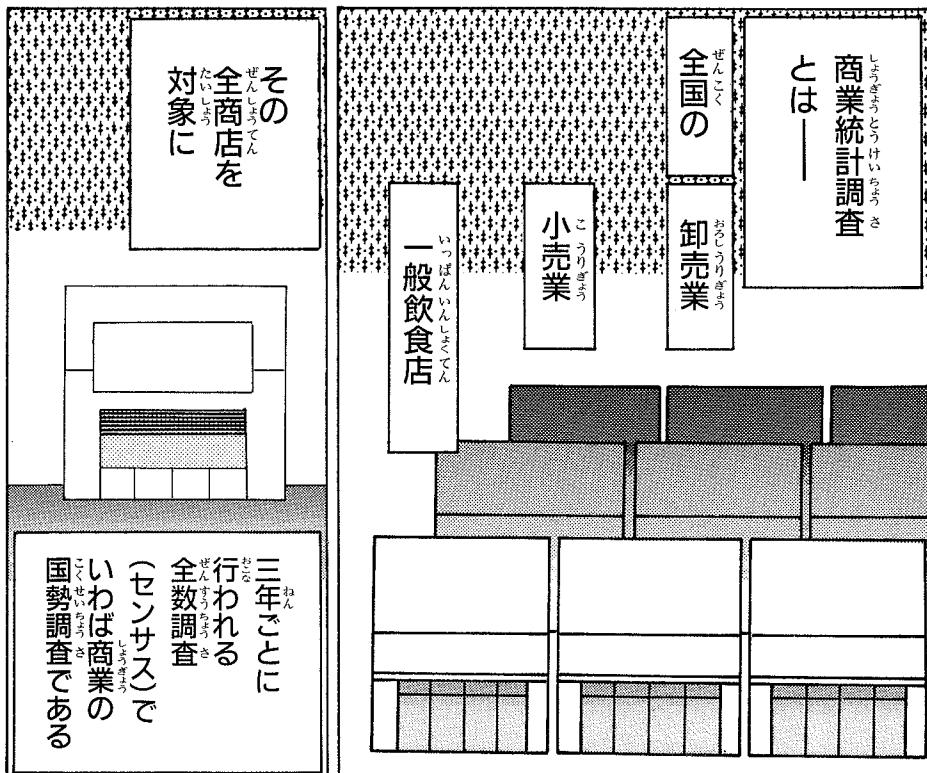






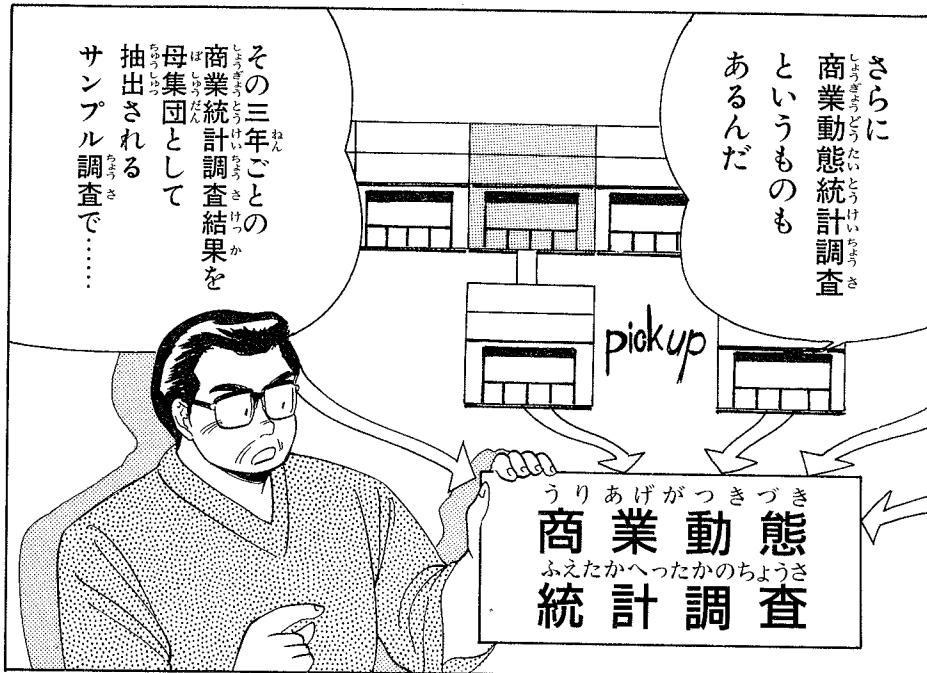


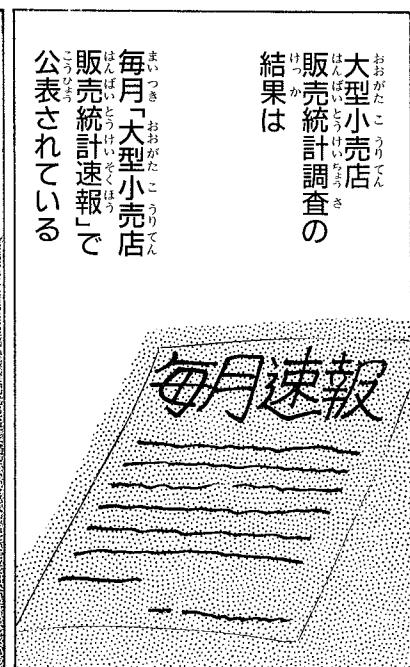




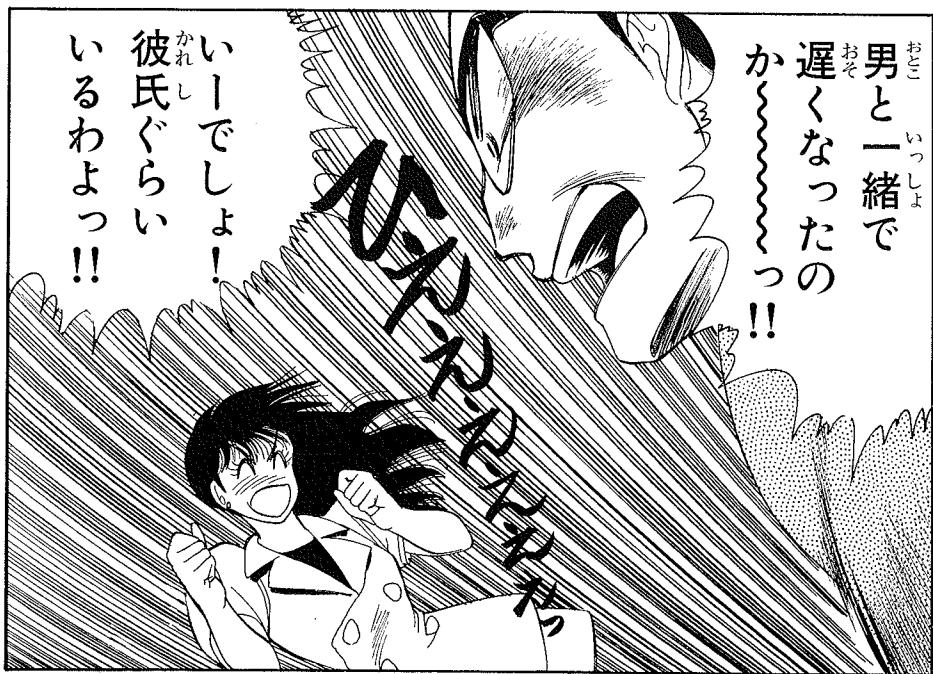


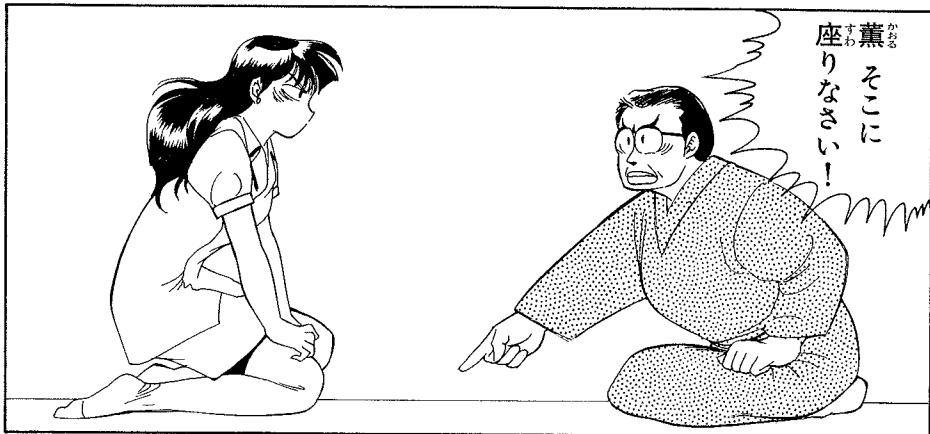


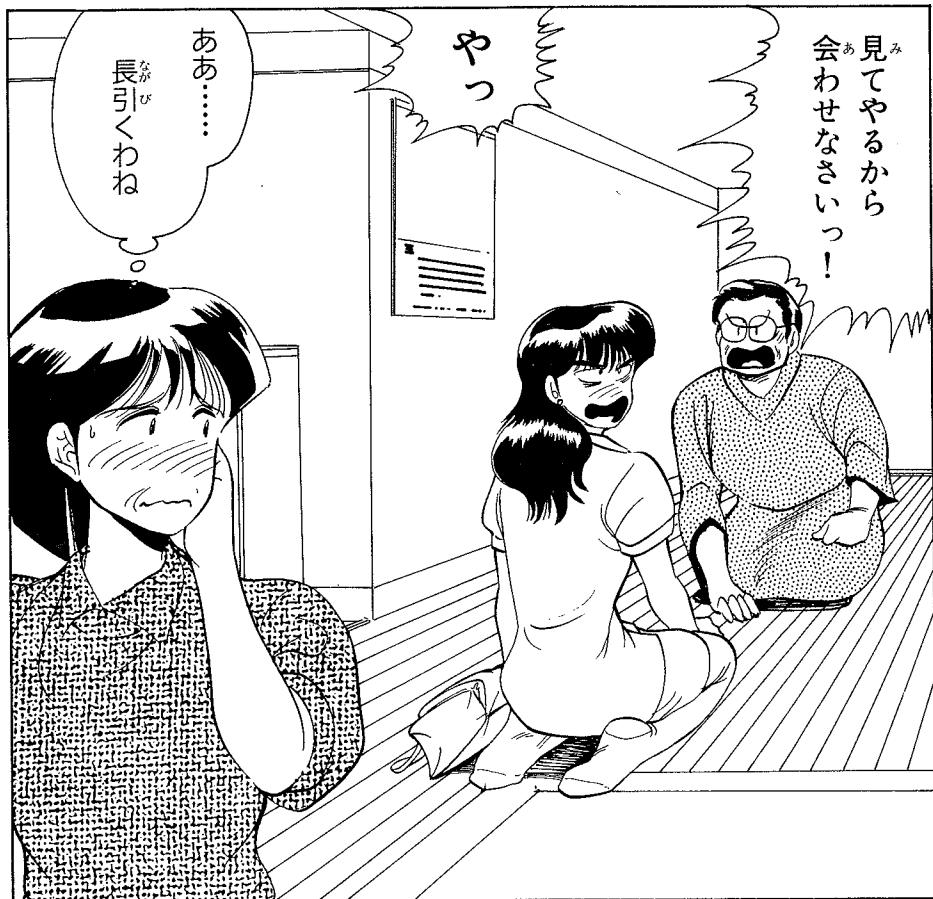












# 商業統計

商業統計調査は昭和27年から全国の卸売業、小売業、一般飲食店の全商店を調査しており、近年では3年周期で行われています。全数調査をセンサスといいますが、工業統計(第2章参照)、事業所統計(総務庁が実施)と併せて3大経済センサスと言われています。

この商業統計では、①商店数 ②従業者数 ③年間販売額 ④商品手持額(在庫額) ⑤売場面積 ⑥営業時間 ⑦販売方法などを調査していて、業種別、規模別、地域別に商店の分布状況や販売効率なども把握できます。

例えば、図-1にみられるように最近の消費者ニーズの多様化を反映して、長時間営業のコンビニエンス・ストアが大幅に増加していることがわかります。

(平成3年7月1日現在)

(注) : ( )内の数値は前回比増減率で上段は合計、下段はうち特定タイプ店

図-1 コンビニエンス・ストア商店数の推移

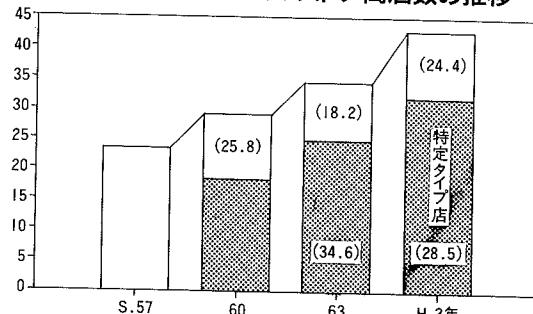
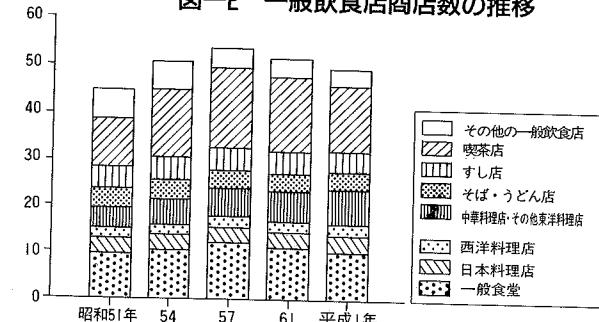


図-2 一般飲食店商店数の推移



また、外食産業のデータをみると、喫茶店、一般食堂(大衆食堂)が減少し、ファミリーレストランなどの西洋料理店や中華・東洋料理店が増加していることから、近年の「グルメブーム」や「食のレジャー化」の現状がみてえられます(図-2)。

(平成元年10月1日現在)

# 商業動態統計

商業統計は3年に一回の調査なので、最新のデータを捉えることを目的として、毎月の商店（卸・小売業）の販売額を調査しているのが商業動態統計です。商業動態統計は大別すると、総合商社などの「大規模卸売店販売統計」と百貨店や大型スーパーなどの「大型小売店販売統計」、卸・小売業全体をみる「業種別商品販売統計(標本調査)」があります。これらは月次のデータを取りまとめていますので、短期的な景気動向、特に個人消費の動きをみるうえで貴重な基礎資料となります。

図-3、4は大型小売店の販売額を①年別、②四半期別、③業態別(百貨店、スーパー)、④商品別に分類したものです。このうち平成3年の特徴をみてみましょう。

図-3 大型小売店販売額の推移

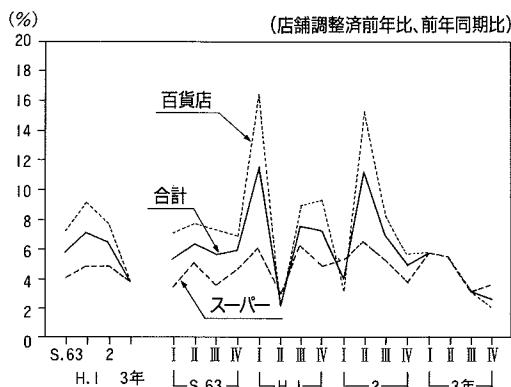
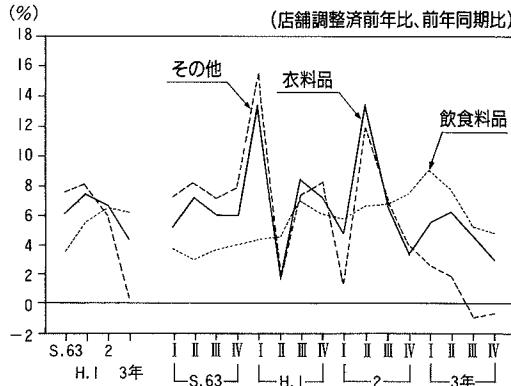
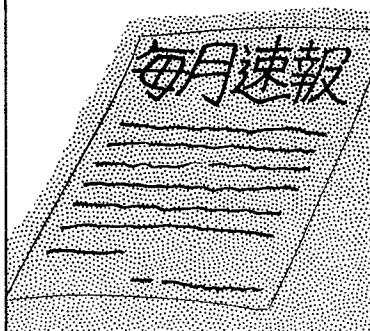


図-4 商品別販売額の推移(大型小売店)



結果は  
「大型小売店  
販売統計調査」  
で  
公表されている



- ① 平成3年全体の伸びをみると、百貨店（前年比3.8%増）、スーパー（同4.1%増）とともに堅調な伸びと言えますが、年後半では百貨店を中心に伸びが鈍化しています。
- ② 衣料品（前年比4.6%増）、飲食料品（同6.3%増）はそれぞれ堅調な伸びとなっていますが、その他（衣料品、飲食料品以外）は低い伸び（同0.5%増）にとどまっています。
- これらの2つの結果をみると、平成3年後半に百貨店でのその他の売れ行きが鈍ってきたと考えられます。そこで、もう少しデータを掘り下げる（表-1）、平成3年後半における美術工芸品などの商品の落ち込みの影響が大きいことがわかります。これは法人を中心とした絵画ブームが鎮静化したためと考えられます。

〈表-1〉その他の商品販売額の推移（百貨店）

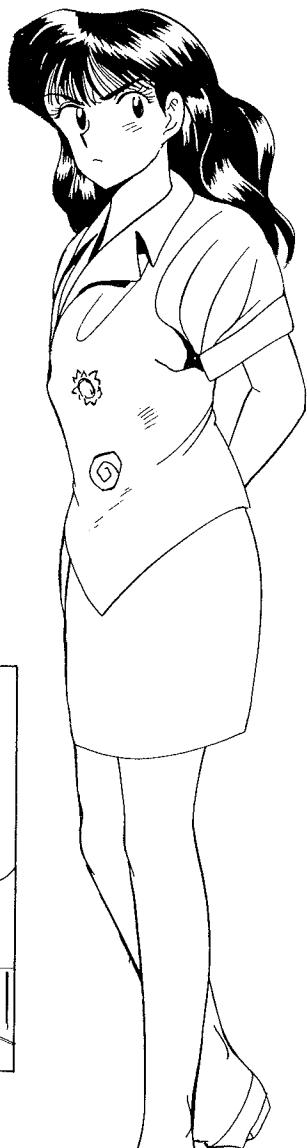
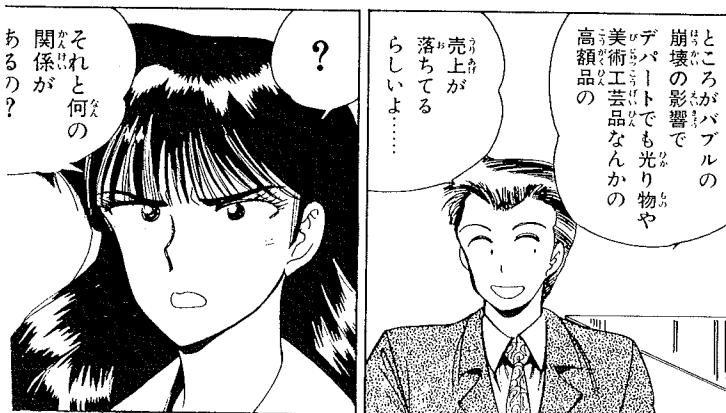
（店舗調整済前年同期比）

	家 具	家 電	家庭用品	その他の商品 (美術工芸品等)
平成2年4～6月期				
7～9	26.1	8.3	12.2	16.4
10～12	9.1	5.5	6.4	12.9
平成3年1～3月期				
4～6	8.7	▲1.4	3.2	7.6
7～9	3.5	▲1.1	4.8	2.3
10～12	1.1	0.8	4.4	▲0.1
	2.4	▲4.4	▲0.1	▲3.7
	▲3.3	1.1	▲0.4	▲4.7

このように、商業動態統計の結果により、最近の売れ筋商品の実態や消費の現状などをみることができます。

（注）1. コンビニエンス・ストアとは…セルフサービス方式によって商品を小売りしていく、原則として次の条件を備えた商店（店舗）をいいます。  
 ア. 1日の営業時間が、12時間以上、又は午後9時以降に閉店であること  
 イ. 店舗面積は、おおむね50m<sup>2</sup>以上～500m<sup>2</sup>未満程度であること  
 うち特定タイプ店とは1日の営業時間が、12時間以上かつ午後9時以降に閉店の商店をいいます。

2. 大型小売店販売統計における店舗調整とは、調査対象商店の定義変更及び異動（開店・廃業など）があった場合、前年（同期、同月）比を当年及び前年とも調査対象となった商店のみで算出することをいいます。

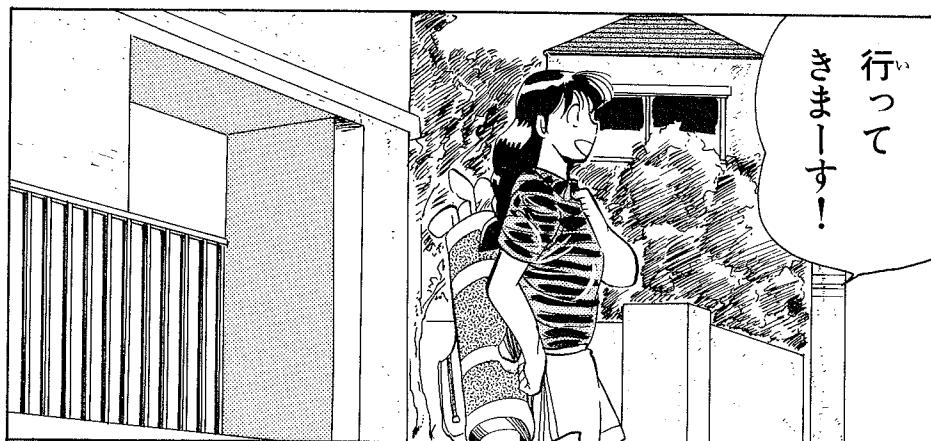


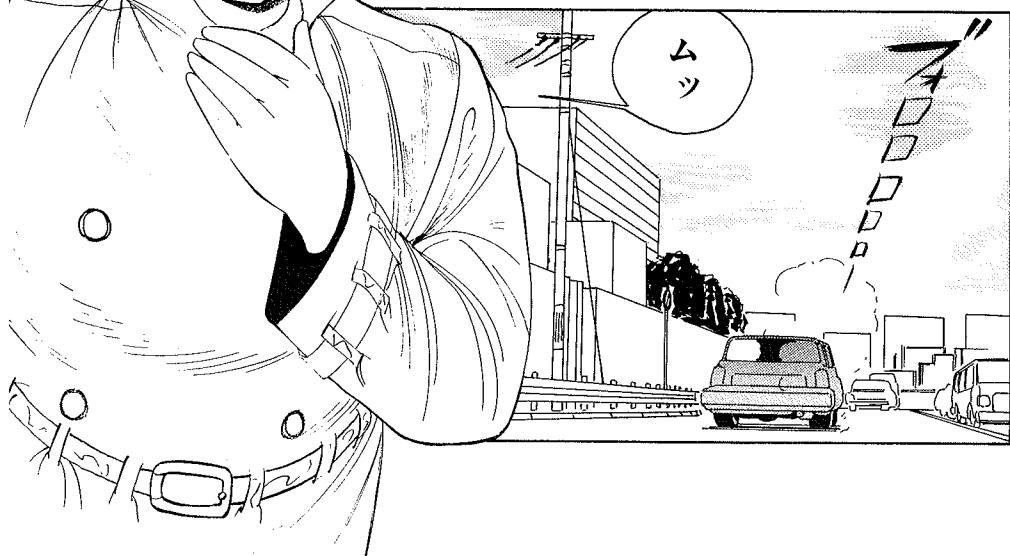
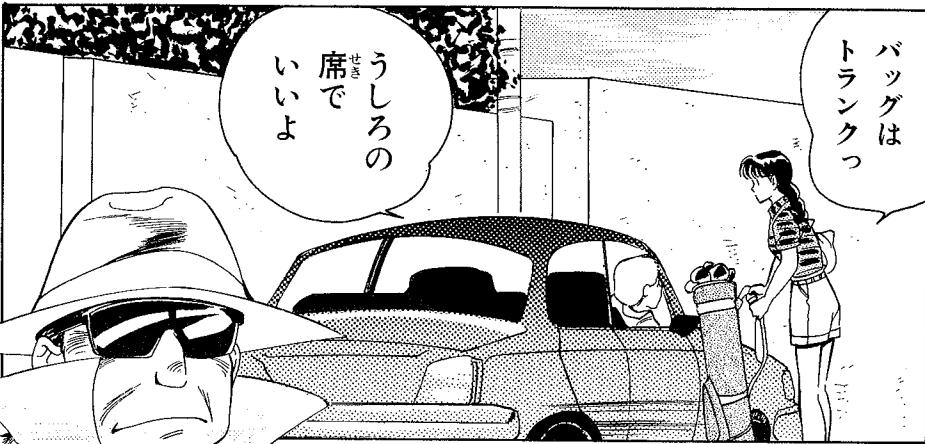
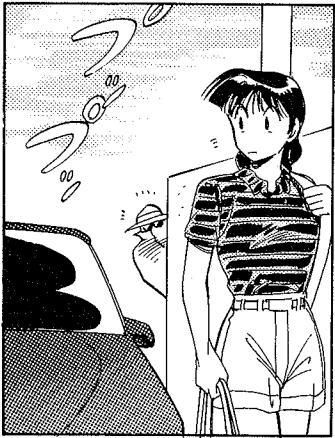
## 第3章 その2

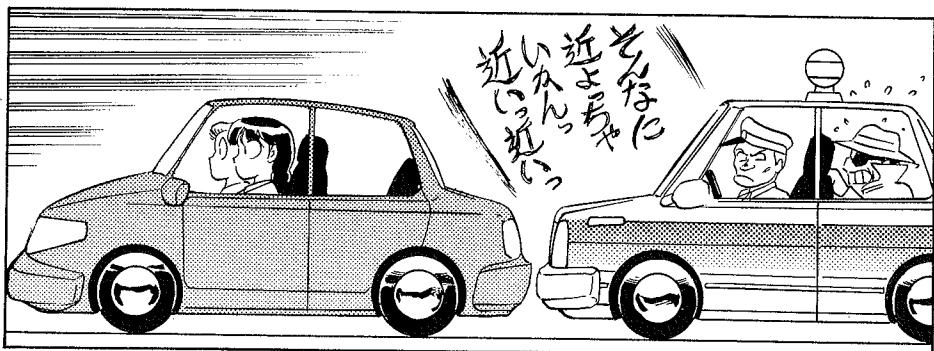
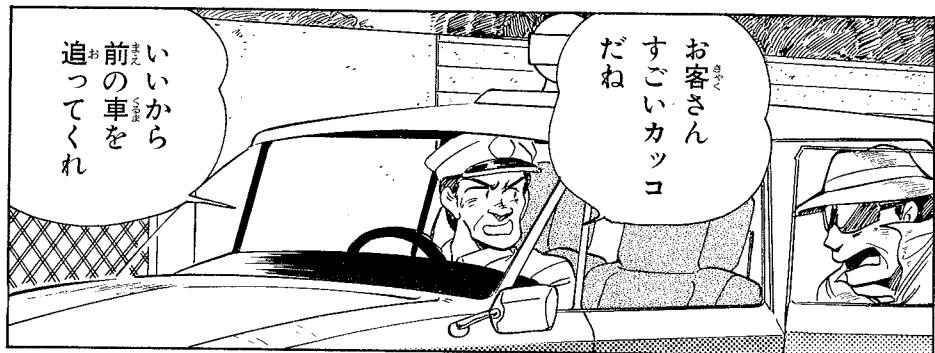
# サービス 統計調査

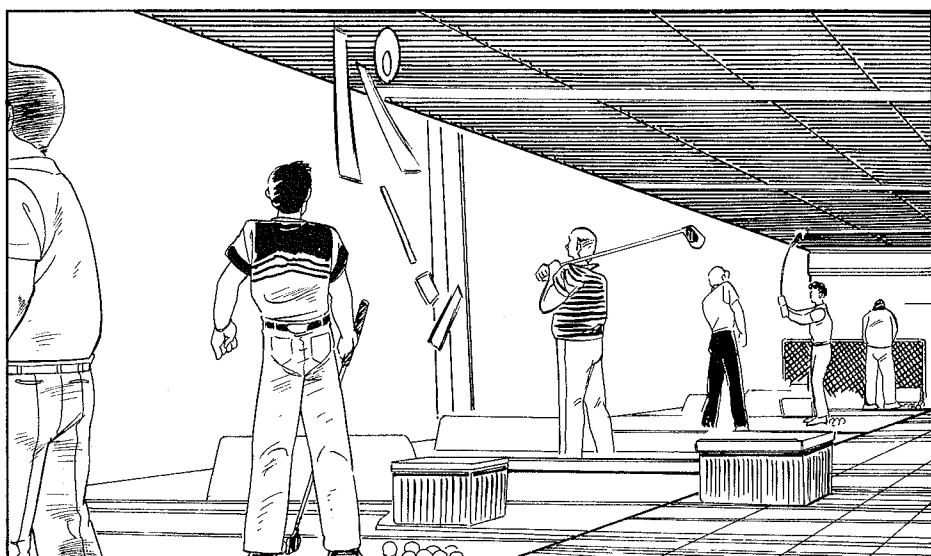
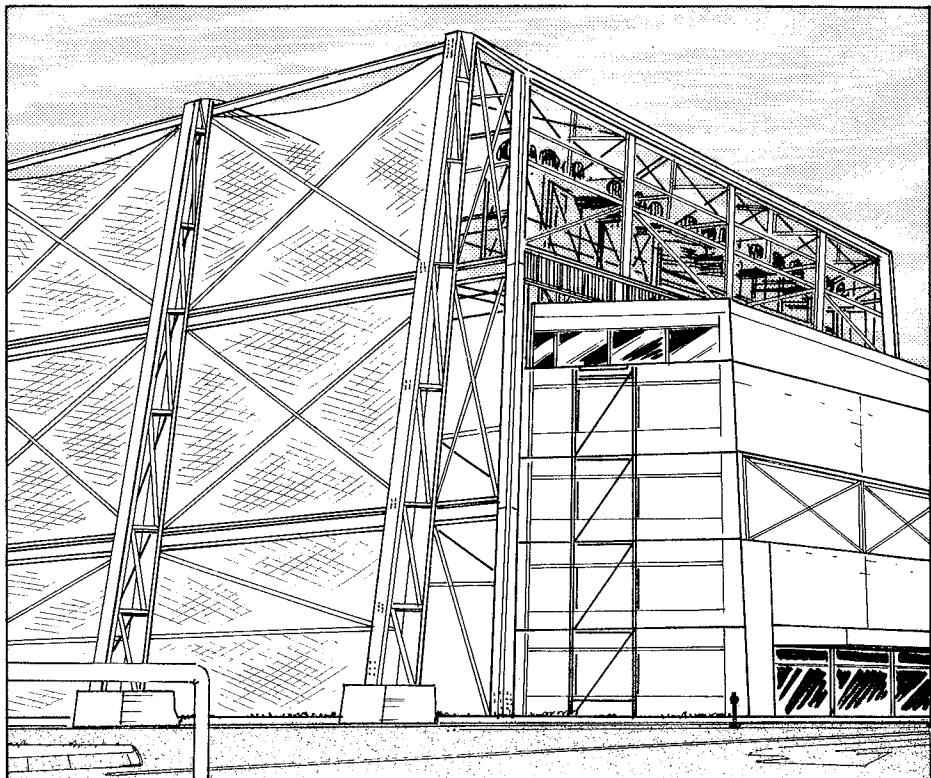
～謎の覆面男～

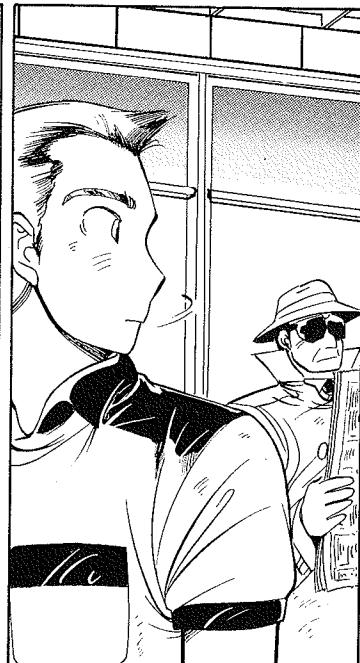
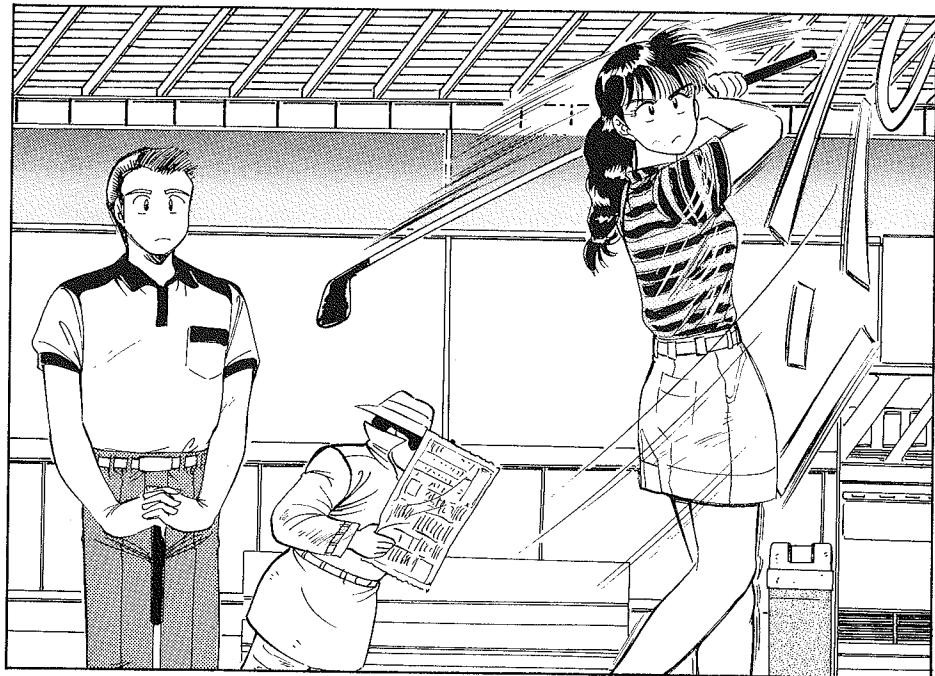


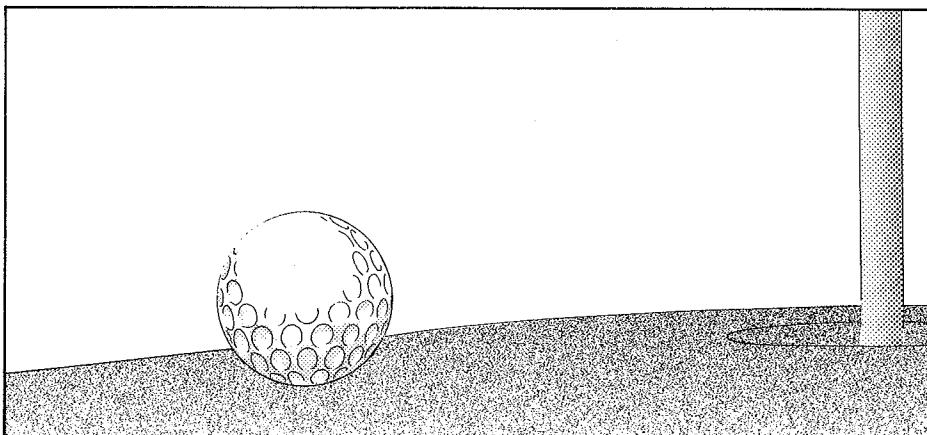


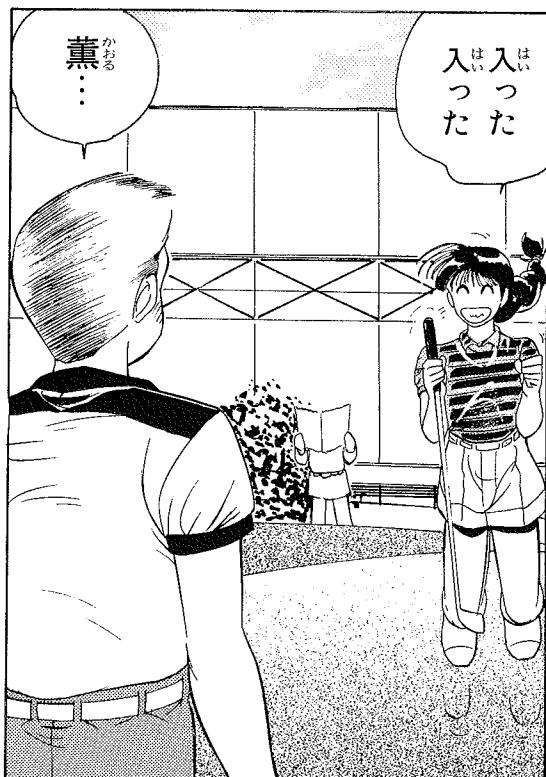


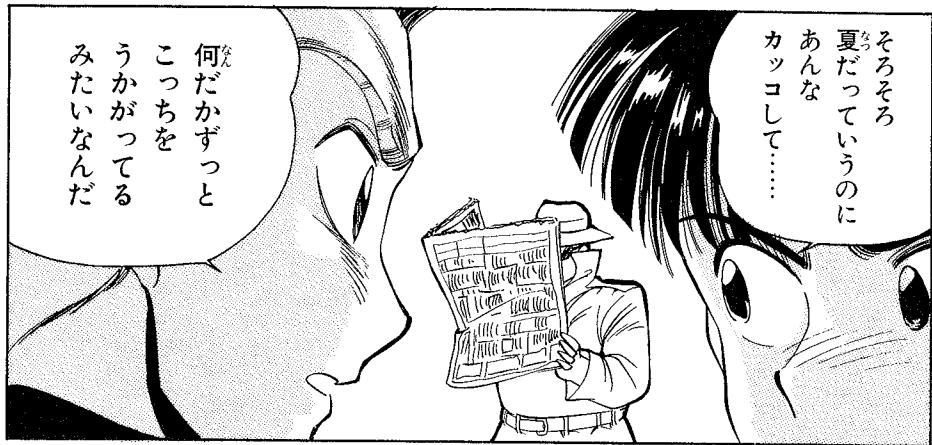
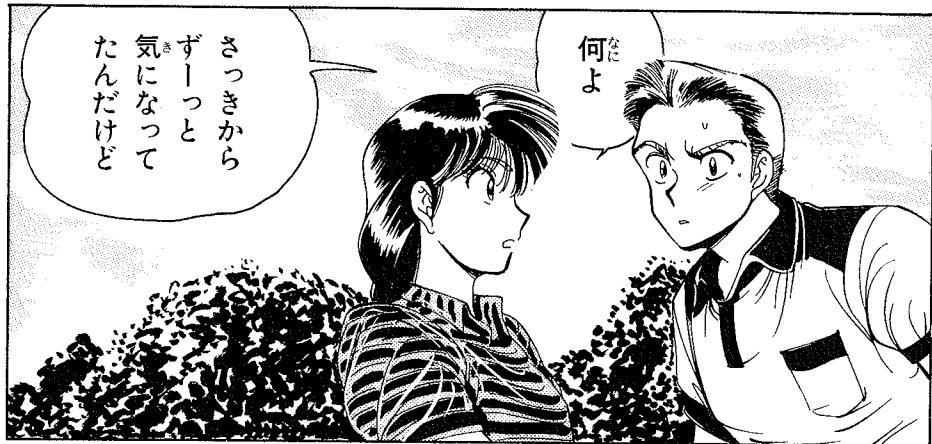


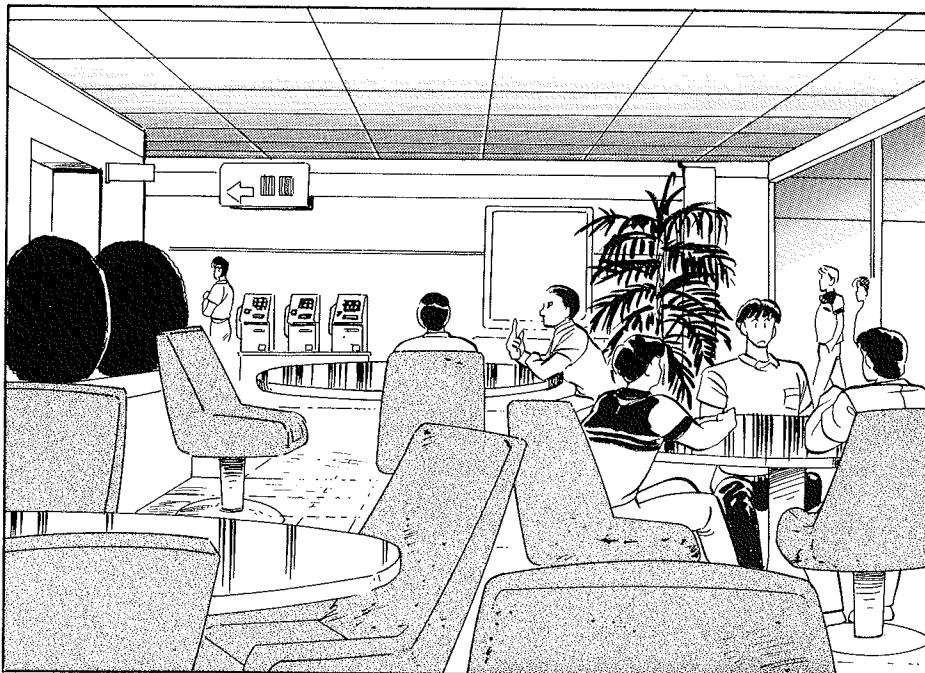






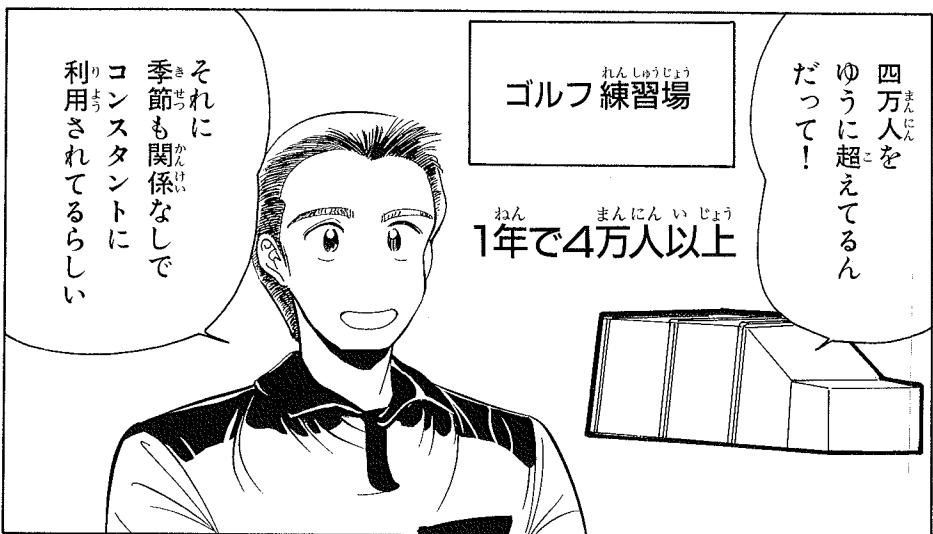
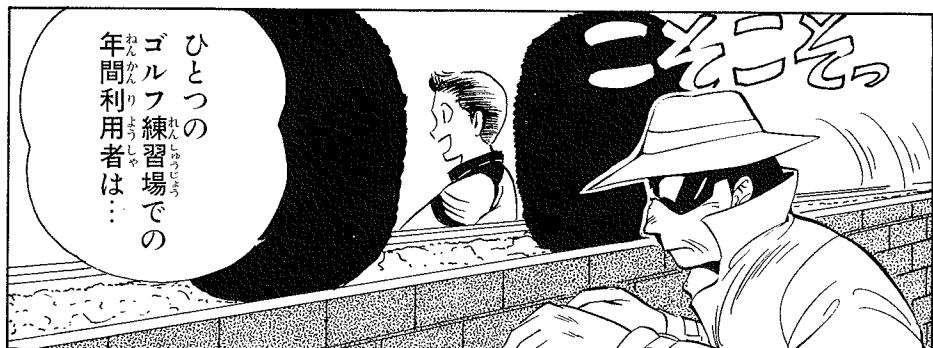
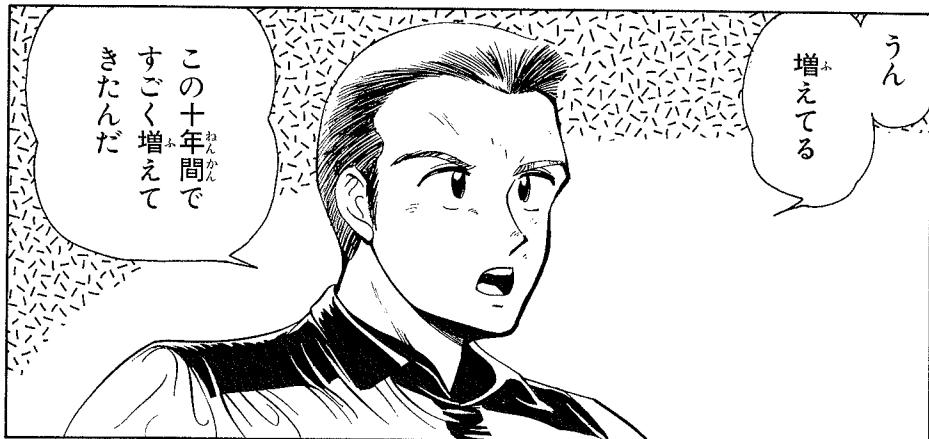


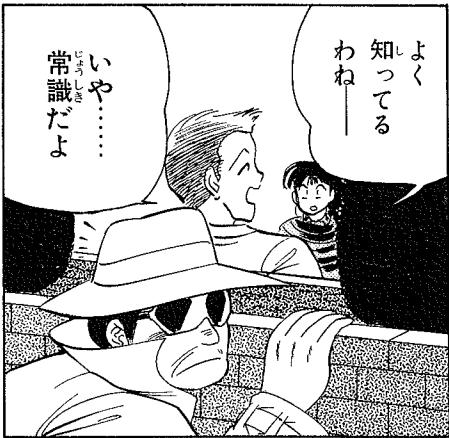


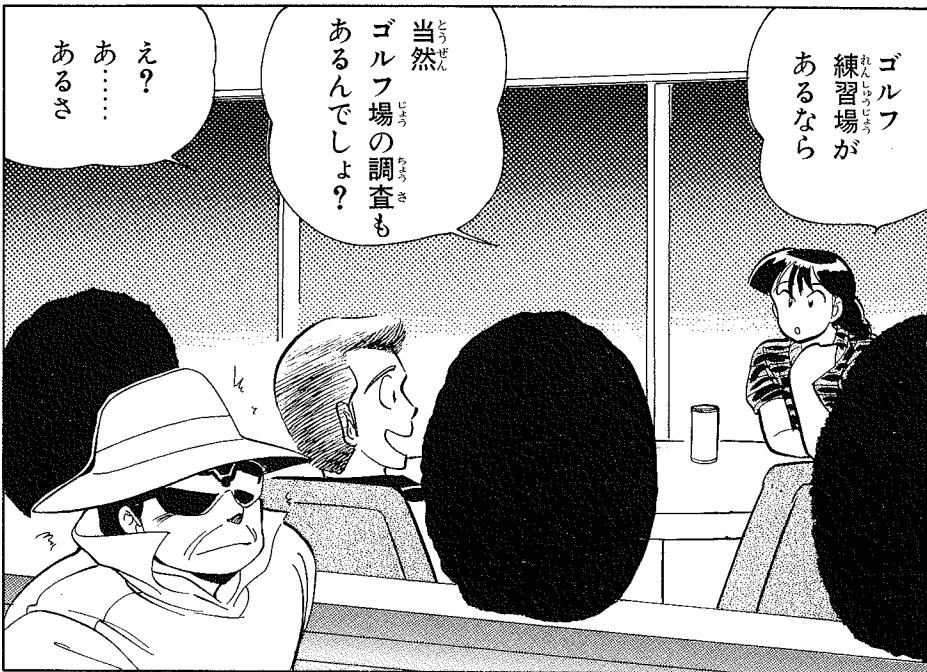


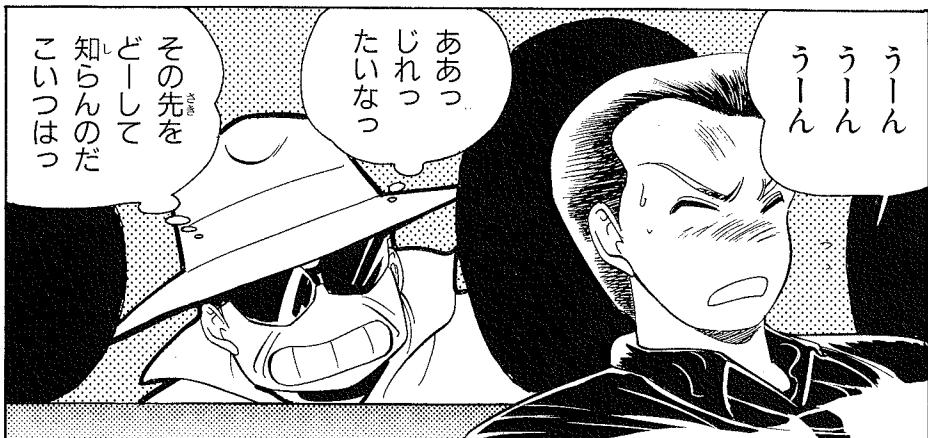
「こういう  
「打ちっ放し」って  
増えてんでしょう？」

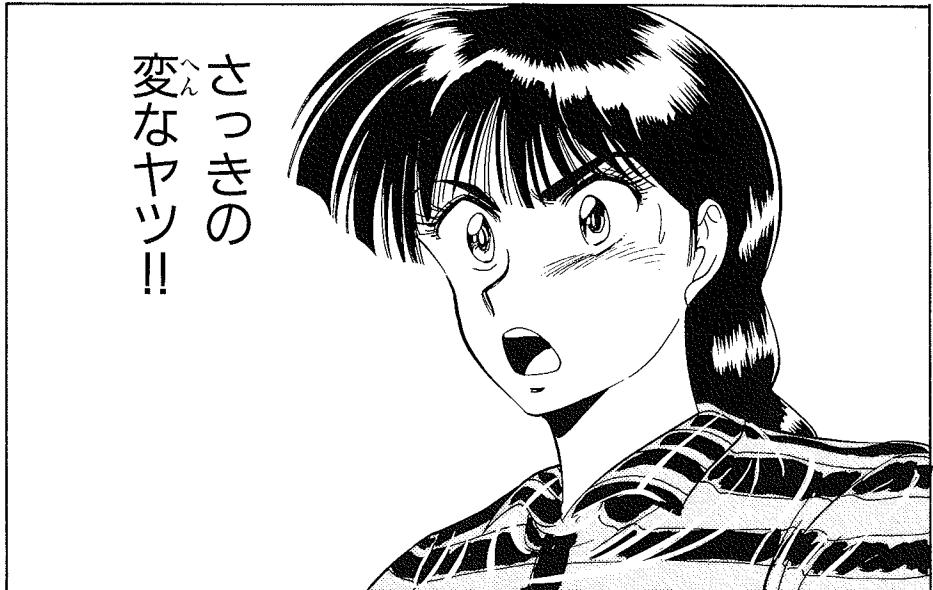


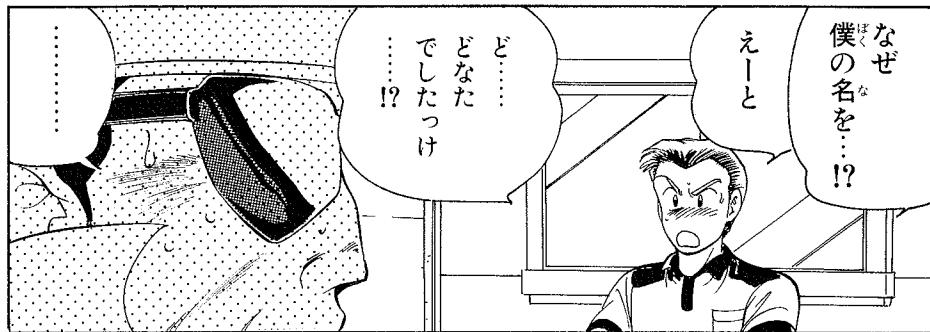
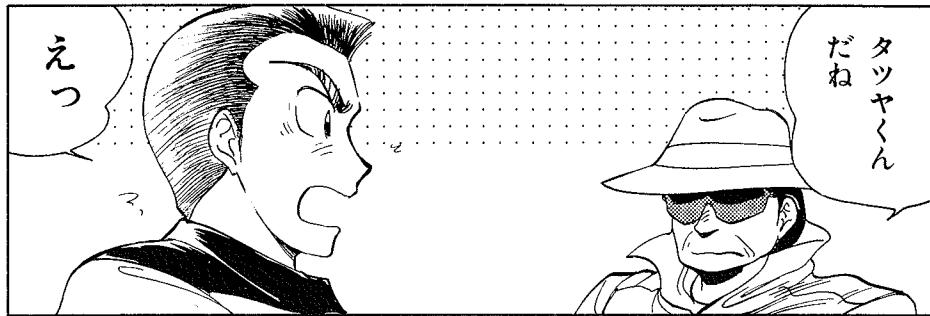


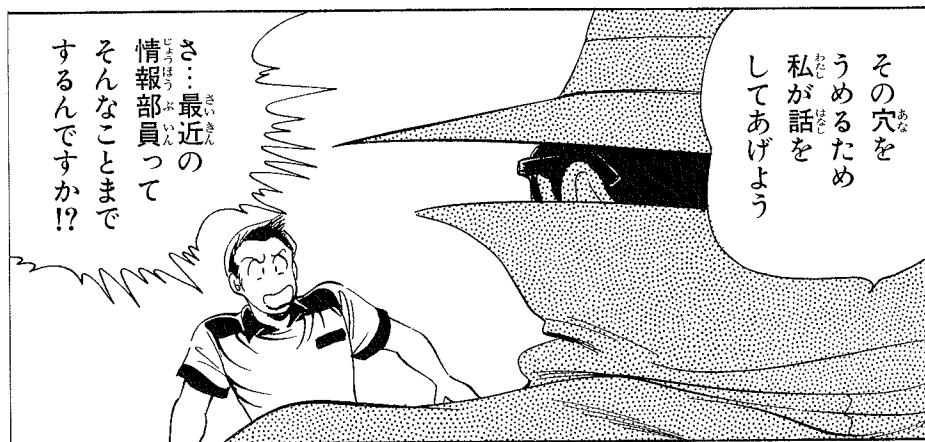












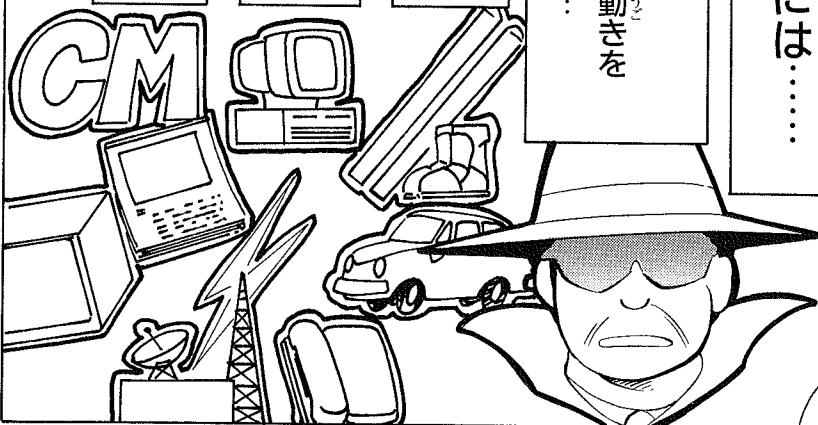
# サービス統計調査には……

短期的な  
サービス業の動きを  
見る目的で……

物品賃貸業

情報サービス業

広告業



—を対象に  
毎月実施される

特定サービス産業  
動態統計調査

約十の業種を  
選択して  
一年に一回  
実施される

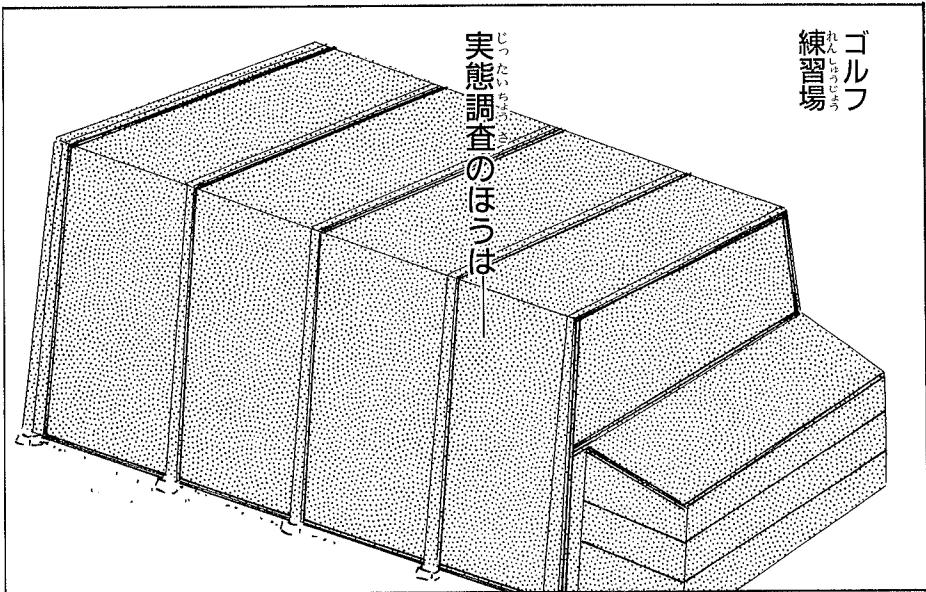
特定サービス産業  
実態調査がある!!

\*この十種に  
上記の物品賃貸業  
情報サービス業  
広告業も含まれる



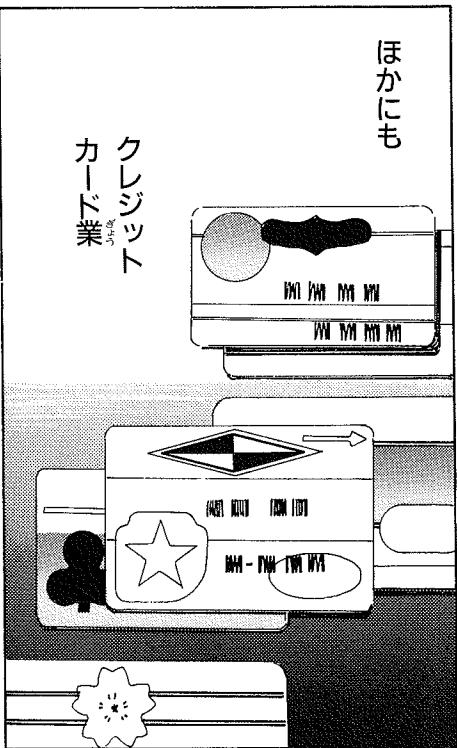
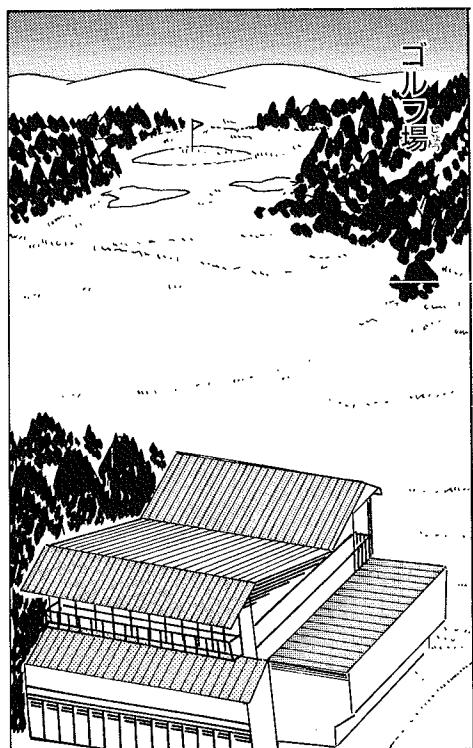
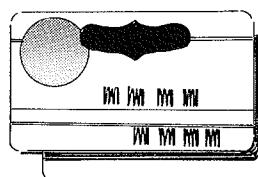
ゴルフ  
練習場

じつたい  
のほつは  
調査

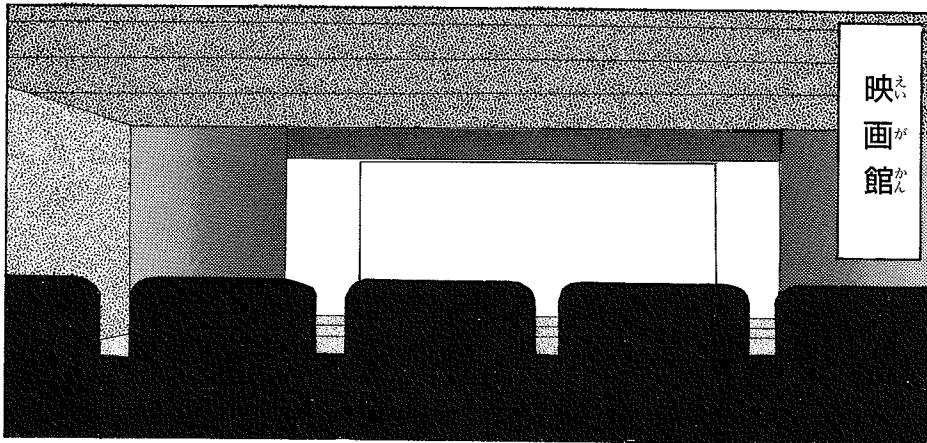


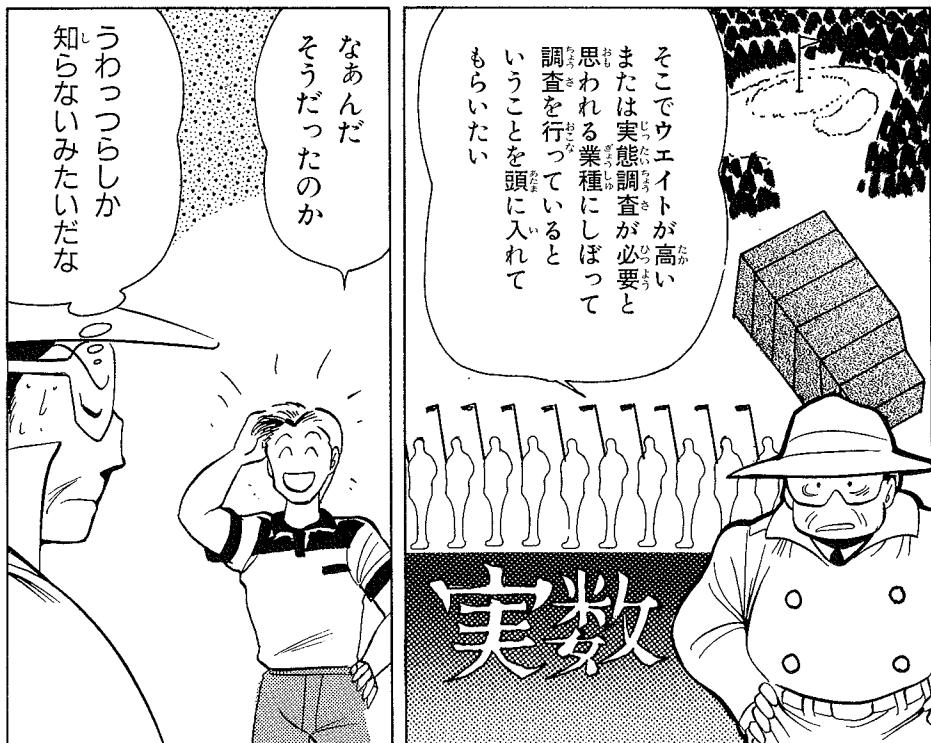
ほかにも

クレジット  
カード業



映  
画  
館

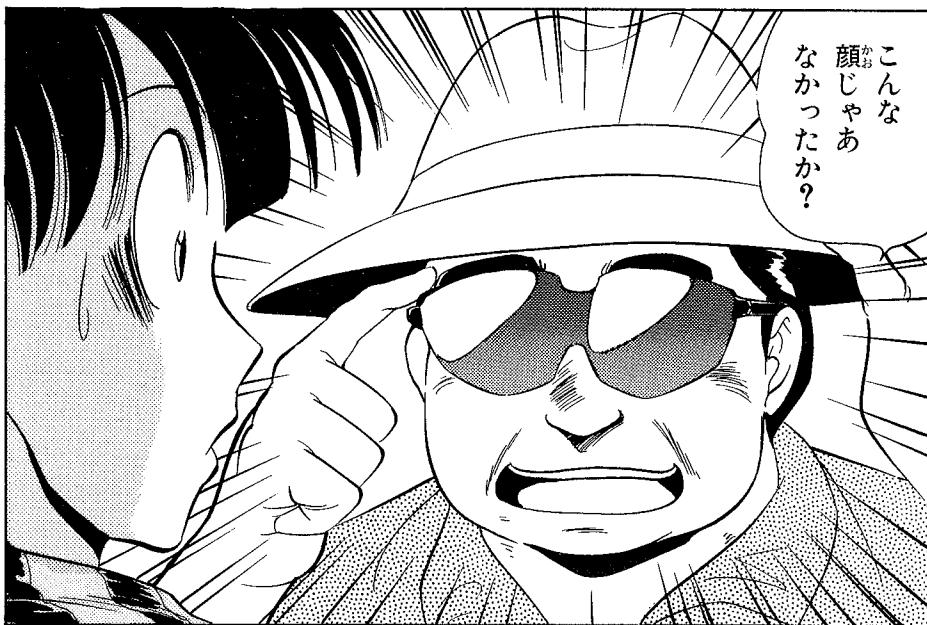












# サービス産業統計

この調査には、特定サービス産業動態調査と特定サービス産業実態調査があります。

動態調査は短期的なサービス業の動きをみる目的で、「物品賃貸業」「情報サービス業」「広告業」を対象に、昭和62年から月次と四半期に区分して、次のような項目を調査しています。



〈月 次〉①企業の名称、所在地及び事業所数

②従業員数

③月間売上高（又は契約高、購入額）

〈四半期〉①業況判断（将来見通し）

②従業者数の充足感

③資金繰りの判断

実態調査は昭和48年より毎年数業種を選択し調査しています。なお平成3年の調査業種は以下のとおり。

①「物品賃貸業」②「情報サービス業」

③「広告業」④「クレジットカード業」

⑤「エンジニアリング業」⑥「ゴルフ場」

⑦「ディスプレイ業」⑧「映画館」

⑨「リゾートクラブ」

ちなみに、ストーリー中の「ゴルフ練習場」は平成2年の調査です。

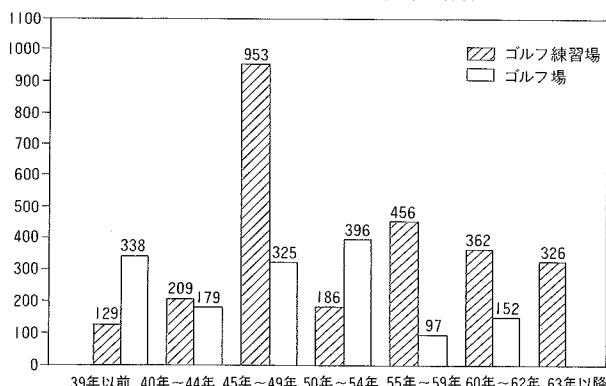


# ゴルフ練習場調査結果の概要

## 1. 事業所数……ゴルフ参加人口の増大を背景にゴルフ練習場数も増加

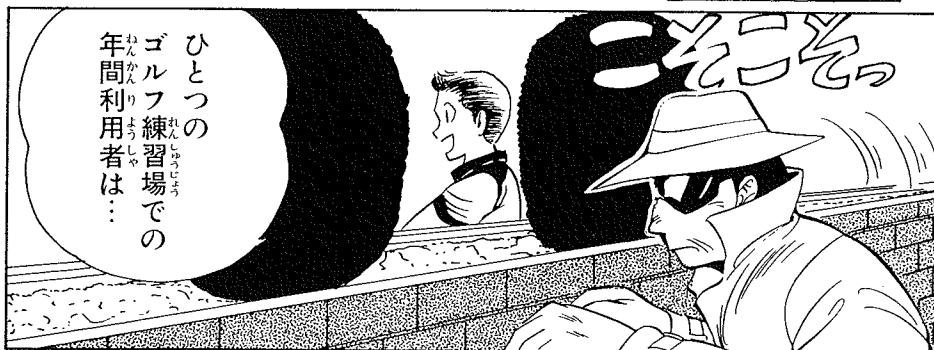
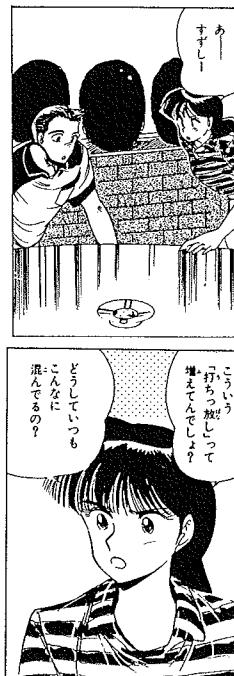
ゴルフ練習場を営む2621事業所の施設の開始年代を5年単位でみると、第2次ゴルフブームを反映して、昭和45～49年に開設した事業所が953事業所（構成比36.4%）と最も多いが、10年単位でみるとここ10年間に開設した事業所が1144事業所と、全体の43.6%と大きな割合を占めており、余暇に対する国民ニーズが増大する中で、ゴルフに参加する人口が増大していることから、ゴルフ練習場数も大幅に増加していることがわかります。ちなみに、この間（昭和45年～昭和63年）に開業したゴルフ場数（昭和63年調査）は970事業所となっており、ゴルフ練習場はこれを大きく上回っています（図1）。

図1 業務開始年代別事業所数



事業所数を経営組織別にみると、全体の80%強が法人経営の事業所です。

今日、余暇時間の増大、健康志向を背景としたレジャーブームにより、若者や女性ゴルファーを中心にゴルフ人口は急速に増大してきていますが、そのゴルフブームを底辺で支えるゴルフ練習場も、着実にその数を増しています。



## 2. 利用者数……国民一人が年間約一回ゴルフ練習場を利用

ゴルフ練習場の延利用者数は1億1745万人でした。これは、概ね国民1人が1年間に約1回利用した計算になります。また、1事業所当たり年間延利用者数は4万5558人となっています。さらに、月別の延利用者数をみると、5月が1160万人と最も多く、次いで10月の1122万人となっており、他方、利用者の最も少ない月は、2月に739万人でした。このことから、ゴルフ練習場は、一部地域を例外として季節に左右されることなく年間を通して比較的コンスタントに利用されていることがうかがわれます（表1）。

また、曜日別の利用状況（1事業所当たり1日平均利用者数）についてみると、土曜日の利用者が227人と最も多く、次いで、日曜日・祝祭日の203人となっており、それぞれ、平日利用者83人の2.7倍、2.4倍の利用者数となっています。

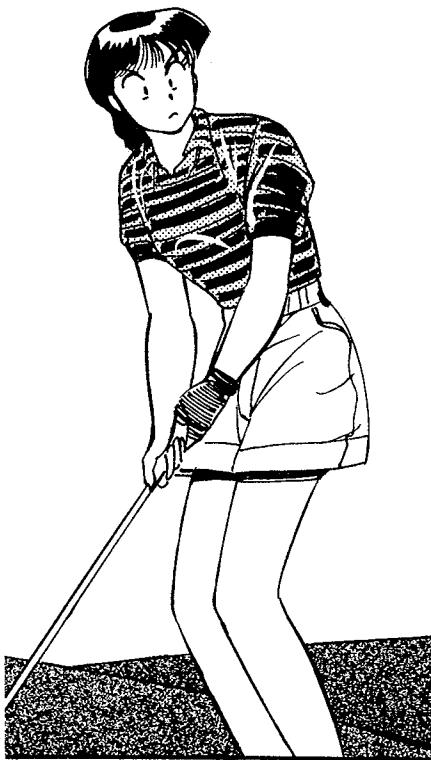
のことからゴルフ練習場は、テニス場、ゴルフ場等の余暇施設提供サービス業と同様、昨今の週休2日制の定着等から週末に利用する傾向が顕著であるといえます（表2）。

表1 月別延利用者数

区分	利用者数(千人)
計	117448
元年	774
2年	8144
1月	7389
2月	9502
3月	10249
4月	11596
5月	10627
6月	10283
7月	9489
8月	10669
9月	11215
10月	10509
11月	
1事業所当たり月平均	3886人

表2 曜日別年間延利用者数

区分	利用者数(千人)	構成比(%)	1事業所当たり一日の利用者数(人)
計	117448	100.0	125
平日	52590	44.8	83
土曜日	28702	24.4	227
日曜・祝祭日	36156	30.8	203
1事業所当たり	45558人	—	—



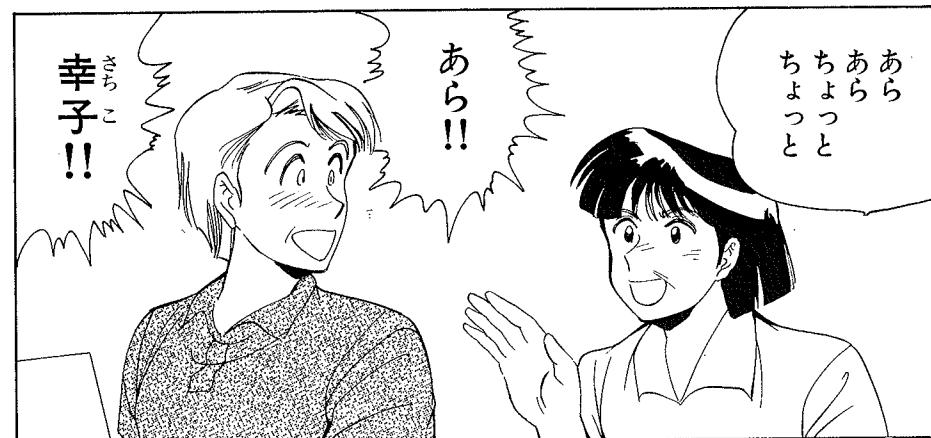
## 第4章

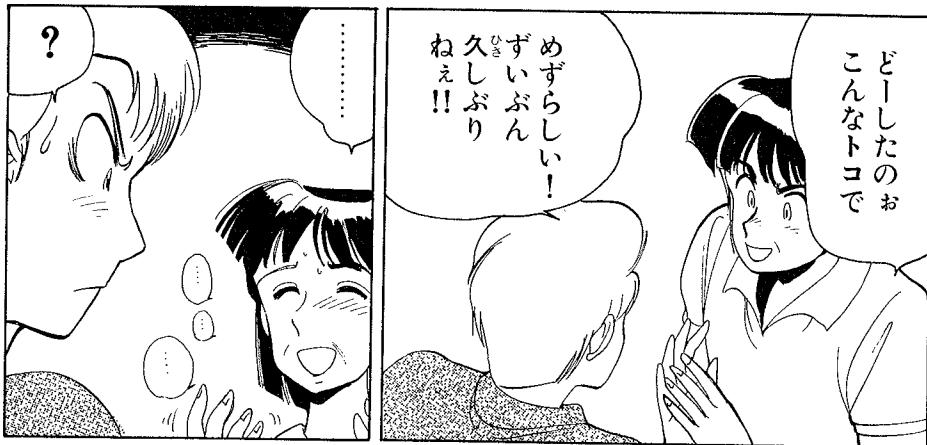
# 統計調査員

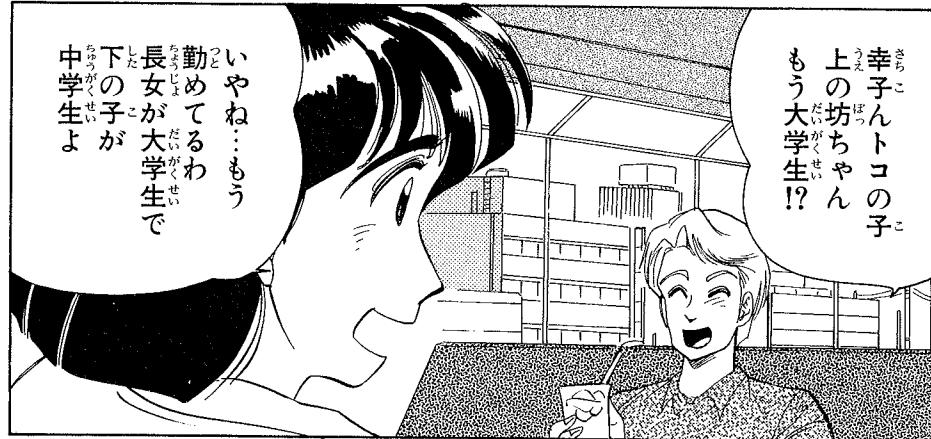
～幸子の就職～











ダンナ確か  
通産省の  
お役人でしょ

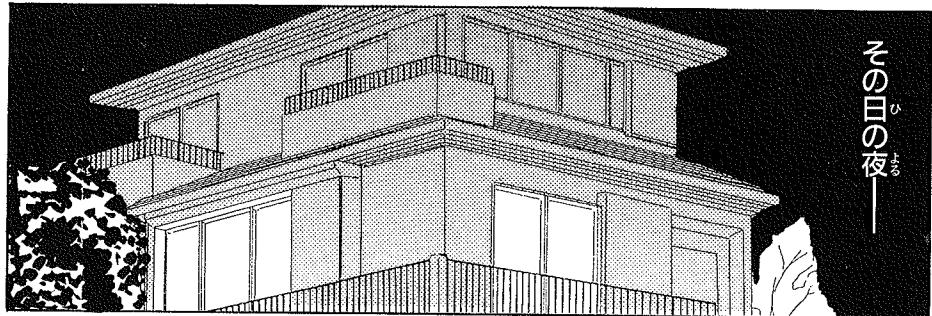
?

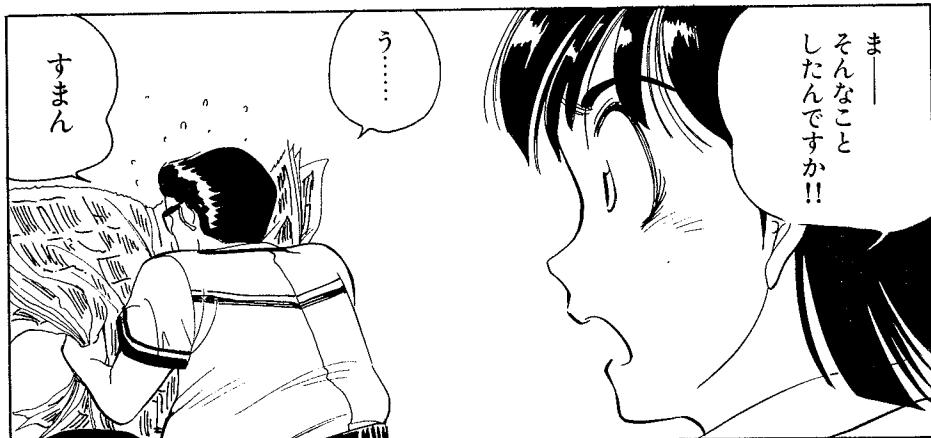
え……ええ

ダンナから  
聞いてるでしょ!?

統計調査(とうけいとうさ)をする  
仕事なのよ!!

その日の夜







# 統計調査員

（地方公務員）

都道府県知事

統計調査員は  
都道府県知事に  
任命される  
地方公務員である

任命



は

統計調査を  
実施する際に  
工場や商店を  
一軒一軒回り  
して  
調査票を配り  
回収するとい  
う  
調査では  
一番大事な仕事を  
しているんだ

統計調査は  
個別の工場や商店を  
一軒一軒回る  
汗の結晶とも  
言えるであろ

（注）統計調査員は国から直接任命される場合があります。また調査票の送付、回収を行ふ場合もあります。



それじやあ調査員の  
仕事について  
説明しよう

まず市区町村が行う  
調査員説明会に出席し  
て  
調査に対する  
説明を受け……

受け取り……  
統計調査票を





**商業動態統計調査**  
指定統計 第64号 商業動態調査票乙  
平成 年 月 分

1. 商店名及び商店所在地

★この調査票は、統計法(昭和二十二年法律第十八号)に基づく指定統計調査で、この対象となる商店には、商業動態統計をすべきものとされ、支店などをもつていてるときは、その支店などを作らなければなりません。

2. 商品販売額  
調査月の商品販売額の合計を記入してください。  
「¥」記号はつけてください。  
19 51

3. 月末従業者数

備考

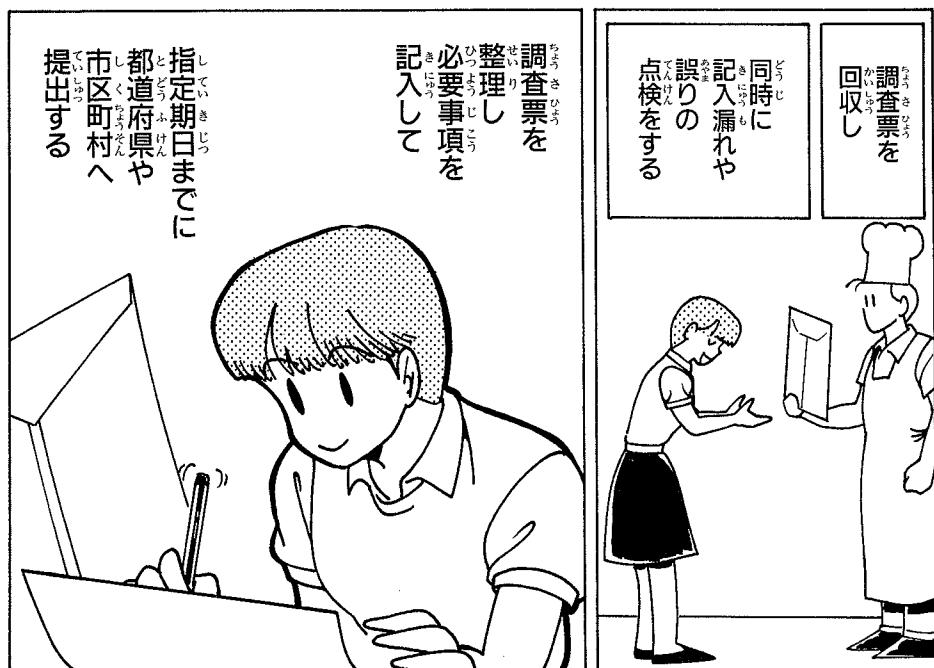
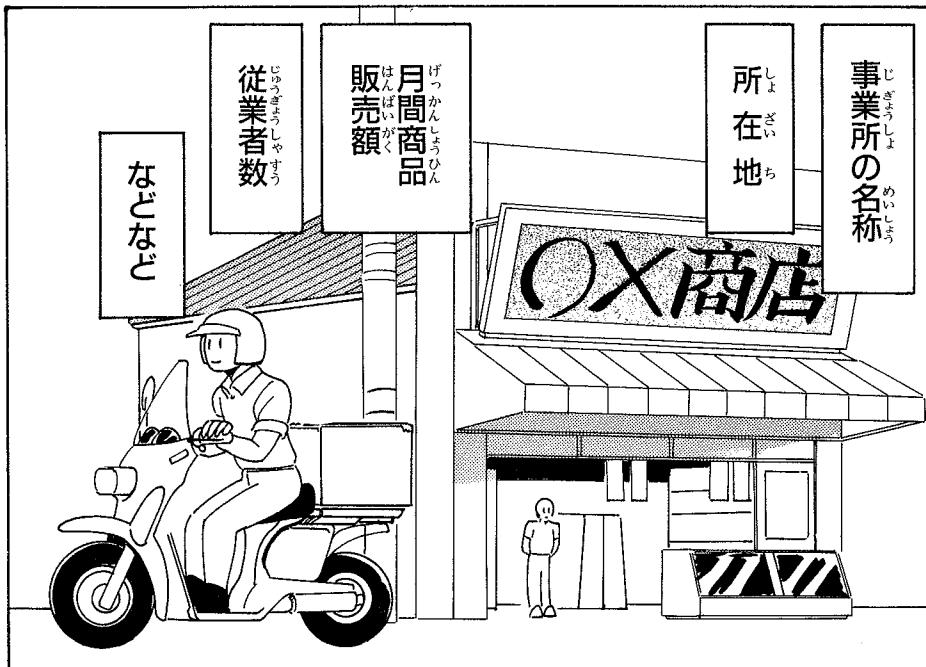
この調査票の内容について照会されたとき答えることのできる人の職名及び氏名

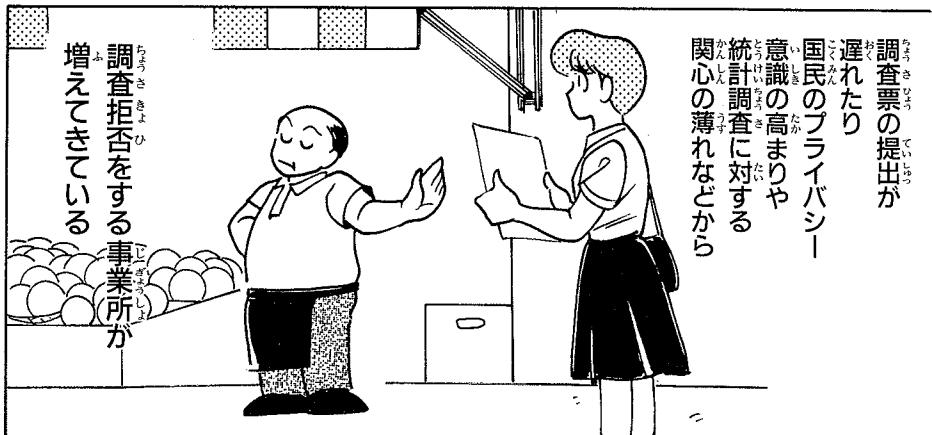
通商

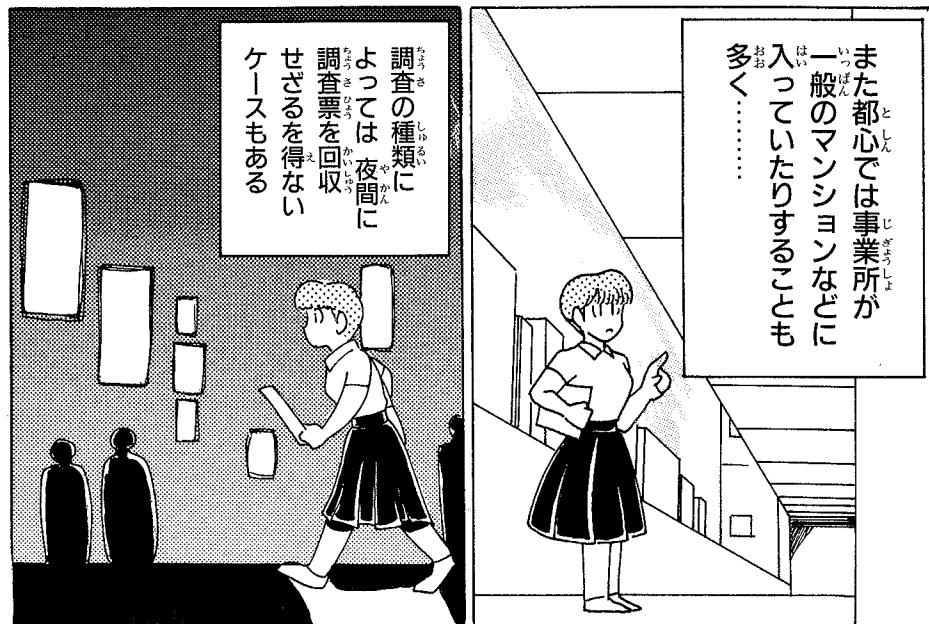
**商業動態統計調査票例**

その記入を依頼する









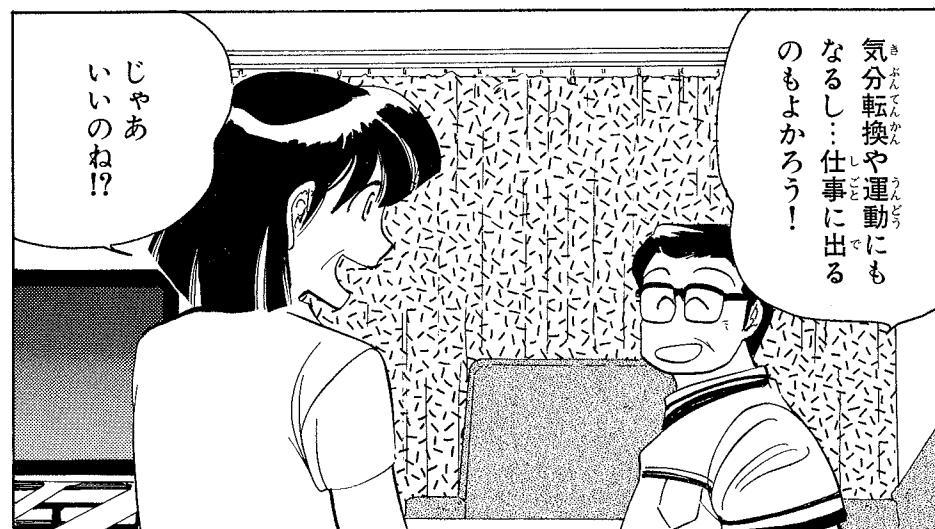
また都心では事業所が  
一般的のマンションなどに  
入つたりすることも  
多く……



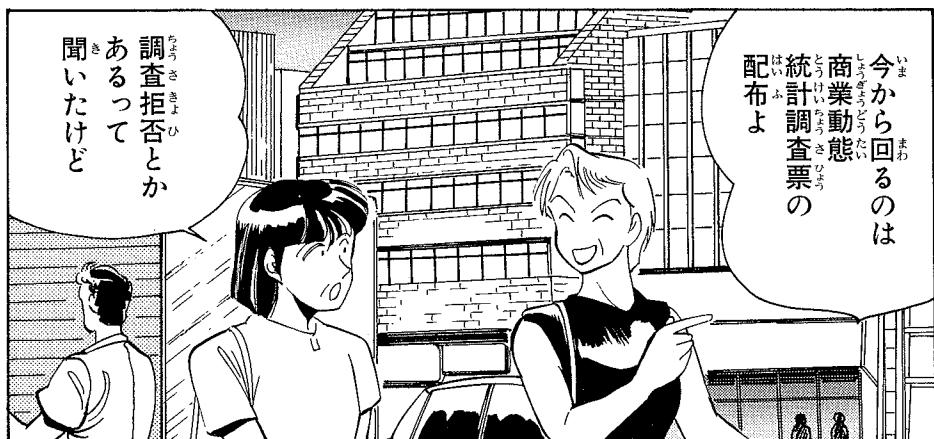
そんなことも  
ままあつて

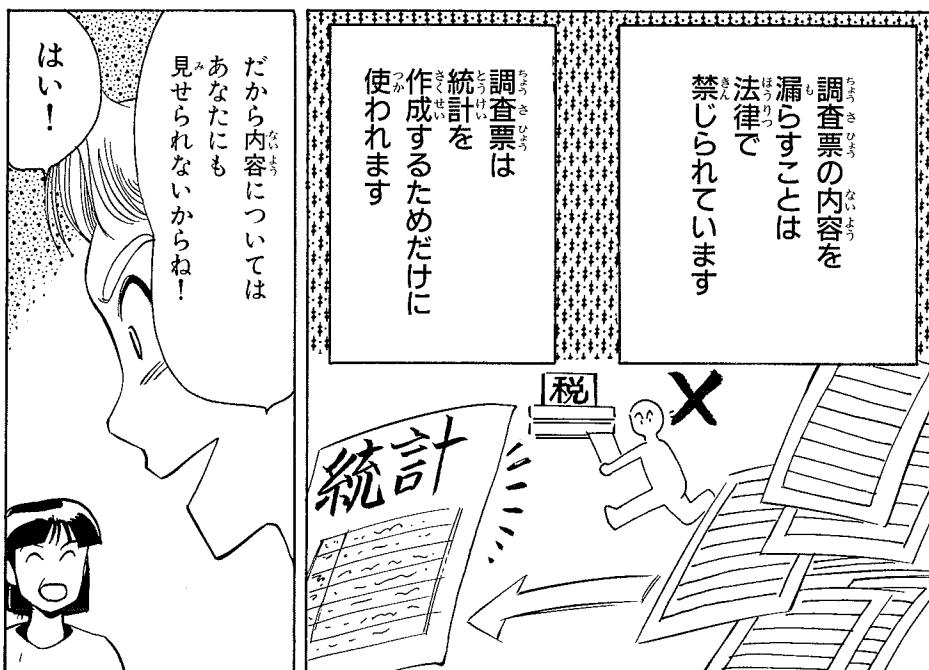


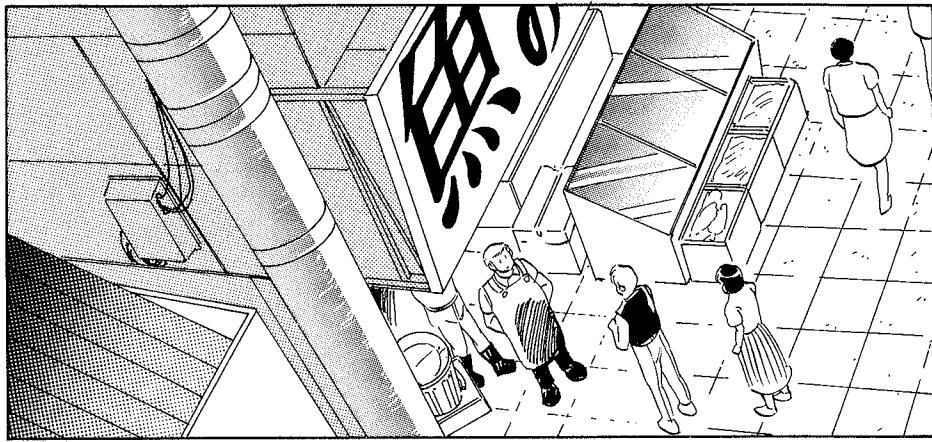


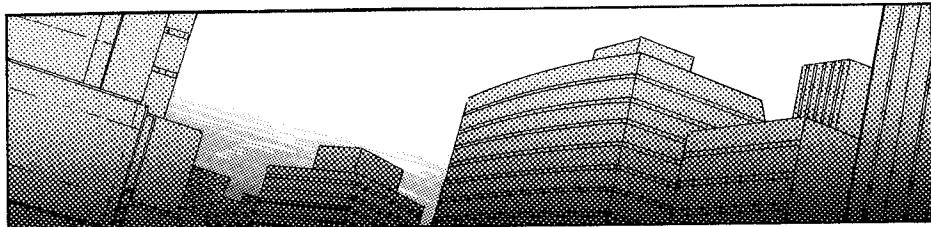


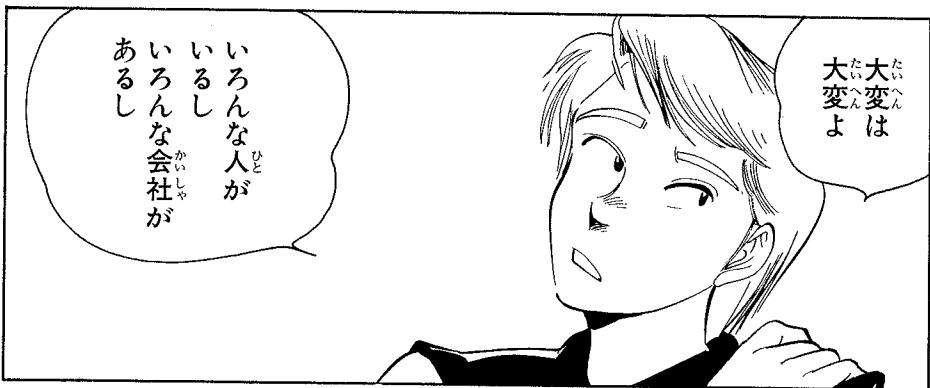












さまざまの統計調査は  
このよつな統計調査員の  
活動があつて  
初めて成り立つものです  
ひとつ簡単に見える  
数字も何千人何万人  
という統計調査員の  
日常活動が  
積み重なつてできる  
大作業の結晶なのです

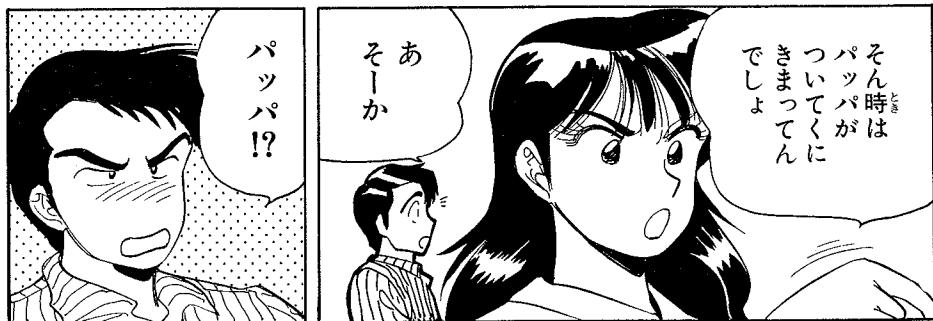
統計調査員は  
統計調査を行う上で  
なくてはならない  
重要な仕事を  
担っています

あしたたちが集めた  
調査結果が  
いろんなところで  
使われてゐるのを見ると

仕事のやりがいを  
感じるし  
やっぱりうれしいよ







# 統計調査員

指定統計調査（国の定める統計調査）では調査を円滑に行うための調査方法として調査員調査（統計調査員が調査票の配布、回収を行う調査方法）を実施しています。

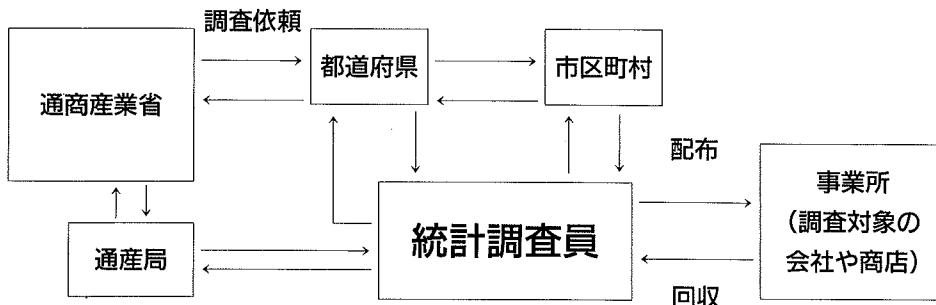
[その他に調査票を郵送で回収する方法（メール調査）もあります]

統計調査員は都道府県知事に任命され、都道府県や市区町村で採用される地方公務員です。

（国が直接任命する場合もあります）

指定統計は統計法において、調査対象である会社や商店に報告を義務づける一方で、調査された内容については秘密を保護されることとなります。従って、統計調査員は調査によって知った秘密については他に漏れることの無いよう仕事を行うこととなっています。

## 統計調査票の流れ



統計調査員は会社や商店からの統計情報を実際に運ぶなど、統計調査を行うに当たっては、なくてはならない重要な仕事を担当します。

これまで本文で触れてきた様々な重要な統計調査は、このような統計調査員の活動があって初めて成り立つものです。一つの簡単に見える数字も、何千人、場合によっては何万人という統計調査員の日常活動が積み重なって出来る大作業の結晶なのです。

では、統計調査員になろうと決めたお母さんがどのような仕事をすることになるのか説明しましょう。



## 統計調査員の仕事の流れ

### ①調査の説明会

- ・都道府県や市区町村より調査の説明があり、統計調査票、統計調査員証（身分証明証）、準備調査名簿【担当する調査区域の事業所（調査対象）の名簿】などが渡される。

### ②準備調査名簿の修正

- ・調査票の配布誤りや配布漏れを防ぐため、調査担当区域を回り、事業所を把握し、準備調査名簿と照合して漏れがあれば修正する。

### ③調査票の配布と記入依頼

- ・調査票を配り、調査の趣旨を説明し、記入を依頼する。

### ④調査票の回収と点検

- ・回収する時に記入漏れや記入誤りが無いかを点検する。

### ⑤事業所番号の記入

- ・今回の調査用に各会社に割り当てた番号を記入する。

### ⑥調査票の提出

- ・集まった調査票を整理し、指定された期日までに準備調査名簿と共に都道府県や市区町村へ提出する。



## 近年の統計調査員を巡る状況

最近では調査票の提出が遅れたり、調査を拒否されたりするなど調査する環境が悪化しつつあります。また、雨の日や雪の日、夜間にも調査するといった場合には、安全対策が重要となっています。

このような状況から、統計調査員となって頑張りつつあります。今後どのように統計調査員を確保していくかが大きな課題となっています。

今、熱意のある統計調査員がとても必要になっています。

詳しく知りたい方は

通商産業大臣官房調査統計部管理課 TEL 03- 3501- 1511 (内線2372)

〒100 東京都千代田区霞が関1-3-1

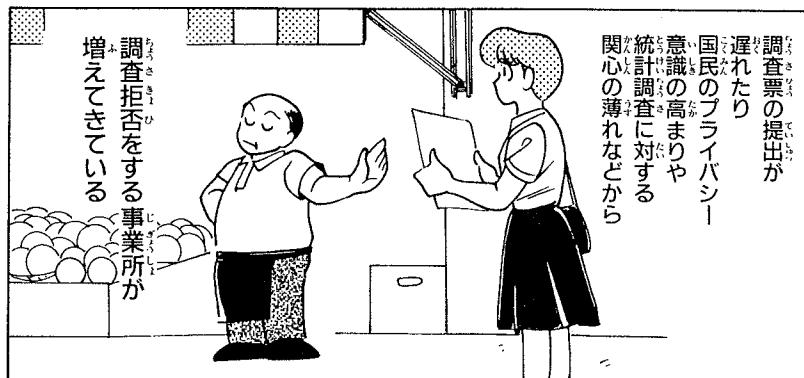
まで御連絡下さい。

### ア. 責任をもって調査の事務を遂行できる方

イ. 秘密の保護に関し、信頼のおける方

ウ. 税務・警察等に直接関係無い方

エ. 選挙に直接関係無い方



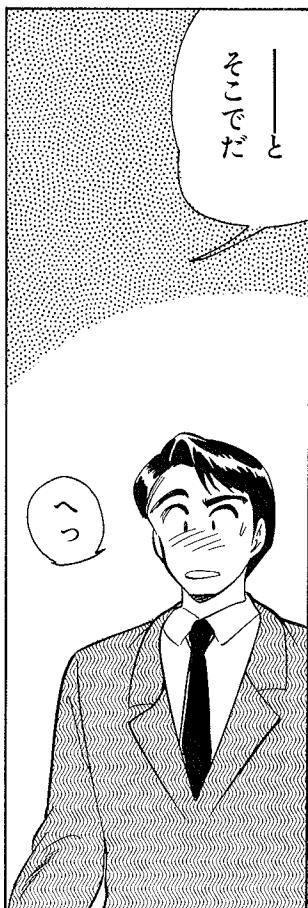
## 第5章

# 産業連関表

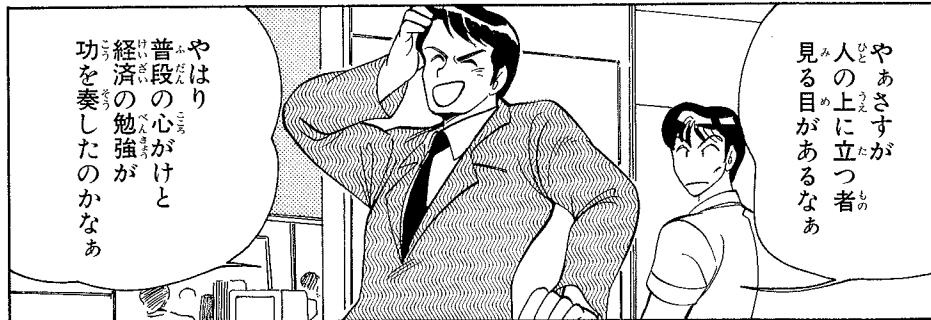
～隆の経営診断～

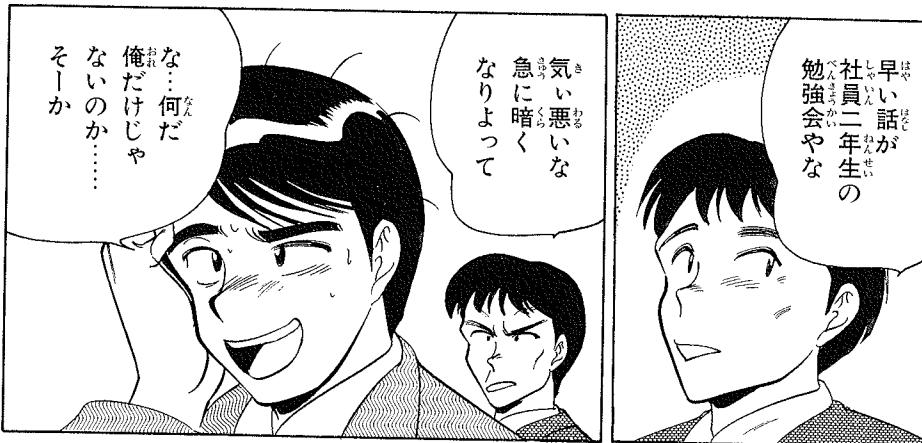




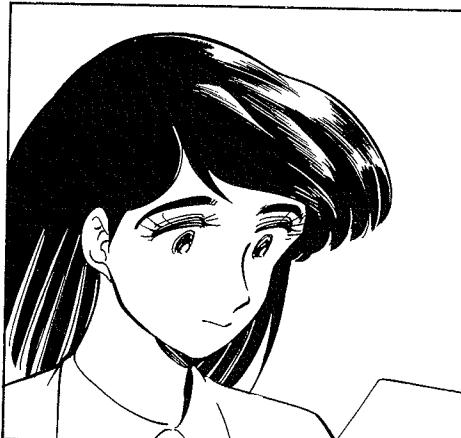
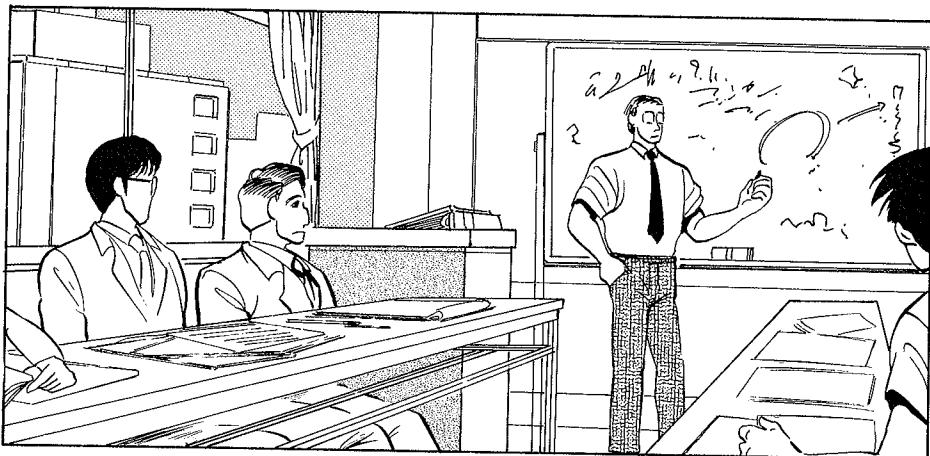


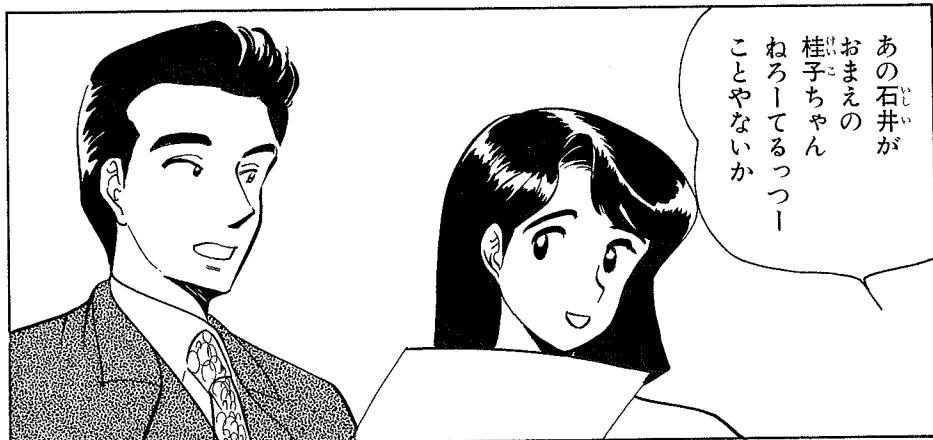
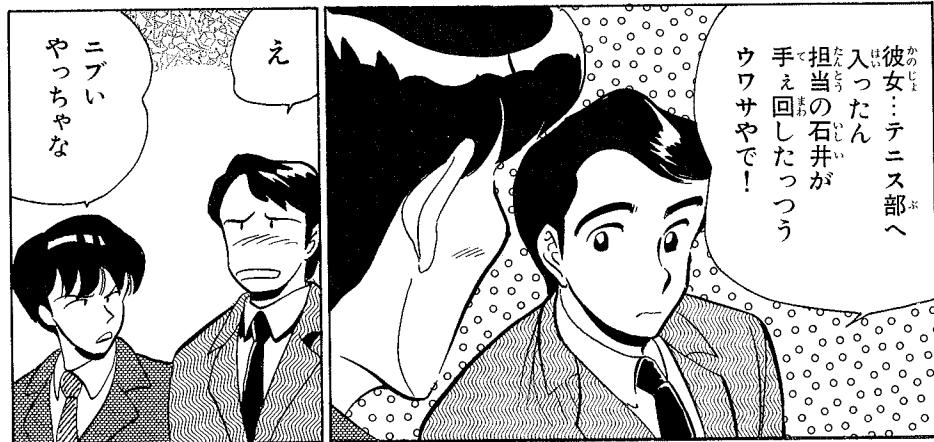


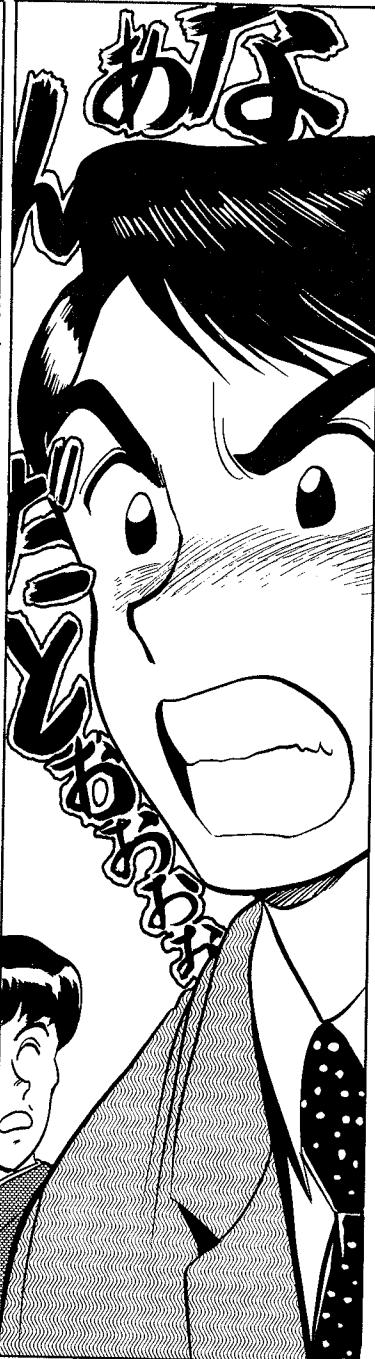




はや  
社員二年生の  
勉強会やな

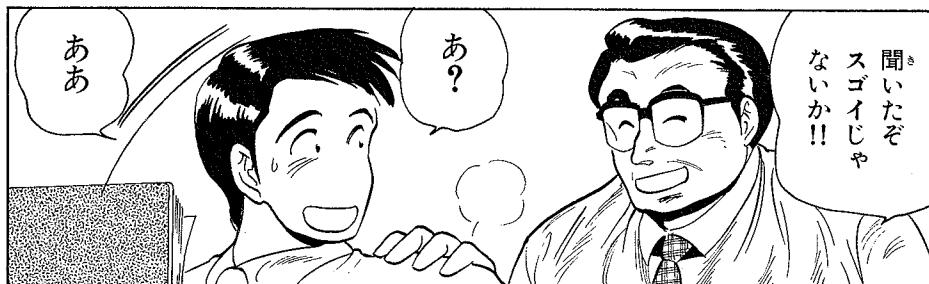
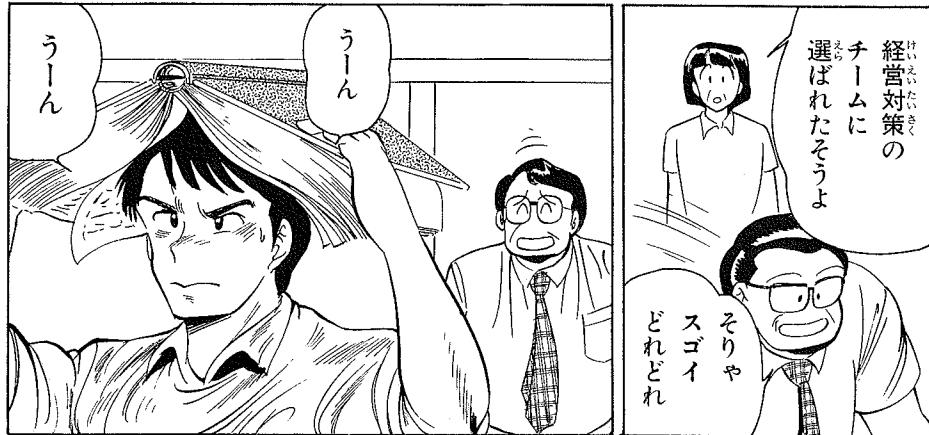


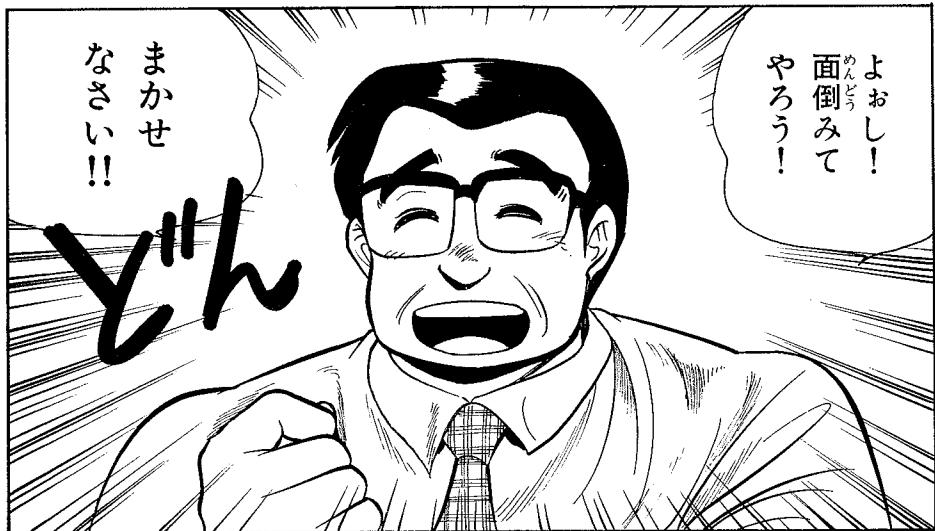
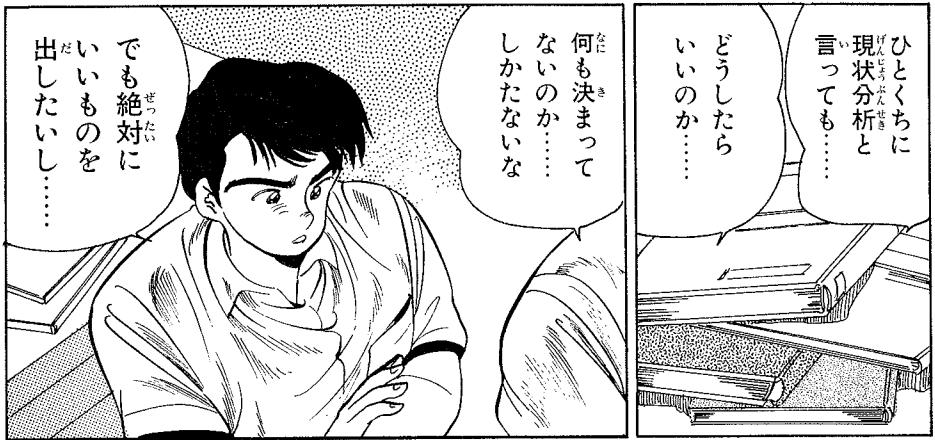












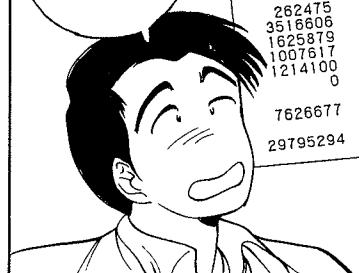
# Input-Output table (I-O表)

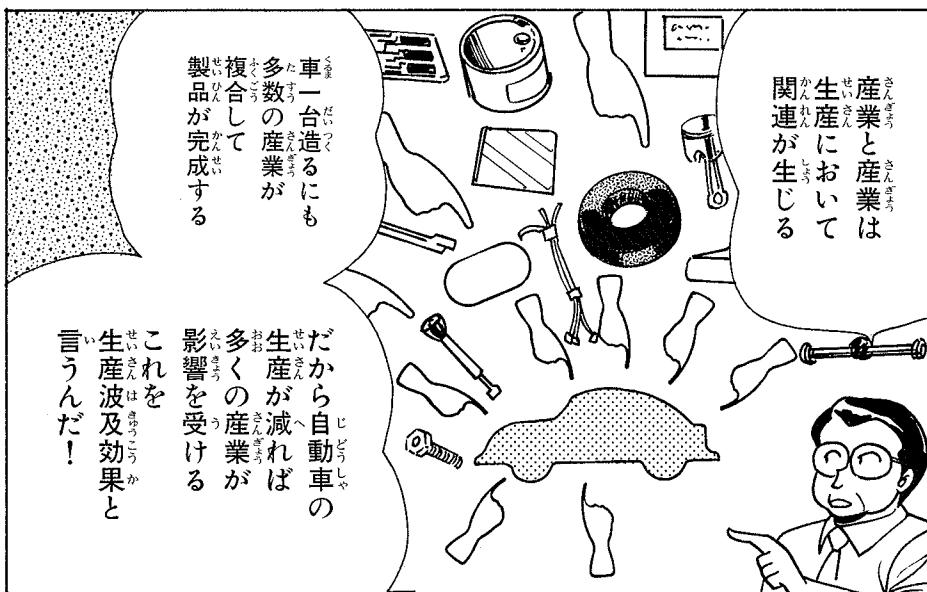
生産者価格評価表

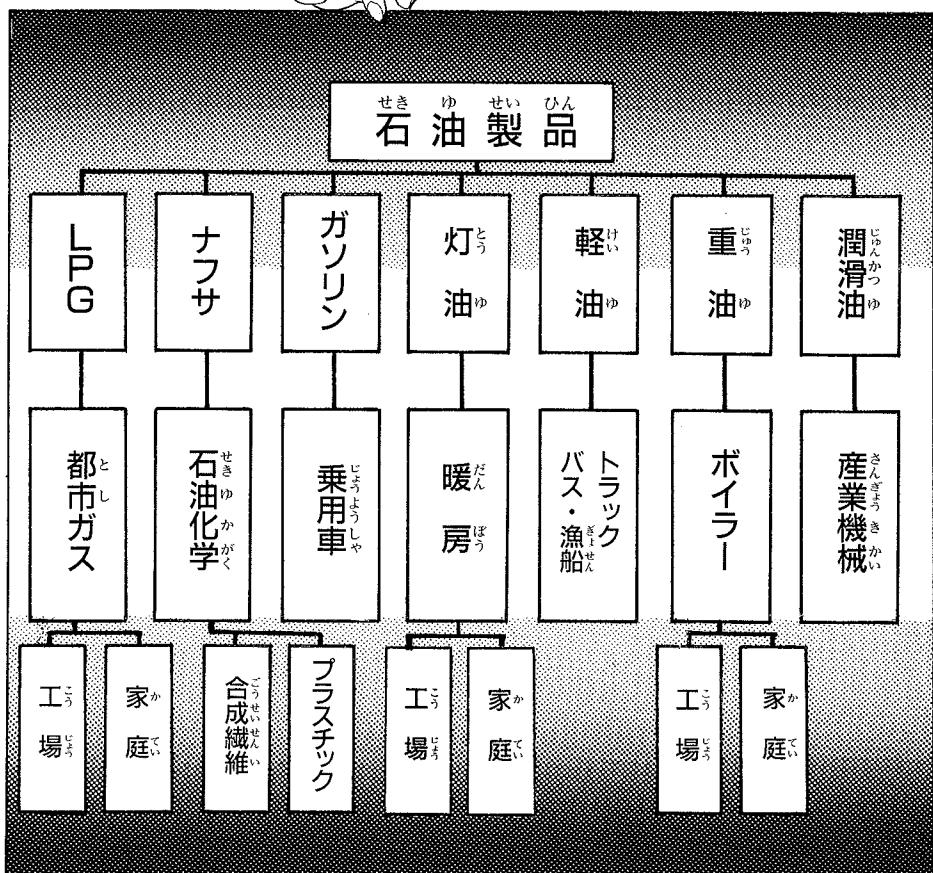
部門名	自動車	他の輸送機械	精密機械	その他の製品
農林漁牧	0	306	0	8636
石炭・原油・天然ガス	0	0	0	4073
食料品	0	0	0	65188
織物品・家用品	335	112	0	7463
パルプ・紙・紙加工品	45182	12121	5161	7
出版	16222	22223	3234	213885
化学会社	14587	2794	22704	166472
鉱業	19141	8399	11501	16184
非金屬鉱物	295730	79356	34919	109700
石油・ガス	63573	13753	6175	88965
ゴム	743773	41306	129121	22497
土石	617186	60848	13070	438250
非金属	183527	16634	52593	55241
金屬	1153900	363248	56041	30642
機械	587940	64690	118944	264790
工具	261594	96149	60406	406900
金型	310581	114614	32722	626515
電気機器	0	0	0	2482910
電子機器	158565	13730	0	71833
通信機器	105452	20496	111111	554191
電線	20751	38474	25257	264019
電動機器	131187	55719	39448	333767
電力	12377070	64299	0	2345151
機械	0	875795	0	55
機械	11151	1026	559680	32
機械	16112	2130	66499	63
機械	56744	15976	4303	65
機械	0	0	0	66
機械	305904	49874	29065	67
電力・ガス・熱供給	41818	11782	9570	144
水道	998669	138398	123587	152573
電線	349751	208292	129976	11657
電線	36282	25722	26943	56874
電線	0	65569	67941	0
電線	453437	10170	20984	13617
電線	18535	0	0	72290
電線	0	43913	64435	11175
電線	652286	0	0	4687
電線	30859	6291	12614	20
電線	603054	39399	78376	21
電線	197023	9702	12084	10
電線	0	0	0	53
電線	21802	6829	7171	340
電線	88194	37128	25158	32295
電線	22168617	2638177	1960779	163841
電線	262475	77186	63685	109151
電線	3516606	1148436	971067	4701
電線	1625879	230021	370756	25
電線	1007617	194356	167951	0
電線	1214100	64509	81281	0
電線	0	-1092	0	0
電線	7626677	1713416	0	0
電線	29795294	4351593	0	0

これだ!!  
とも言う!!  
I-O表

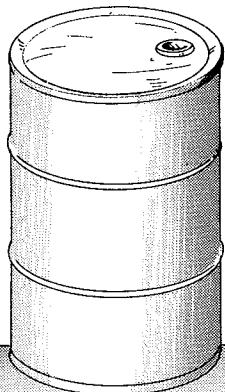
いわ  
つづ  
ばすう  
いじ  
字じ  
!!が





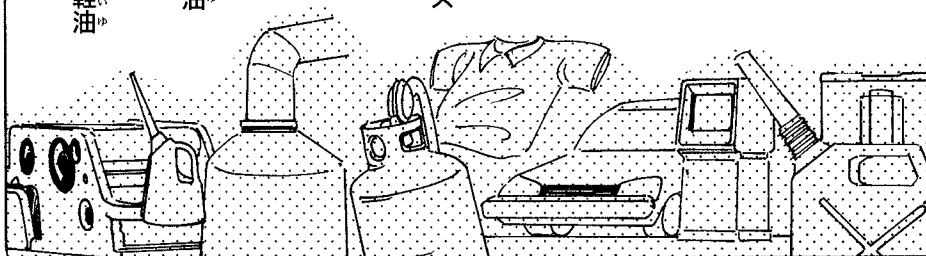


エネルギー源である  
不可欠な  
使われており  
幅広く  
工場・家庭で



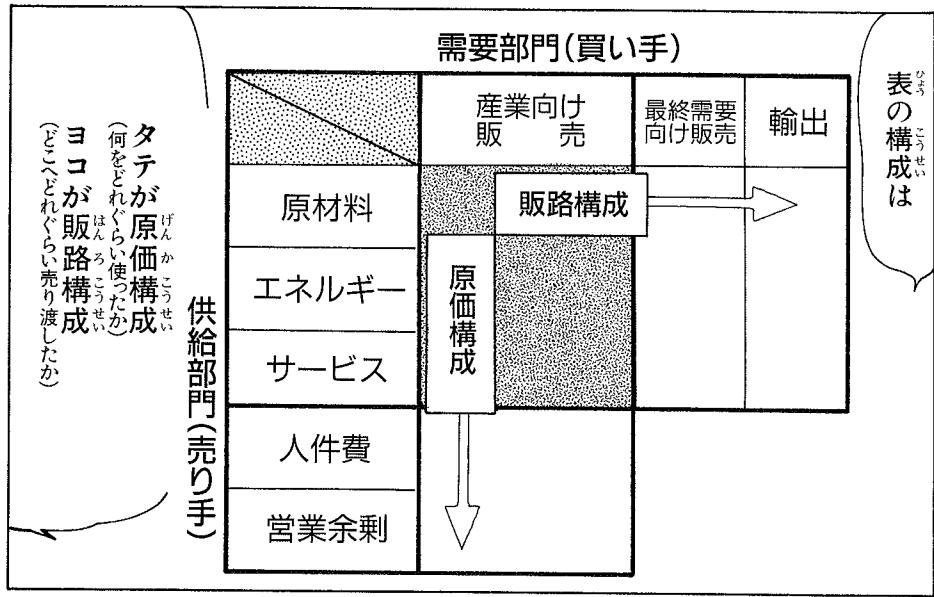
ガソリンや灯油はもつりん  
特に石油製品を  
原料とする  
都市ガスなども

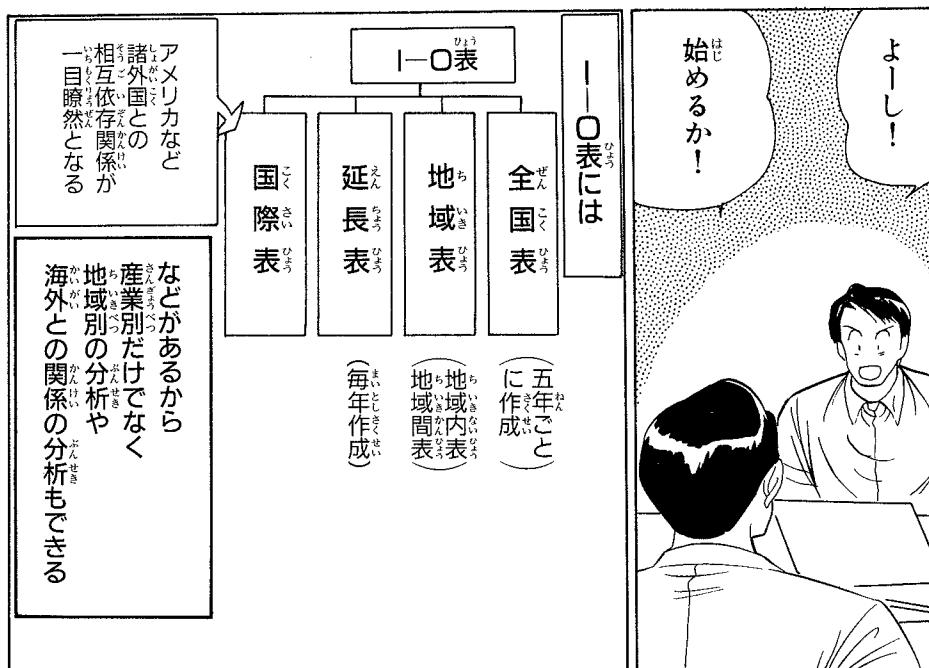
暖房は灯油  
マイカーは  
ガソリン  
衣類は  
化繊維  
プロパンガス  
台所に  
ボイラーは  
重油  
機械に潤滑油  
トフックに軽油

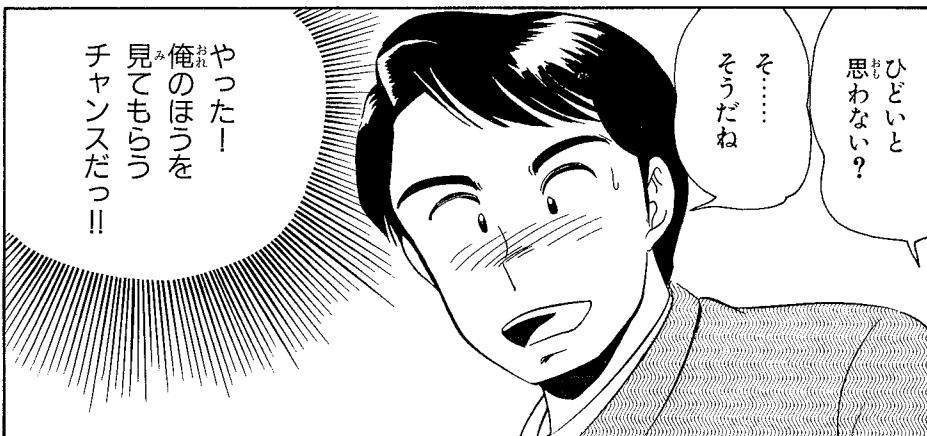
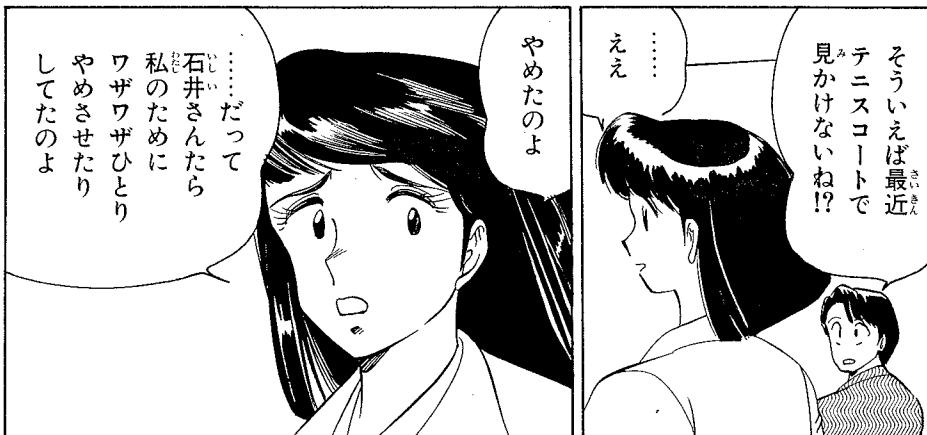


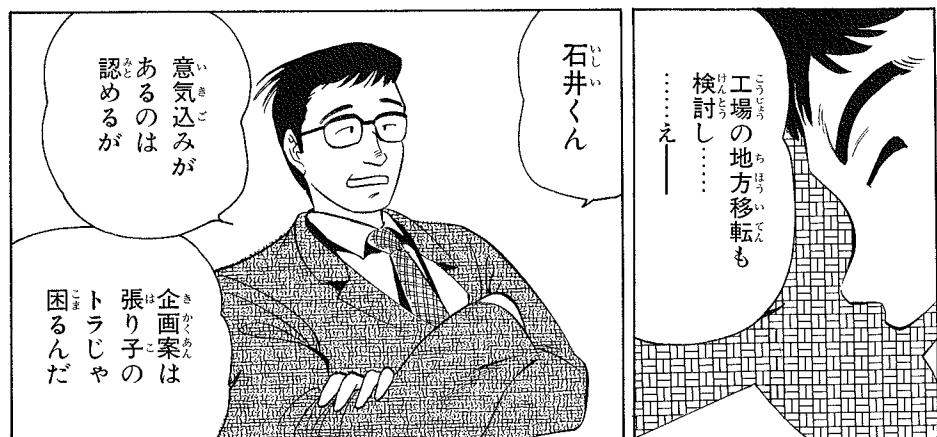
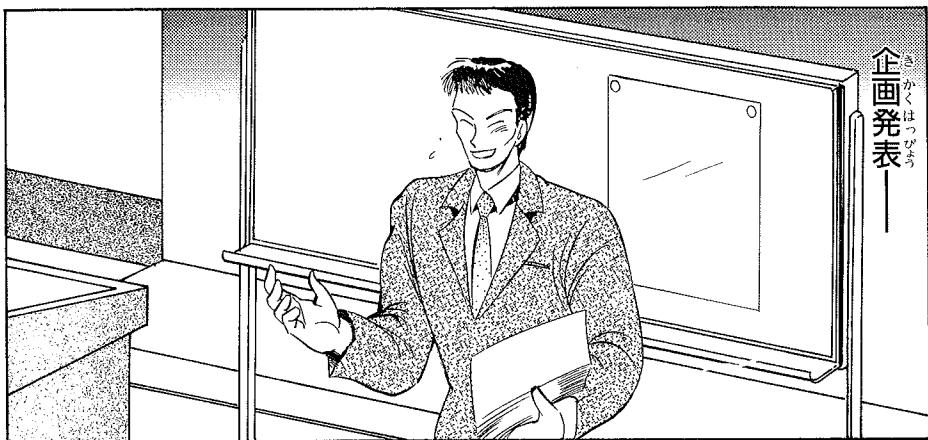
だからもし  
原油価格が  
値上がりしたら  
販売価格が  
上がった場合  
輸送費  
消費を通じて  
かかる  
だら  
にたくさんの  
非常に  
影響が出る  
製品の価格に  
これが  
いう  
価格波及効果と  
いう

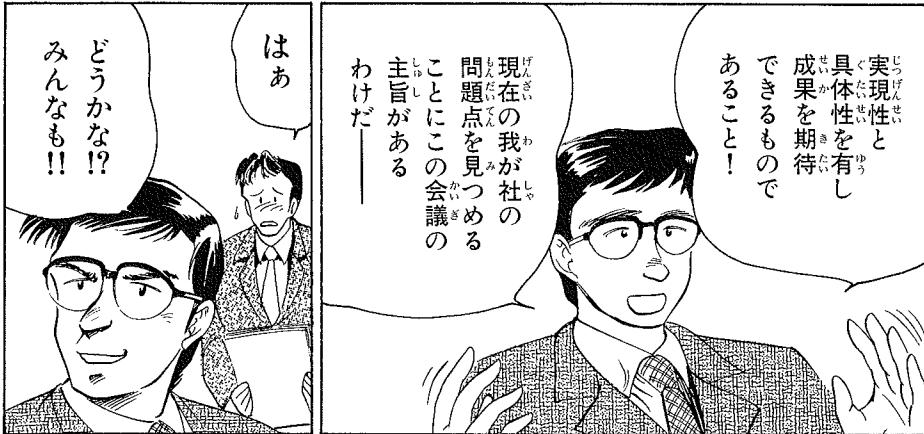
原油価格  
価格波及効果

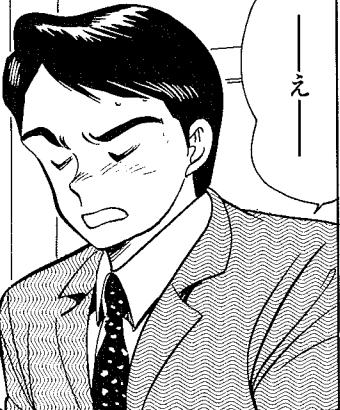












当社の売上の二分の一  
電子部品ですが  
その販路を一一〇表で  
見ると……

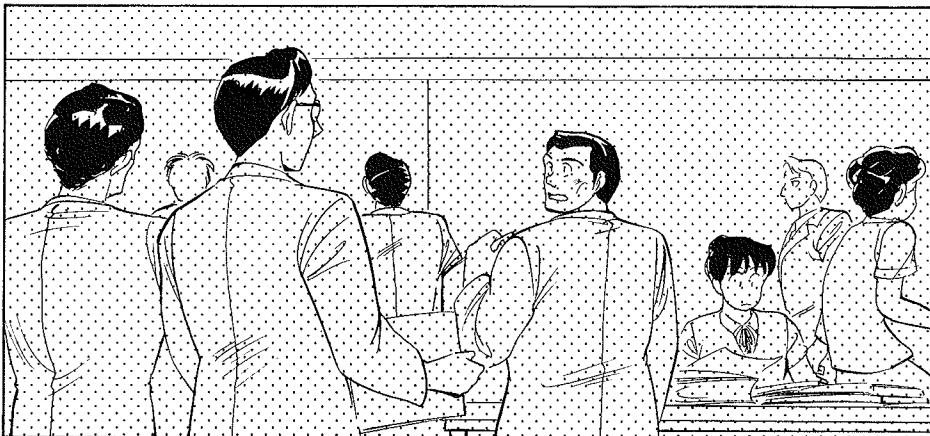
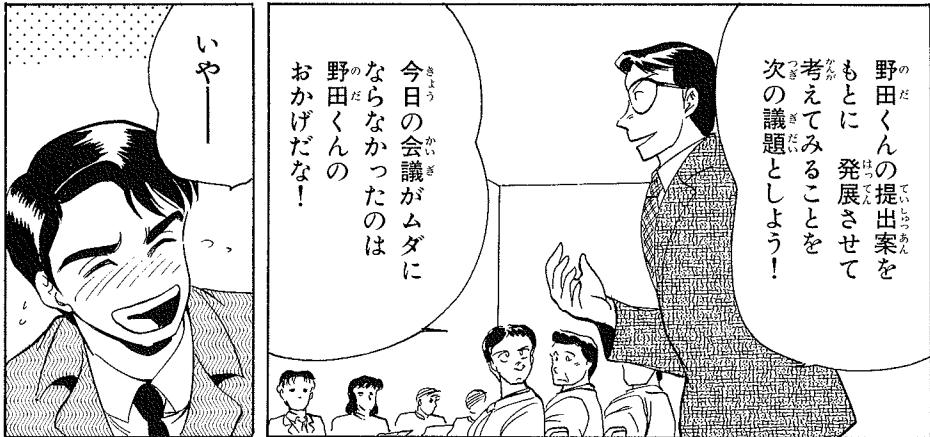


さまざま売り先が  
あるにもかかわらず  
家電向けへの  
ウェイトが非常に  
高いと言えます

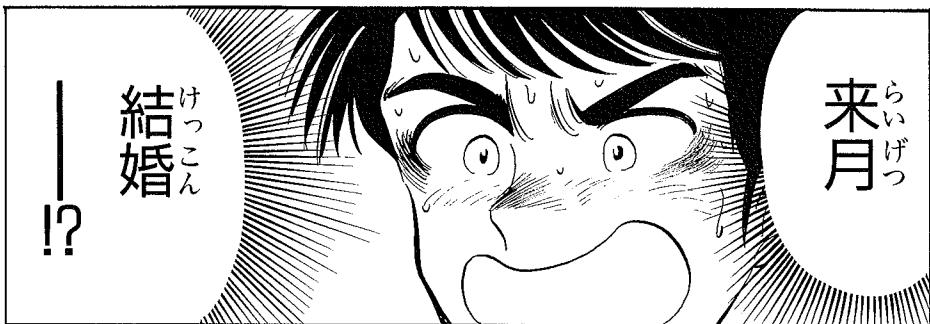




よし！







どうした!?  
うまいったんだろ!?

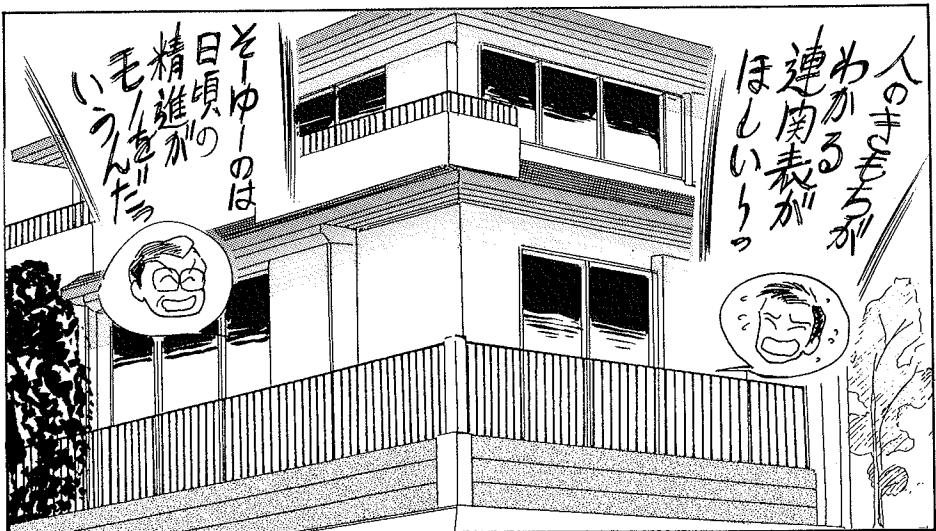
ああ  
大成功  
だつたよ

まあその……  
いろいろと  
思惑が……

じゃあ何で  
そんな顔かおで  
してるんだ

日頃の  
精進が  
いもうんだった

人のまとう  
かる連肉表じゆめいひょうが  
ほしい



# 産業連関表

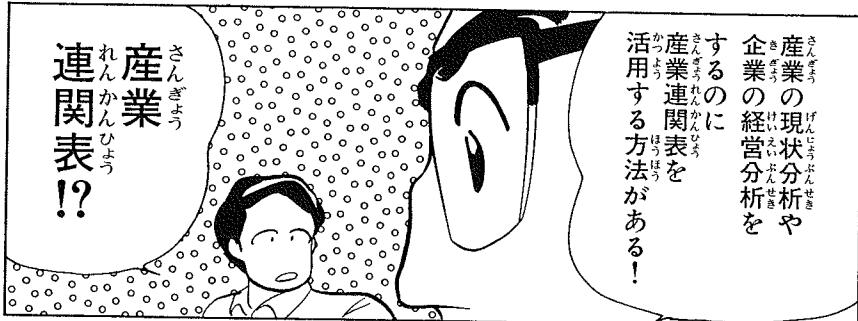
国民経済を構成する各産業は、相互に網の目のように結び付き合いながら、生産活動を行い、最終需要者（家計、企業、政府、輸出など）に対して必要な財（＝モノ）やサービスの提供を行っています。

ある産業（例えば、自動車のタイヤを作る事業所）は、他の産業（例えば、ゴムを作る事業所）から、原材料や燃料を購入（投入）し、これをもとに労働や設備を使って別の財・サービス（例えば、自動車、タイヤ）を生産し、それを別の産業（例えば、自動車を作る事業所）に原材料等として販売（産出）します。このような購入－生産－販売という連鎖を通じて徐々に加工度の高い製品が生産され、最終的には、各産業から家計、企業、政府、輸出などの最終需要者に完成品（例えば、自動車）が供給されて取引は終わります。

産業連関表は、ある地域（例えば、日本国内）において、一定期間（通常1年間）に行われた財・サービスの取引を漏れなく観察し、一覧表に示したものです。

産業連関表は、これをタテの方向に見ると、各財・サービスの生産に必要な費用の構成（投入構造）が示されており、ヨコの方向に見ると、生産された各財・サービスの販売内訳（産出構造）が示されています。このことから、産業連関表は「投入・産出表」（Input-Output Table）とも言われています。

産業連関表は、国民経済計算の重要な基礎資料として、現在100ヶ国以上で作成され、経済の現状分析、将来予測、様々な経済効果の測定などに広く利用されています。



## 産業連関表の構造

需要部門 (買い手)		内生部門			外生部門				
供給部門 (売り手)		中間需要			最終需要		(控除)輸入 - C	国内生産額 A+B+(-C)	
		1 農林水産業	2 鉱業	3 製造業	(生産される財貨・サービス)	計 A			
内生部門	中間投入	1 農林水産業 2 鉱業 3 製造業 ⋮ 計 D	原材料及び粗付加価値の構成(投入)	↓列 →行	生産物の販路構成(産出)				
外生部門	粗付加価値	雇用者所得 営業余剰 資本減耗引当 間接税 (控除)補助金 計 E							
		国内生産額 D+E							



## おわりに

これまで、紹介してきた統計調査は、  
生産に関するものと消費に関するものであり、  
景気・動向などを把握する統計としては大変重要な指標です。

しかしながら、統計は  
本書で扱ったものがすべてではありません。  
たとえば、このたび、  
多様化する企業活動の実態を把握するため、  
企業を対象とした「通商産業省企業活動基本調査」が新設されました。

近年、企業の活動は技術革新、  
消費者ニーズの多様化等の経済環境の急激な変化を背景に  
多様な展開を示しています。

経営ノウハウ、技術、資金などを活用し、  
多分野、異業種にまたがる広範な事業展開がみられ、  
しかも、それらの事業展開は、自企業内にとどまらず、  
子会社の設立、他企業との連携、  
国境を越えた国際的な組織展開となって現れてきています。

また、生産・販売活動を支援する調査・研究開発やソフト開発、  
情報の収集・活用などのソフト面での活動も活発に行われており、  
その結果として、我が国産業構造に  
さまざまな変化をもたらしています。

このような実態を把握するために、  
「通商産業省企業活動基本調査」は創設されました。  
その結果は来年の秋頃に速報として公表する予定ですが、  
産業界、学界からも高い関心が寄せられています。

本書で扱った以上に統計は多様であり、  
またさらに多くのことを教えてくれます。  
本書が読者の皆様の統計に対する理解を深め、  
統計を一層活用するきっかけとなれば、大変に幸せです。

# まんが通産統計物語

～野田家の場合～

---

1992年6月23日発行

監修 通商産業大臣官房調査統計部

発行人 土井 成一

発行所 社団法人 通産統計協会

東京都中央区銀座2-8-9

電話 (3561) 2974 Fax (3561) 5212

---

印刷・製本 凸版印刷株式会社

---

作画 井上 新

脚本 徳田直巳

編集協力 櫻スタジオ・オン・エア

装丁 12 to 12

---

乱丁・落丁はお取替えいたします。

©通産統計協会 1992 Printed in Japan



# (社)通産統計協会刊行物一覧表

生産・出荷・在庫統計速報	全国機械工場名簿
石油等消費動態統計月報	昭和62年版 全国化学工業工場名簿
紙・パルプ統計月報	第7回 工業実態基本調査報告書速報
窯業・建材統計月報	第5回商業実態基本調査報告書
ゴム製品統計月報	第5回 商業実態基本調査報告書速報 卸売業・小売業編
プラスチック製品統計月報	商業統計表 大規模小売店舗統計編
資源統計月報	商業統計表 業態別統計編
繊維統計月報	商業統計表 立地環境特性別統計編
鉄鋼統計月報	1991 我が国の商業
鉱工業生産活動分析	商業統計調査用五十音別商品索引表 指標の作成と利用 (改訂版)
紙・パルプ統計年報	平成元年 工業統計表 企業多角化等調査編
プラスチック製品統計年報	1985 日米国際産業連関表(速報)
生コンクリート統計年報	平成元年 商業統計速報(一般飲食店)
資源統計年報	昭和23年~26年 商業統計表(復刻判)
碎石統計年報	進展する製造業の多角化国際化 (平成元年企業多角化等調査速報)
石油等消費動態統計年報	特定業態店統計編 (一般飲食店)
石油等消費構造統計表	
繊維統計年報	
STATISTICS ON JAPANESE INDUSTRIES 通産統計ハンドブック(英文版)	
通産統計ハンドブック	
産業連関表(延長表)	
特定サービス産業実態調査報告書	
第7回 工業実態基本調査報告書	
工業統計調査用五十音商品索引表	
工業統計調査用産業分類	
工作機械設備等統計調査報告書	